

人口減少・高齢化の進んだ集落等を対象とした「日常生活に関する
アンケート調査」の集計結果(中間報告)

<調査の概要>

調査対象 : 65歳以上の高齢者が人口の50%以上の集落¹を含む
地区に居住する世帯主(全国から20地区選定)
調査期間 : 平成20年8月～9月
調査方法 : 各自治体・町会を通じた直接配布・回収(一部郵送)
対象世帯数 : 2,642世帯²
回答世帯数 : 1,849世帯
有効回答率 : 70.0%

(補足) 上記世帯主を対象としたアンケート調査を、住民意識・年齢別・性別の
差違の面で補完するために、20地区のうち8地区においては、別途、
世帯主以外の15歳以上の住民を対象とするアンケート調査を実施した。
この調査結果については、当該8地区の世帯主アンケート調査結果とあ
わせて集計し、本中間報告のなかで「8地区における15歳以上の住民
アンケート調査結果」とした上で、点線で囲み表示した。

対象者数 : 964人³
回答者数 : 494人
有効回答率 : 51.2%

<注意事項>

- ・ 本中間報告は、最終報告に先立って速報版としてとりまとめたものであり、
数値等については今後修正の可能性はある。

¹ 集落の定義は、「平成18年度 国土形成計画策定のための集落の状況に関する現況把握調査」(総務省・国土交通省)による。

² 各地区において、世帯数が異なるためアンケート配布数・回収数に差異がある。詳細は3ページを参照のこと。

³ 同上。

<対象地区の属性>

- ・ 20 地区内の回答のあった 130 集落の属性は以下のとおりである。
- ・ 集計結果の解釈にあたっては、集落数や世帯数の少ない区分について、少数の意見に結果が大きく左右される点に注意を要する。

1. 高齢者割合（65 歳以上の人口が占める割合）別集落数

高齢者割合 ⁴	集落数
30%未満	6
30%以上 40%未満	8
40%以上 50%未満	20
50%以上 60%未満	29
60%以上 70%未満	20
70%以上 80%未満	21
80%以上 90%未満	11
90%以上	15
合計	130

2. 集落の人口規模別集落数

集落規模 ⁴	集落数
5 人未満	4
5 人以上 10 人未満	2
10 人以上 15 人未満	15
15 人以上 20 人未満	5
20 人以上 25 人未満	13
25 人以上 30 人未満	14
30 人以上 40 人未満	27
40 人以上 50 人未満	12
50 人以上 100 人未満	29
100 人以上	9
合計	130

3. 役場・支所までの距離別集落数

役場/支所までの距離 ⁵	集落数
5km 未満	31
5km 以上 10km 未満	24
10km 以上 15km 未満	24
15km 以上 20km 未満	20
20km 以上 25km 未満	15
25km 以上	16
合計	130

4. 基本的には住民基本台帳に基づく平成 18 年 4 月 30 日現在の値であるが、市町村によってはシステムの都合上などから集計時点が異なる場合もある。

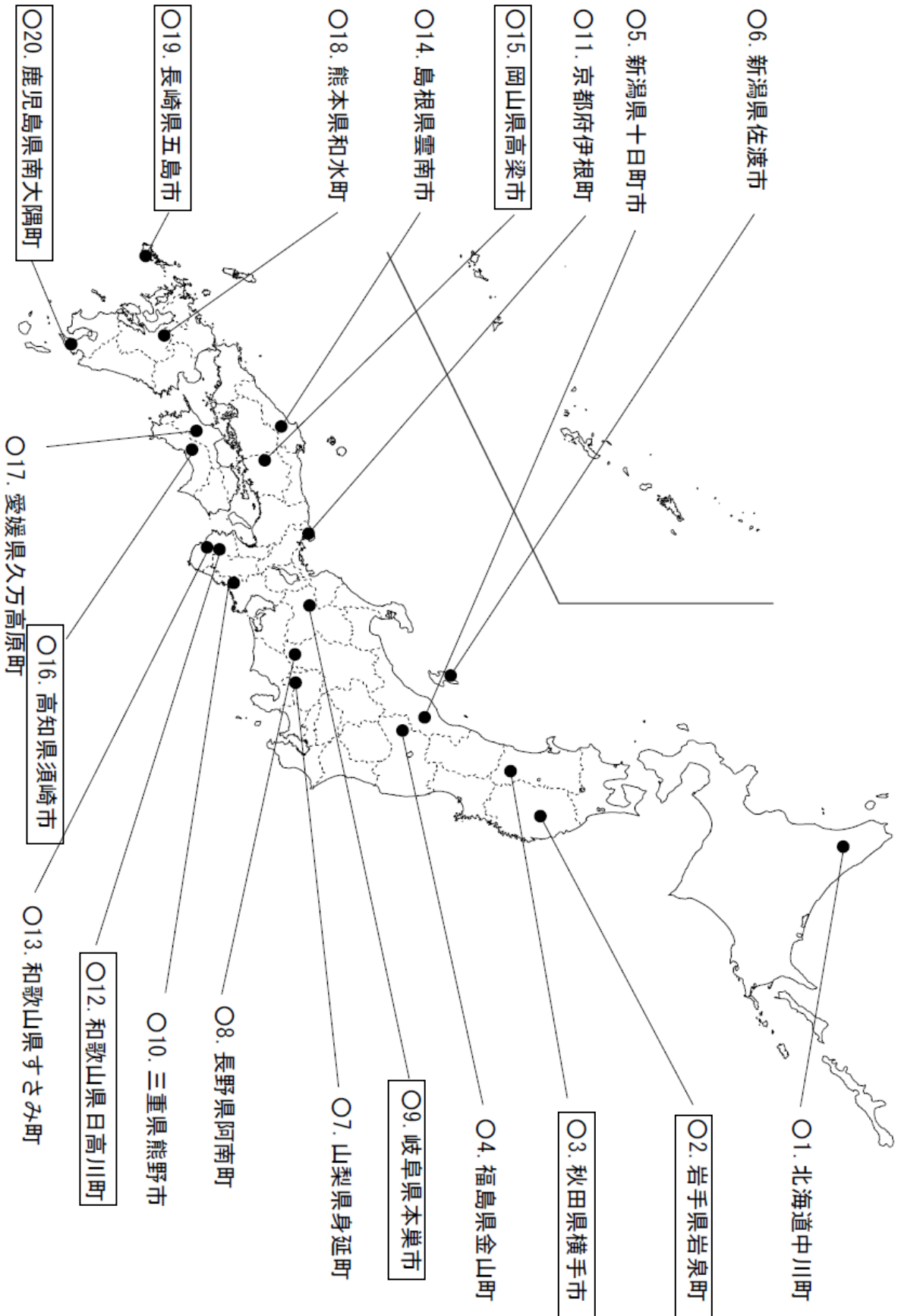
5. 市役所・町役場からの距離、または支所がある場合には支所からの距離として、平成 18 年 12 月に各市町村担当者が判断したもの。

<アンケート調査実施地区及び配布数・回収数>

No	都道府県	市町村	集落名	世帯主		世帯主以外の 15歳以上※	
				配布数	回収数	配布数	回収数
1	北海道	なかがわまち 中川町	きょうわ やすかわ やすかわ やすかわ やすかわ とよさと 共和、安川、安川一、安川二、安川三、豊里、 さく 佐久	127	66	—	—
2	岩手	いわいずみちよう 岩泉町	おおさわ あさない おおわたりおうぎ さわ おおひろ からち 大沢、浅内、大渡、扇の沢、大広、唐地、 たき うえ かわだい 滝の上、川代	173	143	290	177
3	秋田県	よこてし 横手市	たき した となみ 滝ノ下、戸波	106	92	29	16
4	福島県	かねやままち 金山町	よた つちら にしぶ やまいり こそがわ 横田、土倉、西部、山入二、越川	146	115	—	—
5	新潟県	とおかまちし 十日町市	はちだいいち はちだいに なかて なかだいらみよかやま 鉢第一、鉢第二、中手、中平、名ヶ山	148	114	—	—
6	新潟県	さとし 佐渡市	こた おおくら やがら せき いかうら いわやぐち 小田、大倉、矢柄、関、五十浦、岩谷口	161	98	—	—
7	山梨県	みのぶ ちよう 身延町	ねっこ 根子	43	33	—	—
8	長野県	あなんちよう 阿南町	みやざわ わごうかみ てらむら きそばた ほんむら かみわごう 宮沢、和合上、寺村、木曾畑、本村、上和合、 おしのた たしろ ころろがわすずがさわ ひよし おびかわ はばがわ 押ノ田、田代、心川、鈴ヶ沢、日吉、帯川、巾川	145	113	—	—
9	岐阜県	もとすし 本巣市	ながしま のうごう 長島、能郷	55	29	60	24
10	三重県	くまのし 熊野市	いくせいちよう 育生町	162	125	—	—
11	京都府	いねちよう 伊根町	こしやま、たきね ゆのやま なる すがの つつかわ 越山、滝根、湯之山、成、菅野、筒川	180	95	—	—
12	和歌山県	ひだかがわちよう 日高川町	どいうめばら みやだいらどいあきば なかむら つきたち たきのうえ 土居梅原、宮平、土居秋葉、中村、朔日、滝ノ上、 にしかわ かみたかの しもたかの しもちようし かみちようし しもいた 西ノ川、上高野、下高野、下長志、上長志、下板、 かみいた しもこやぶがわ かみこやぶがわ 上板、下小薮川、上小薮川	214	128	234	108
13	和歌山県	すさみちよう すさみ町	つづら おおたに おいがわ くりがいと なか なかの にしかわ 防己、大谷、追川、栗垣内、中、中野、西野川、 ねくら ふかだに 根倉、深谷	200	147	—	—
14	島根県	うなんし 雲南市	かみとね しもとね みやうち あきんばらふくだ からり ごと 上刀根、下刀根、宮内、朝原、福田、柄栗、郷、 おばら なり たがみ さかえまちなかまち しんまち もとかみまち 小原、成、田上、栄町、中町、新町、元上町、 かみまち はた 上町、タウンズイン波多	172	130	—	—
15	岡山県	たかはしし 高梁市	ほりい まえぎた うしろぎた かみごう しもごうみやがわ てんのうすだに 堀井、前北、後北、上郷、下郷宮側、天王白谷、 こばやし こぎことおりまき かのの こしやま やまぞえ 小林、小迫通模、金野、越山、山添	168	113	191	71
16	高知県	すさきし 須崎市	くつう 久通	55	27	40	11
17	愛媛県	くまこうげんちよう 久万高原町	ごうかく ほんたに こむら おおなる みょうがかみ みょうがしも こみ 郷角、本谷、小村、大成、名荷上、名荷下、古味、 すぎよう なかくぼ よこの たかの いぶし 菅行、中久保、横野、高野、猪伏	164	82	—	—
18	熊本県	なごみまち 和水町	こが ほんむら まえの えのきばる 古閑、本村、前野、榎原	75	66	—	—
19	長崎県	ごとうし 五島市	こといし 琴石	21	19	15	9
20	鹿児島県	みなみおおすみちよう 南大隅町	へつかひがし へつかにし なかむら なかごう うちづめ どうがはら 辺塚東、辺塚西、中村、中郷、打詰、洞ヶ原	127	114	105	78
				2,642	1,849	964	494

※集落名欄に掲げている集落の全部又は一部の集落を対象としている。

<アンケート調査実施地区の所在する市町村>



※ 四角囲いをした地区は、世帯主に加え、15歳以上の住民を対象にアンケート調査を実施した地区。

1. 属性

問1 あなたはどちらの集落にお住まいですか。

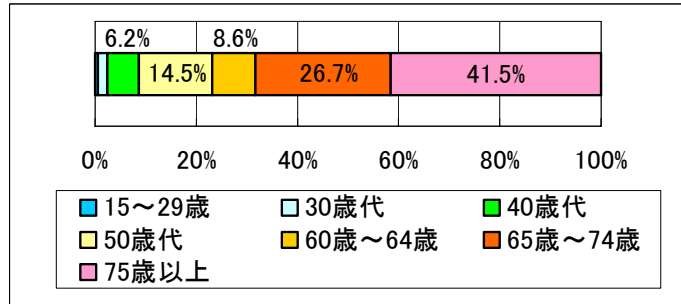
(3 ページ参照)

問2 あなたはおいくつですか。あてはまるものに1つ○を付けてください。

<表-1 回答世帯主の年齢>

	回答数	割合
15～29歳	10	0.5%
30歳代	34	1.9%
40歳代	114	6.2%
50歳代	266	14.5%
60歳～64歳	157	8.6%
65歳～74歳	490	26.7%
75歳以上	761	41.5%
有効回答	1,832	
無回答	17	

<図-1 回答世帯主の年齢>

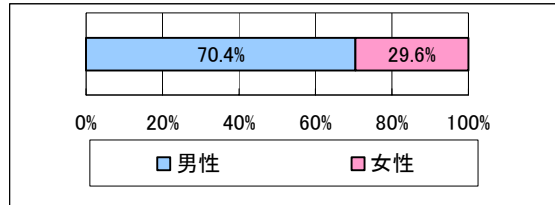


問3 あなたの性別はどちらですか。あてはまるものに1つ○を付けてください。

<表-2 回答世帯主の性別>

	回答数	割合
男性	1,279	70.4%
女性	537	29.6%
有効回答	1,816	
無回答	33	

<図-2 回答世帯主の性別>



問4 あなたの職業はどれですか。複数の職業をもつ方は、あてはまるもの全てに○を付けてください。

- ・「年金受給者」は全体の57.2%で、「年金受給者」とのみ回答した世帯主が全体の45.3%を占める。
- ・「農林漁業者」（兼業を含む）は、全体の24.8%で、「農林漁業者」とのみ回答した世帯主は、全体の13.1%である。「会社員」は全体の12.1%、「自営業者（農林漁業者以外）」は全体の8.6%である。
- ・複数の職業（「年金受給者」を含む）を持つ世帯主は全体の15.2%であり、「農林漁業者」かつ「年金受給者」は8.8%である。

<表-3 回答世帯主の職業>

	回答者数	割合
農林漁業者	445	24.8%
うち、単独回答	235	13.1%
うち、年金受給者	157	8.8%
自営業者 (農林漁業者以外)	154	8.6%
会社員	217	12.1%
公務員	42	2.3%
団体・組合職員 (農協、農林組合等)	45	2.5%
年金受給者	1,027	57.2%
うち、単独回答	813	45.3%
学生	0	0.0%
その他	161	9.0%
有効回答(回答者数)	1,794	
無回答	55	

(複数回答)

<表-4 回答世帯主の職業(専業・兼業別)>

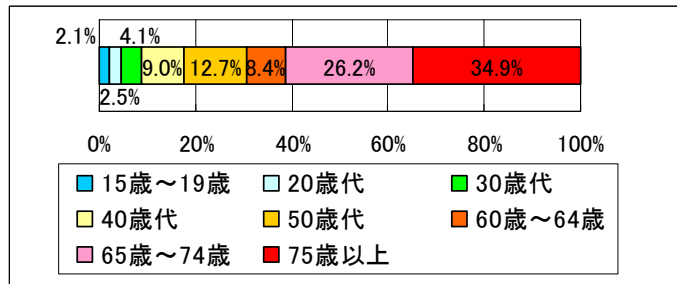
	回答者数	割合
専業(単独回答)	1,522	84.8%
農林漁業者	235	13.1%
自営業者(農林漁業者以外)	106	5.9%
会社員	168	9.4%
公務員	37	2.1%
団体・組合職員(農協、農林組合等)	37	2.1%
年金受給者	813	45.3%
学生	0	0.0%
その他	126	7.0%
兼業(複数回答)	272	15.2%
農林漁業者+自営業者	11	0.6%
" +自営業者+年金受給者	10	0.6%
" +自営業者+年金受給者+その他	2	0.1%
" +会社員	29	1.6%
" +会社員+年金受給者	9	0.5%
" +公務員	4	0.2%
" +団体・組合職員	4	0.2%
" +年金受給者	135	7.5%
" +年金受給者+その他	1	0.1%
" +その他	5	0.3%
自営業者+会社員	3	0.2%
" +団体・組合職員	1	0.1%
" +年金受給者	20	1.1%
" +その他	1	0.1%
会社員+年金受給者	6	0.3%
公務員+年金受給者+その他	1	0.1%
団体・組合職員+年金受給者	3	0.2%
年金受給者+その他	27	1.5%
有効回答(回答者数)	1,794	
無回答	55	

8 地区における 15 歳以上の住民アンケート調査対象者の属性は以下のとおりである。

<表-5 回答者の年齢>

	回答数	割合
15歳～19歳	22	2.1%
20歳代	27	2.5%
30歳代	44	4.1%
40歳代	96	9.0%
50歳代	136	12.7%
60歳～64歳	90	8.4%
65歳～74歳	280	26.2%
75歳以上	372	34.9%
有効回答	1,067	
無回答	4	

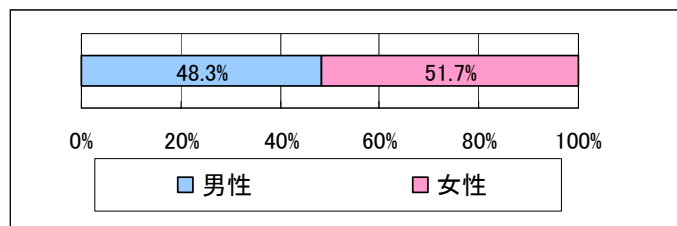
<図-3 回答者の年齢>



<表-6 回答者の性別>

	回答数	割合
男性	512	48.3%
女性	547	51.7%
有効回答	1,059	
無回答	12	

<図-4 回答者の性別>



2. 家族構成・子との同居状況

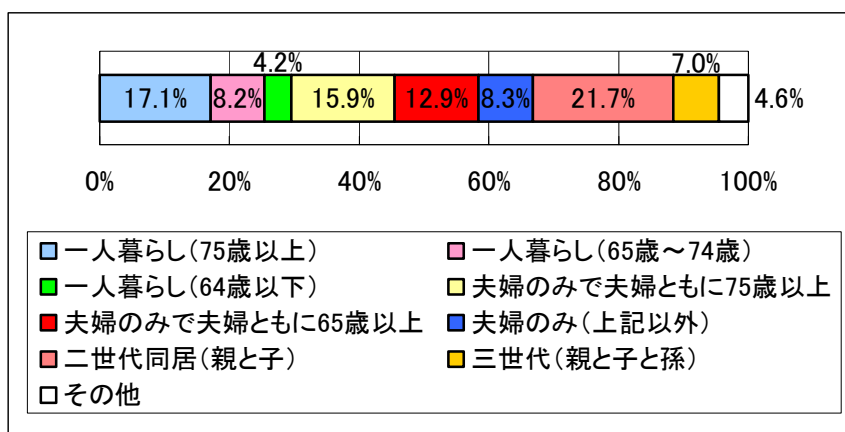
問5 あなたの家族構成はどれですか。あてはまるものに1つ○を付けてください。

・家族構成をみると、「一人暮らし」世帯が29.6%、「夫婦のみ」世帯が37.2%を占める。「二世世代同居（親と子）」世帯は21.7%となっている。

<表-7 回答世帯の世帯構成>

	回答数	割合
一人暮らし	535	29.6%
75歳以上	310	17.1%
65歳～74歳	149	8.2%
64歳以下	76	4.2%
夫婦のみ	673	37.2%
夫婦ともに75歳以上	288	15.9%
夫婦ともに65歳以上	234	12.9%
上記以外	151	8.3%
二世世代同居(親と子)	392	21.7%
三世代(親と子と孫)	126	7.0%
その他	83	4.6%
有効回答	1,809	
無回答	40	

<図-5 回答世帯の世帯構成>

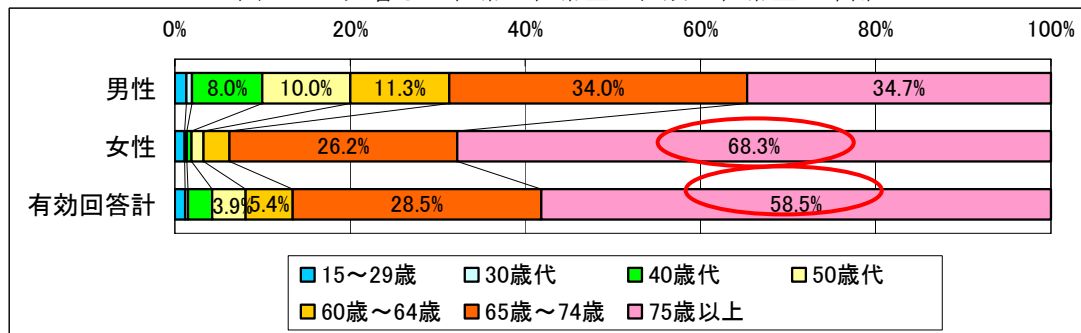


- ・一人暮らし世帯の約7割が女性である。
- ・一人暮らし世帯の約6割が75歳以上で、特に女性の75歳以上が多い。
- ・世帯主が75歳以上の世帯は、「一人暮らし」と「夫婦のみで夫婦ともに75歳以上の世帯」が、それぞれ約4割を占める。

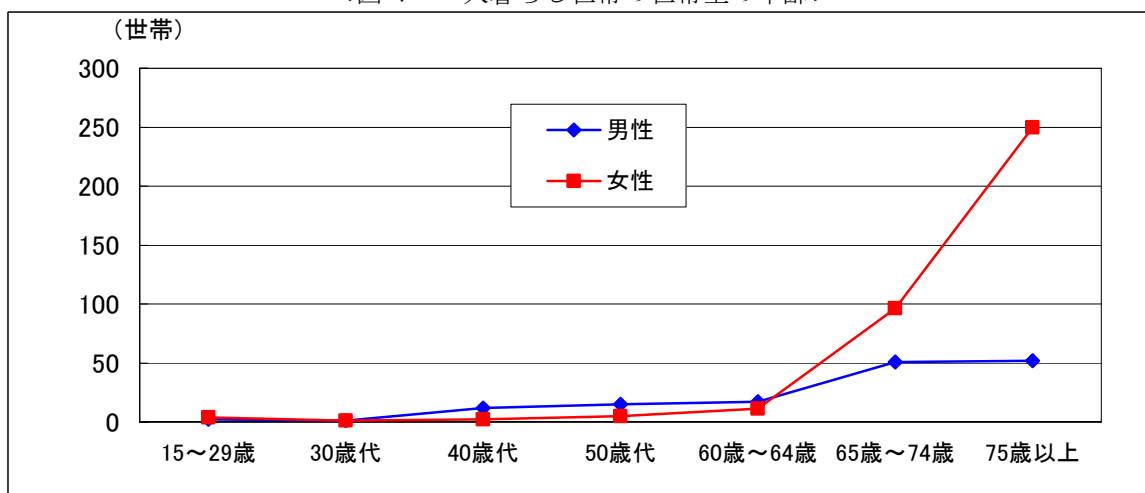
<表-8 一人暮らし世帯の世帯主の性別×世帯主の年齢>

	15～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上	有効回答	無回答
男性	2	1	12	15	17	51	52	150	28.9%
女性	4	1	2	5	11	96	250	369	71.1%
有効回答	6	2	14	20	28	147	302	519	
無回答					1	2	8	11	2

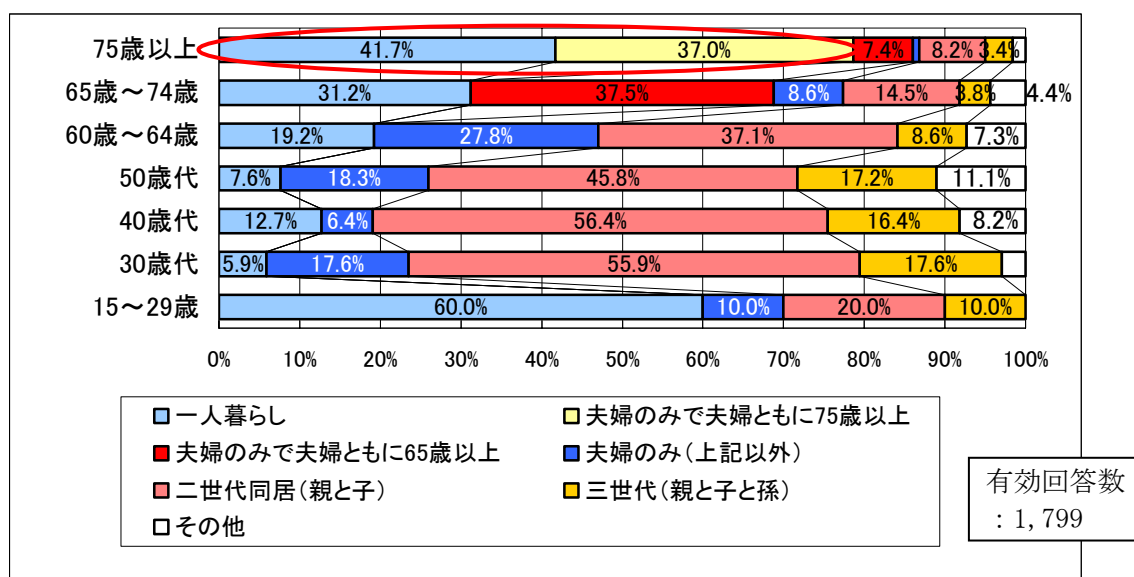
<図-6 一人暮らし世帯の世帯主の性別×世帯主の年齢>



<図-7 一人暮らし世帯の世帯主の年齢>

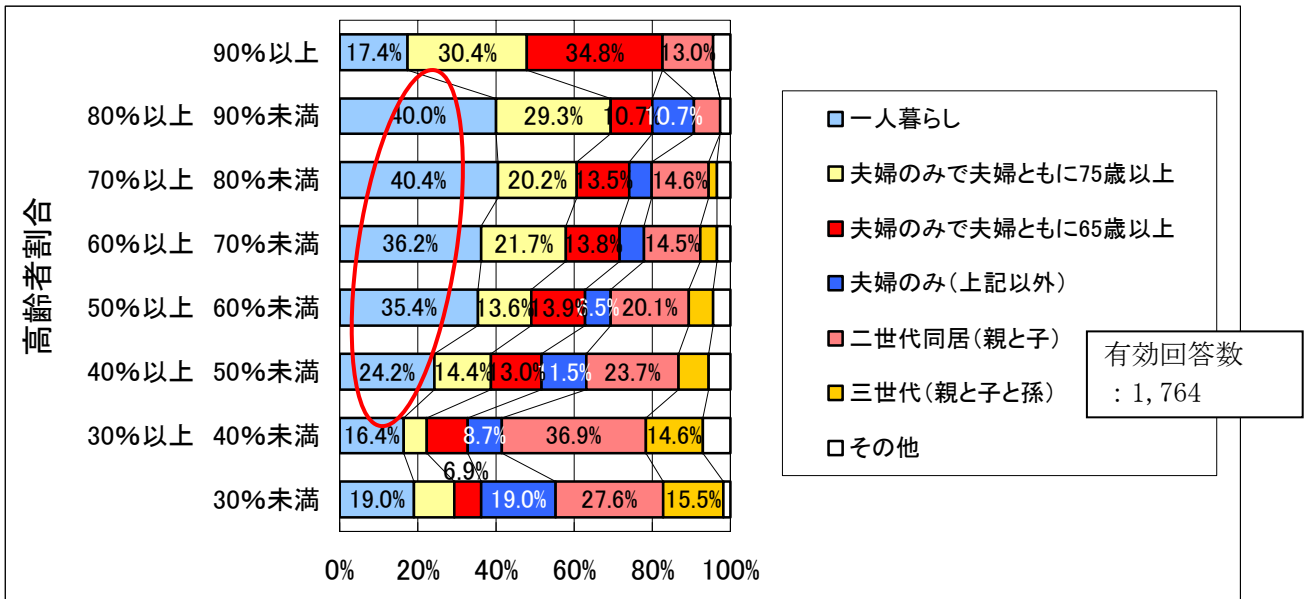


<図-8 世帯主の年齢×世帯構成>



・高齢者割合の高い集落ほど、一人暮らしの世帯が多い傾向がある。

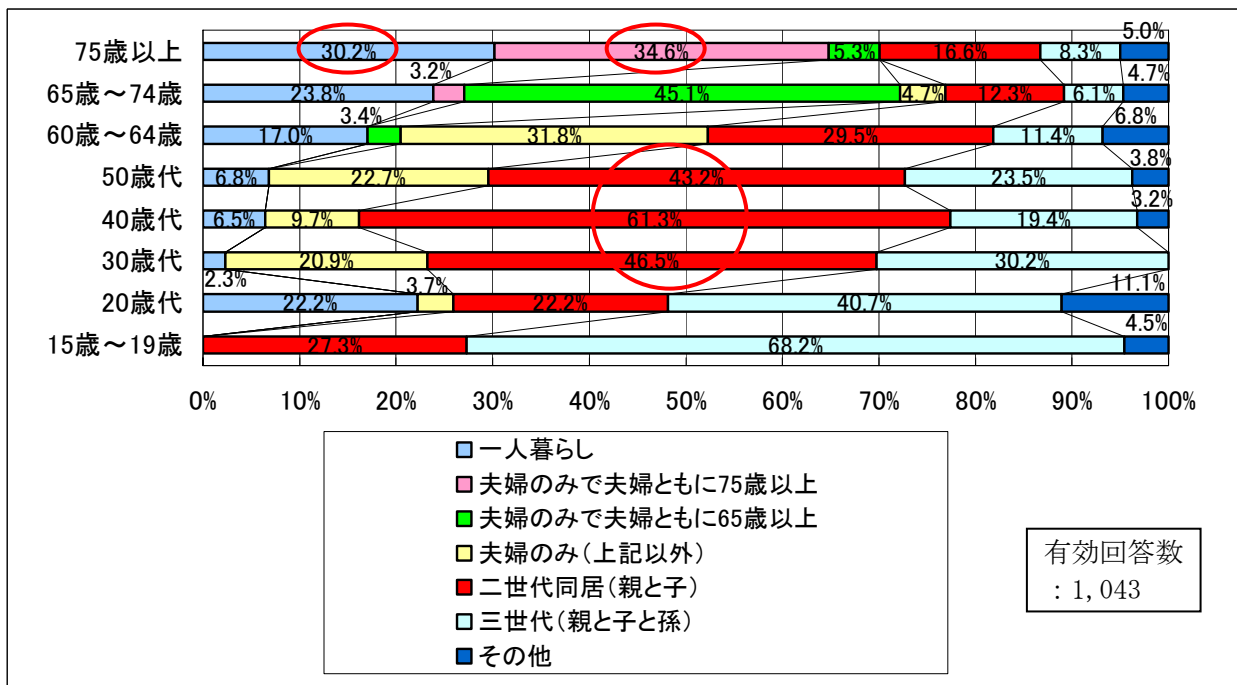
<図-9 集落の高齢者割合×世帯構成>



8 地区における 15 歳以上の住民アンケート調査結果

・住民の年齢別の世帯構成をみると、75歳以上の者が属する世帯の世帯構成は、一人暮らしと夫婦のみ(夫婦ともに75歳以上)の割合が各々3割を超える。また、30~50歳代の者が属する世帯では、二世世代同居が最も割合が高い。

<図-10 住民の年齢×世帯構成>



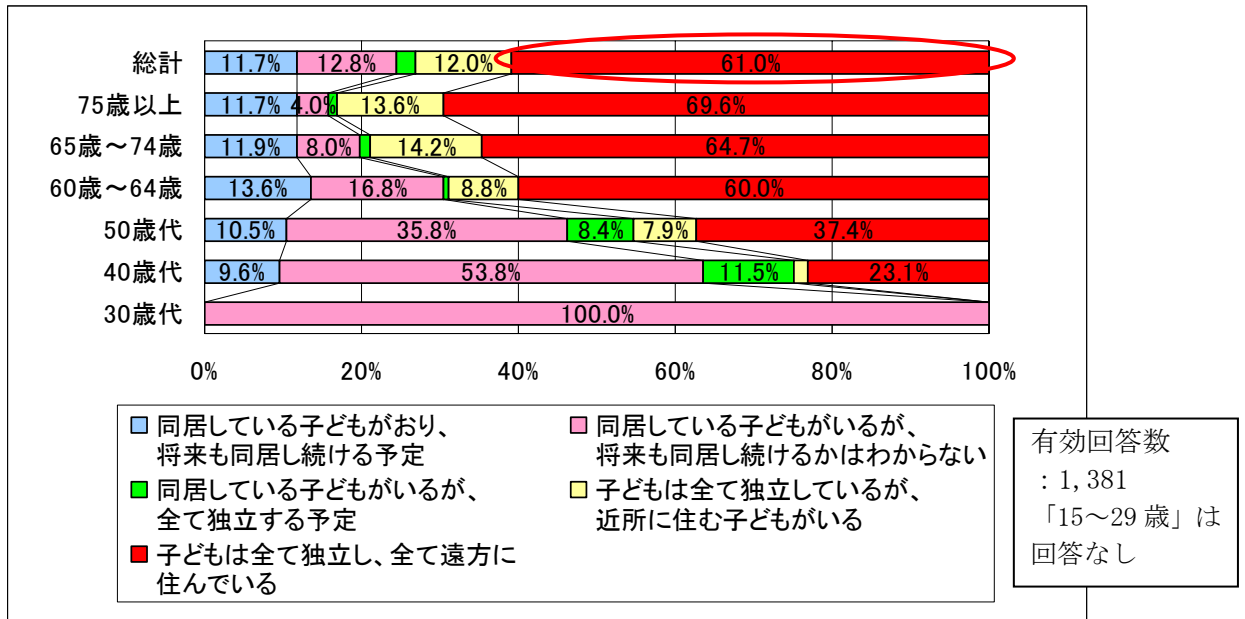
問6 あなたには、15歳以上のお子さんがいらっしゃいますか。いらっしゃる場合には、現在と今後のお住まいについて、あてはまるものに○を付けてください。

- ・「子どもは全て独立し、全て遠方に住んでいる」世帯が、61.0%と最も多い。
- ・世帯主が若い世帯ほど子供と同居している世帯の割合が高いが、そのうち「将来は同居し続けるかはわからない」と答える割合が高い。

<表-9 15歳以上の子どもとの同居状況>

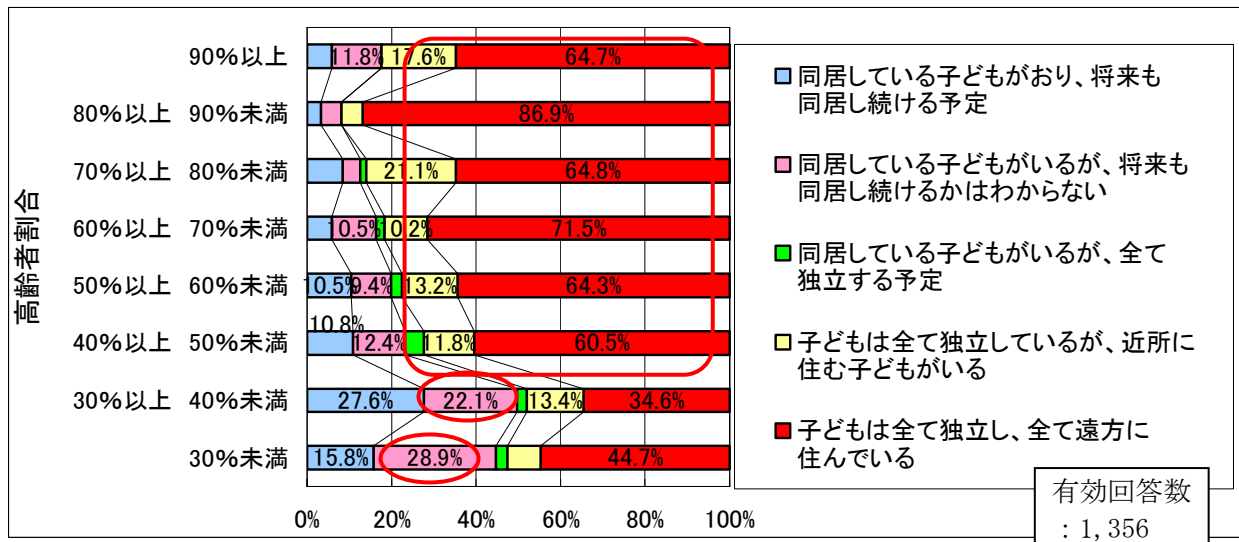
	回答数	割合
同居している子どもがあり、将来も同居し続ける予定	162	11.7%
同居している子どもがいるが、将来も同居し続けるかはわからない	177	12.8%
同居している子どもがいるが、全て独立する予定	35	2.5%
子どもは全て独立しているが、近所に住む子どもがいる	167	12.0%
子どもは全て独立し、全て遠方に住んでいる	845	61.0%
有効回答	1,386	
無回答	463	

<図-11 世帯主の年齢×子どもとの同居状況>



- ・特に、高齢者割合が40%以上の集落では、7割以上の世帯で子どもが全て独立している。
- ・高齢者割合の低い、30%以上40%未満の集落では22.1%が、30%未満の集落では28.9%が「同居している子どもはいるが、将来も同居し続けるかはわからない」とそれぞれ答えている。

<図-12 集落の高齢者割合×子どもとの同居状況>



3. 家計の状況

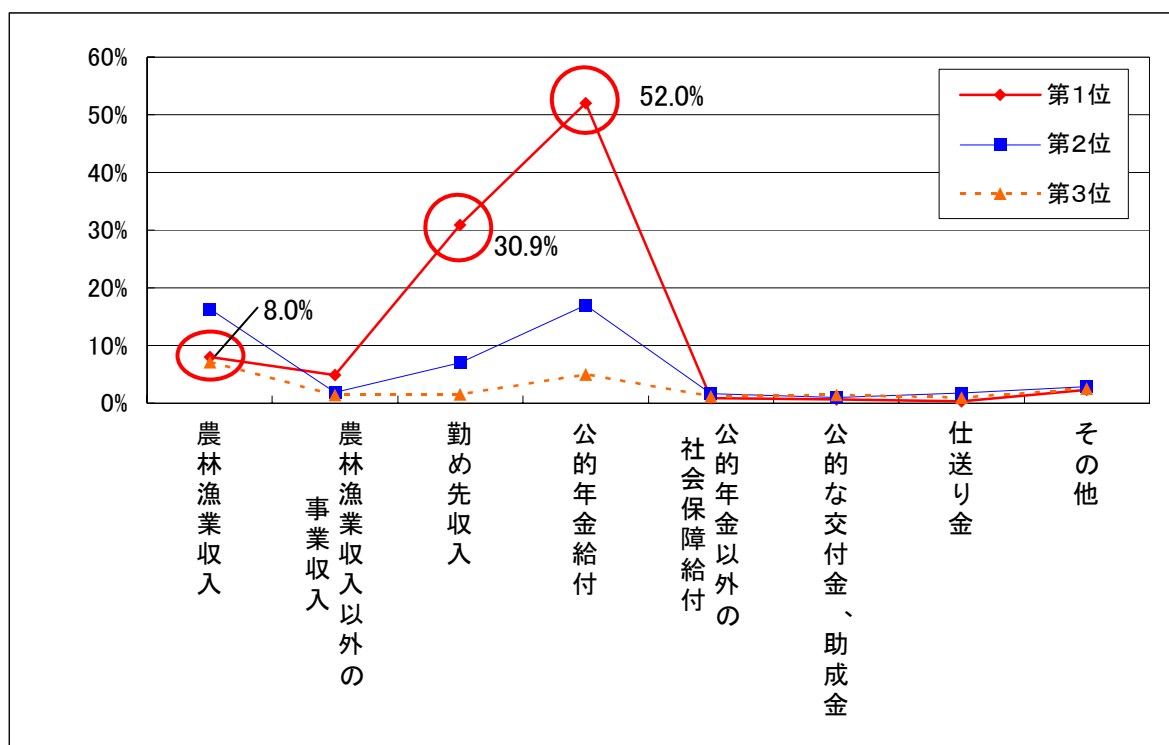
問7 同居している家族の収入も合わせた世帯全体の収入のうち多いものはどれですか。一番多いものに”1”、二番目に多いものに”2”、三番目に多いものに”3”を付けてください。

- ・世帯全体の収入のうち最も多いものとして、「公的年金」と回答した世帯が最も多い(52.0%)。次いで、「勤め先の収入」(30.9%)、「農林漁業収入」(8.0%)となっている。

<表-10 世帯全体の収入のうち多いもの>

	回答数			割合			第3位までの合計
	第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位	
農林漁業収入	103	212	92	8.0%	16.4%	7.1%	31.5%
農林漁業収入以外の事業収入	63	24	18	4.9%	1.9%	1.4%	8.1%
勤め先収入	400	91	20	30.9%	7.0%	1.5%	39.5%
公的年金給付	673	220	64	52.0%	17.0%	4.9%	74.0%
公的年金以外の社会保障給付	11	22	16	0.9%	1.7%	1.2%	3.8%
公的な交付金、助成金	9	13	19	0.7%	1.0%	1.5%	3.2%
仕送り金	5	23	13	0.4%	1.8%	1.0%	3.2%
その他	30	37	33	2.3%	2.9%	2.6%	7.7%
有効回答	1,294						
無回答	555						

<図-13 世帯全体の収入のうち多いもの>



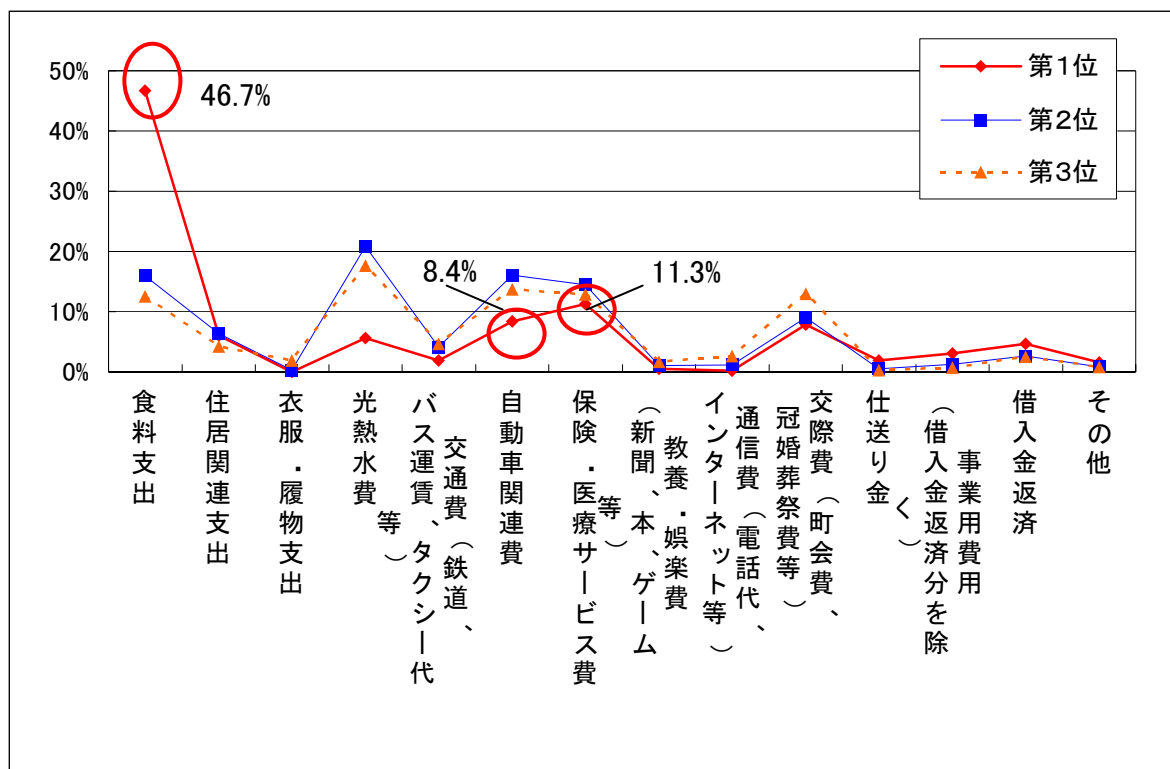
問7-2 同居している家族の支出も合わせた世帯全体の支出のうち多いものはどれですか。一番多いものに”1”、二番目に多いものに”2”、三番目に多いものに”3”を付けてください。

- ・世帯全体の支出のうち最も多いものが「食料支出」と回答した世帯が最も多い(46.7%)。次いで、「保険・医療サービス費」(11.3%)、「自動車関連費」(8.4%)となっている。

<表-11 世帯全体の支出のうち多いもの>

	回答数			割合			第3位までの合計
	第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位	
食料支出	675	230	182	46.7%	15.9%	12.6%	75.2%
住居関連支出	87	93	61	6.0%	6.4%	4.2%	16.7%
衣服・履物支出	0	5	27	0.0%	0.3%	1.9%	2.2%
光熱水費	82	302	255	5.7%	20.9%	17.6%	44.2%
交通費(鉄道、バス運賃、タクシー代等)	28	60	67	1.9%	4.2%	4.6%	10.7%
自動車関連費	122	232	199	8.4%	16.1%	13.8%	38.3%
保険・医療サービス費	163	209	186	11.3%	14.5%	12.9%	38.6%
教養・娯楽費(新聞、本、ゲーム等)	8	15	24	0.6%	1.0%	1.7%	3.3%
通信費(電話代、インターネット等)	3	17	38	0.2%	1.2%	2.6%	4.0%
交際費(町会費、冠婚葬祭費等)	113	130	188	7.8%	9.0%	13.0%	29.8%
仕送り金	28	8	4	1.9%	0.6%	0.3%	2.8%
事業用費用(借入金返済分を除く)	45	19	11	3.1%	1.3%	0.8%	5.2%
借入金返済	68	39	37	4.7%	2.7%	2.6%	10.0%
その他	23	13	12	1.6%	0.9%	0.8%	3.3%
有効回答	1,445						
無回答	404						

<図-14 世帯全体の支出のうち多いもの>

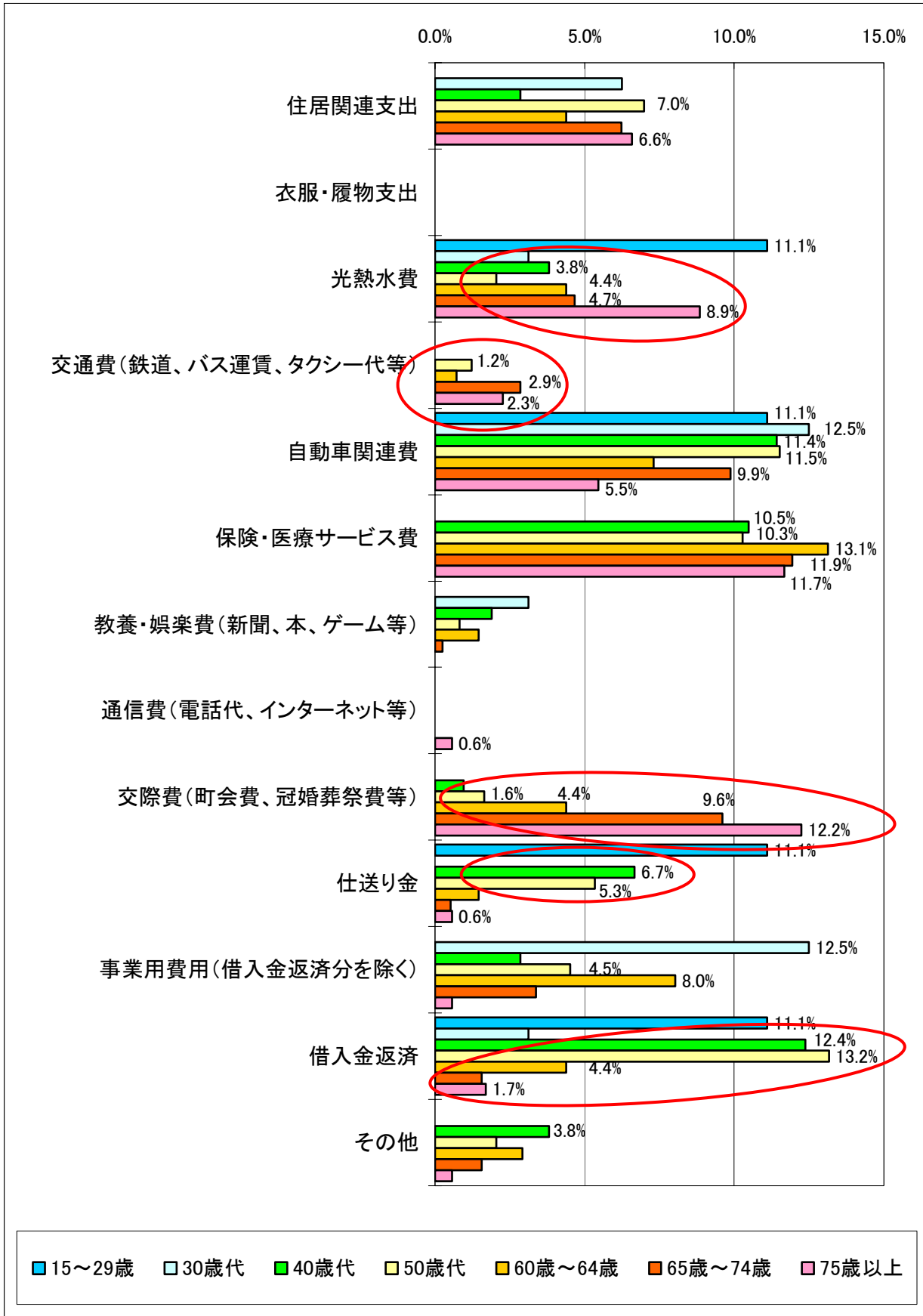


- ・世帯主が60歳以上の世帯では、家計の最も大きい支出として「借入金返済」を挙げる世帯の割合が減る一方、「光熱水費」や「交際費（町会費、冠婚葬祭費等）」を挙げる世帯の割合が相対的に大きい。
- ・また、世帯主が50歳以上の世帯では、少数ではあるが、最も大きな支出として「交通費（鉄道、バス運賃、タクシー代等）」を挙げる世帯もいる。
- ・世帯主が40歳代や50歳代の世帯では、最も大きな支出として「仕送り金」を挙げる世帯も一定数いる。（40歳代では6.7%、50歳代では5.3%）

<表-12 世帯主の年齢世帯×全体の支出のうち最も多いもの>

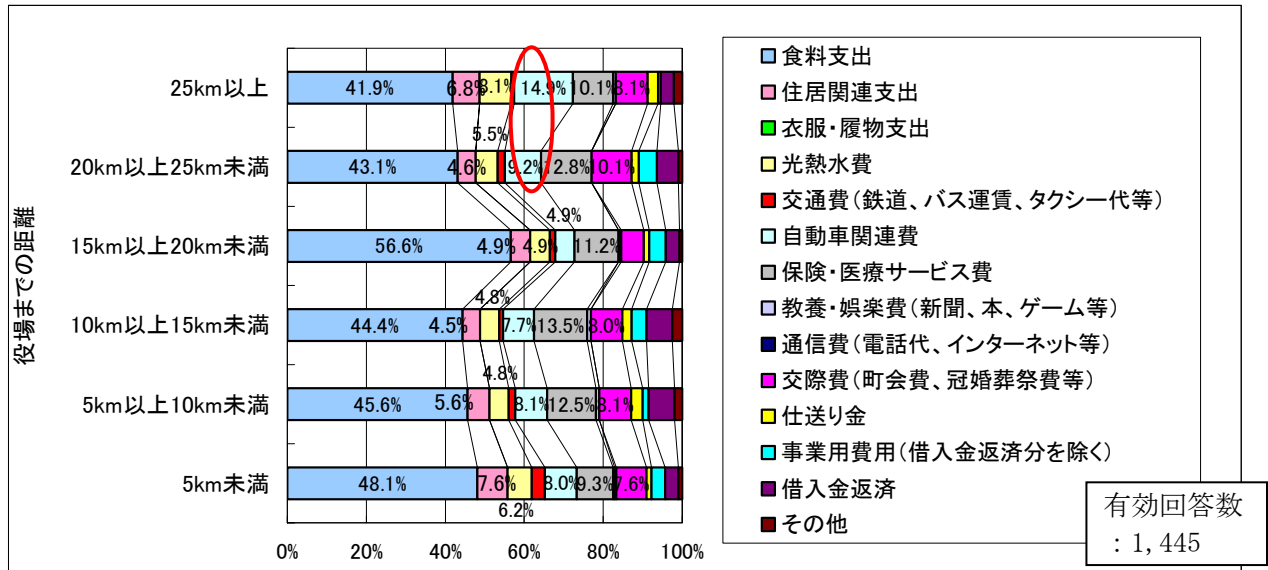
		15 ~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 ~64歳	65歳 ~74歳	75歳以上	総計
食料支出	回答数	5	19	45	98	65	183	260	675
	割合	55.6%	59.4%	42.9%	40.3%	47.4%	47.5%	49.0%	46.8%
住居関連支出	回答数	0	2	3	17	6	24	35	87
	割合	0.0%	6.3%	2.9%	7.0%	4.4%	6.2%	6.6%	6.0%
衣服・履物支出	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
光熱水費	回答数	1	1	4	5	6	18	47	82
	割合	11.1%	3.1%	3.8%	2.1%	4.4%	4.7%	8.9%	5.7%
交通費 (鉄道、バス運賃、 タクシー代等)	回答数	0	0	0	3	1	11	12	27
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.7%	2.9%	2.3%	1.9%
自動車関連費	回答数	1	4	12	28	10	38	29	122
	割合	11.1%	12.5%	11.4%	11.5%	7.3%	9.9%	5.5%	8.5%
保険・医療 サービス費	回答数	0	0	11	25	18	46	62	162
	割合	0.0%	0.0%	10.5%	10.3%	13.1%	11.9%	11.7%	11.2%
教養・娯楽費 (新聞、本、 ゲーム等)	回答数	0	1	2	2	2	1	0	8
	割合	0.0%	3.1%	1.9%	0.8%	1.5%	0.3%	0.0%	0.6%
通信費 (電話代、インター ネット等)	回答数	0	0	0	0	0	0	3	3
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.2%
交際費 (町会費、 冠婚葬祭費等)	回答数	0	0	1	4	6	37	65	113
	割合	0.0%	0.0%	1.0%	1.6%	4.4%	9.6%	12.2%	7.8%
仕送り金	回答数	1	0	7	13	2	2	3	28
	割合	11.1%	0.0%	6.7%	5.3%	1.5%	0.5%	0.6%	1.9%
事業用費用 (借入金返済 分を除く)	回答数	0	4	3	11	11	13	3	45
	割合	0.0%	12.5%	2.9%	4.5%	8.0%	3.4%	0.6%	3.1%
借入金返済	回答数	1	1	13	32	6	6	9	68
	割合	11.1%	3.1%	12.4%	13.2%	4.4%	1.6%	1.7%	4.7%
その他	回答数	0	0	4	5	4	6	3	22
	割合	0.0%	0.0%	3.8%	2.1%	2.9%	1.6%	0.6%	1.5%
有効回答		9	32	105	243	137	385	531	1442

<図-15 世帯全体の支出のうち最も多いもの×世帯主の年齢> (食料支出以外)



- ・ 自動車関連費についてみると、役場・支所^(P.2参照)までの距離が20km以上の集落では、比較的、最も大きな支出として挙げる世帯が多い。

<図-16 集落から役場までの距離×世帯全体の収入のうち最も多いもの>



4. 生活状況

問8 あなたは夏の平日の一日をどのように過ごしていますか。それぞれの活動について、一日の平均的な時間を書いてください。

- ・「ボランティア、地域活動など社会活動」、「家族・近所の人、友人との会話」などを一定時間行っている者がいる一方で、「休息」、「病院に行く、療養」にそれぞれ2時間以上の時間を使う必要のある者が相当数いることがわかる。

<表-12 生活時間内訳>

	(平日) 時間 分	有効 回答数
睡眠	7:21	1,471
食事	1:31	1,383
仕事	6:14	1,212
通勤	0:53	425
炊事、洗濯、買い物、介護などの家事	1:43	643
ボランティア、地域活動など社会活動	0:59	249
家族・近所の人・友達との会話	1:21	659
趣味、遊び、散歩、スポーツ	1:35	565
テレビをみる、ラジオをきく、本を読む等	3:03	1,281
休息	2:09	859
病院に行く、療養	2:19	372
その他	2:28	300

※生活時間については、各活動を行っている者の平均時間を示している。

・住民の年齢別にみると、「休息」については 30 歳代で最も少なく、「病院に行く、療養」については高齢になるほど平均時間が長くなる傾向がある。

<表-13 住民の年齢×生活時間>

単位：(時間)

	睡眠	有効回答数
15歳～19歳	6.50	18
20歳代	7.21	26
30歳代	6.88	41
40歳代	6.92	84
50歳代	7.22	117
60歳～64歳	7.16	76
65歳～74歳	7.37	239
75歳以上	7.79	282

	仕事	有効回答数
15歳～19歳	8.97	18
20歳代	7.61	23
30歳代	8.89	36
40歳代	7.98	76
50歳代	7.95	109
60歳～64歳	6.47	58
65歳～74歳	5.74	166
75歳以上	4.81	155

	休息	有効回答数
15歳～19歳	1.90	10
20歳代	1.53	19
30歳代	1.10	30
40歳代	1.32	38
50歳代	1.67	71
60歳～64歳	1.99	48
65歳～74歳	2.22	145
75歳以上	2.97	167

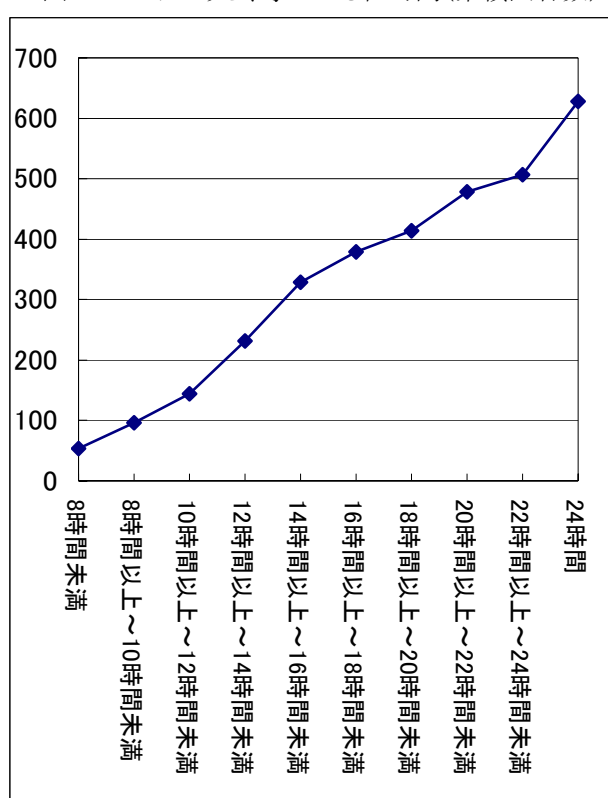
	病院に行く、療養	有効回答数
15歳～19歳	0.50	3
20歳代	1.25	8
30歳代	0.97	9
40歳代	1.67	12
50歳代	2.34	30
60歳～64歳	2.75	13
65歳～74歳	2.68	70
75歳以上	3.26	108

・一日のうち家にいる総時間は、「24 時間」という回答が最も多い (19.3%)。

<表-14 一日のうち、家にいる総時間>

	回答数	割合
7時間未満	47	7.5%
7時間以上～8時間未満	6	1.0%
8時間以上～9時間未満	30	4.8%
9時間以上～10時間未満	13	2.1%
10時間以上 11時間未満	30	4.8%
11時間以上 12時間未満	18	2.9%
12時間以上 13時間未満	48	7.6%
13時間以上 14時間未満	39	6.2%
14時間以上 15時間未満	51	8.1%
15時間以上 16時間未満	47	7.5%
16時間以上 17時間未満	37	5.9%
17時間以上 18時間未満	13	2.1%
18時間以上 19時間未満	23	3.7%
19時間以上 20時間未満	12	1.9%
20時間以上 21時間未満	60	9.6%
21時間以上 22時間未満	4	0.6%
22時間以上 23時間未満	20	3.2%
23時間以上 24時間未満	9	1.4%
24時間	121	19.3%
有効回答	628	
無回答	443	

<図-17 一日のうち、家にいる総時間(累積回答数)>



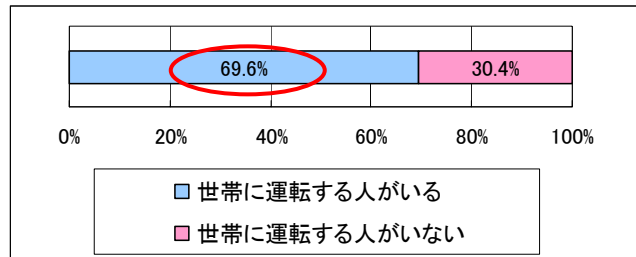
問9 世帯の中に車の運転をする方はいますか。

- ・世帯の中に運転する人がいると答えた世帯が69.6%となっている。
- ・世帯主が高齢であるほど、世帯の中に運転する人がいない世帯は増え、世帯主が75歳以上の世帯では半数以上で運転をする人がいない。

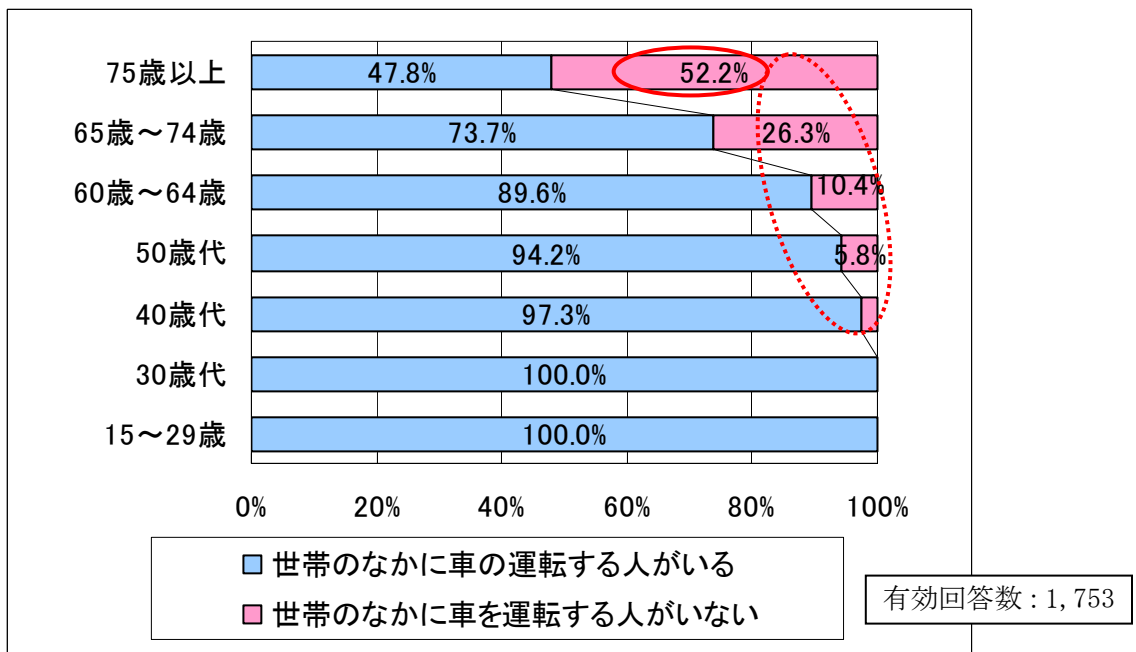
<表-15 世帯に運転する人がいる世帯>

	回答数	割合
世帯に運転する人がいる	1,227	69.6%
世帯に運転する人がいない	537	30.4%
有効回答	1,764	
無回答	85	

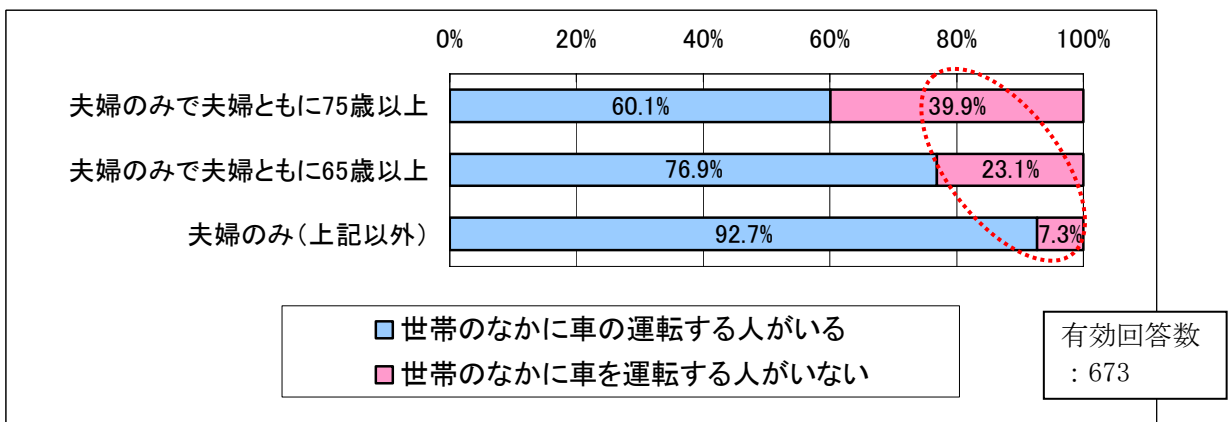
<図-18 世帯に運転する人がいる世帯>



<図-19 世帯主の年齢×運転する人がいる世帯>

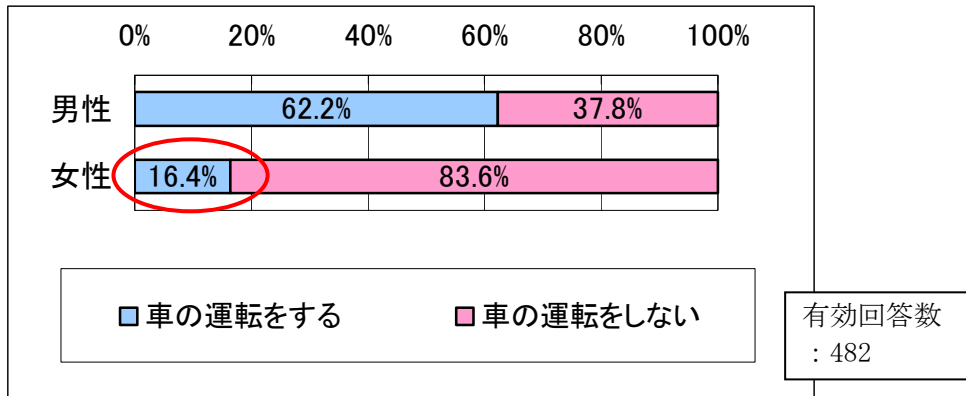


<図-20 夫婦のみの世帯（三区区分）×運転する人がいる世帯>

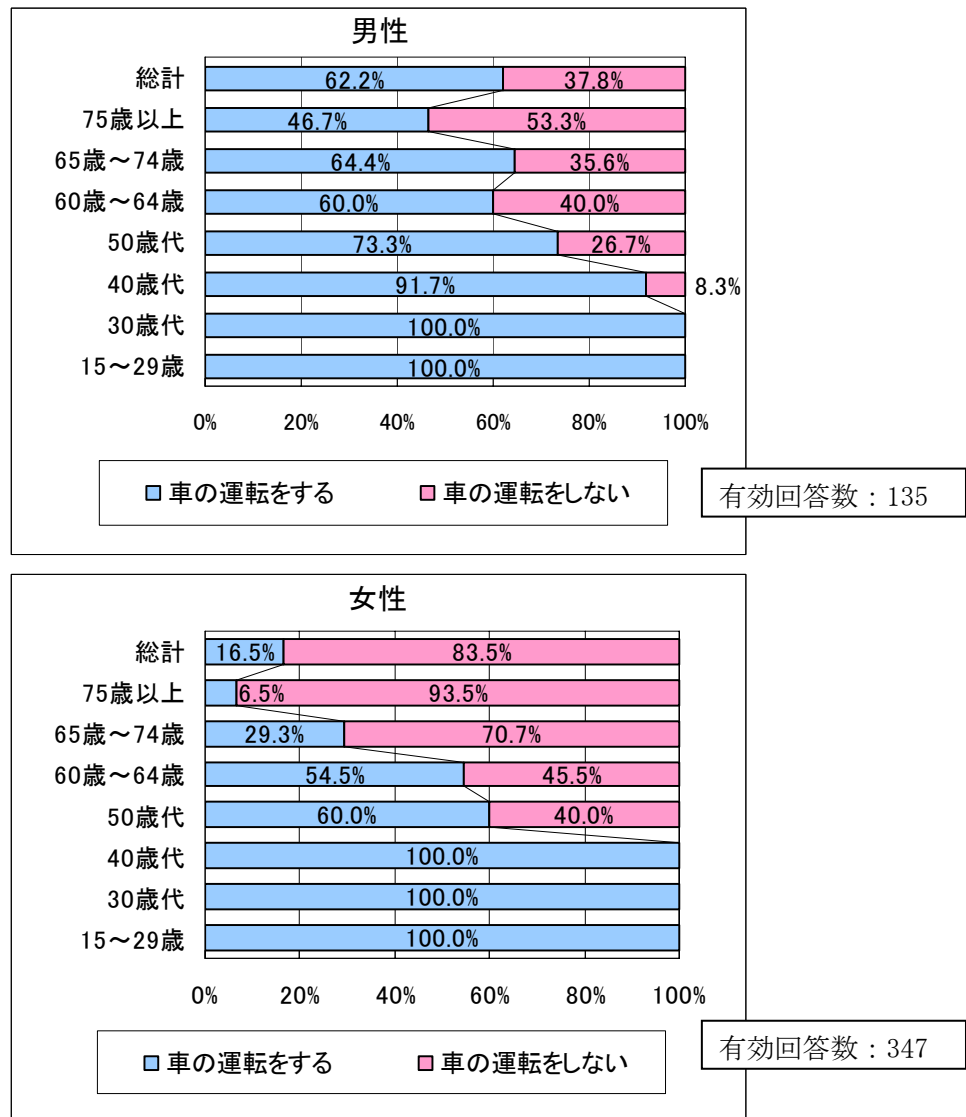


・一人暮らし世帯においては、男性は約62%が車の運転をする一方で、女性は約16%しか車の運転をしない。

<図-21 一人暮らし世帯の世帯主の性別×運転する人がいる世帯>



<図-22 一人暮らし世帯の世帯主の年齢・性別×運転する人がいる世帯>



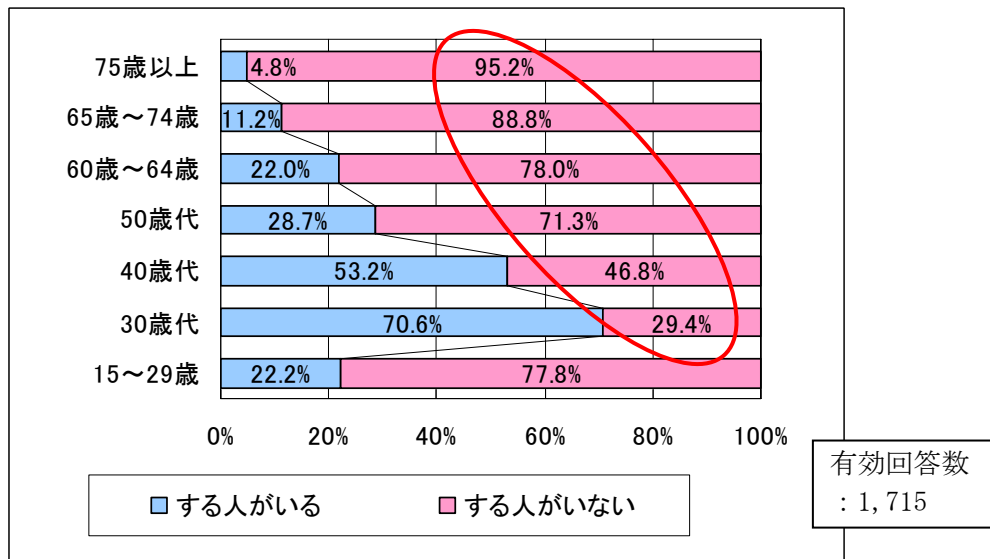
問10 世帯の中に日常的にインターネットを利用する方はいますか。

- ・世帯の中に、「日常的にインターネットを利用する人がいない」世帯が約84%となっている。
- ・世帯主が30歳以上の世帯では、世帯主の年齢が若いほど、「日常的にインターネットを利用する人がいる」世帯の割合が高い傾向がある。
- ・15歳以上の子どもと同居する世帯では「日常的にインターネットを利用する人がいる」世帯が3割を超えており、比較的インターネット利用率は高い。

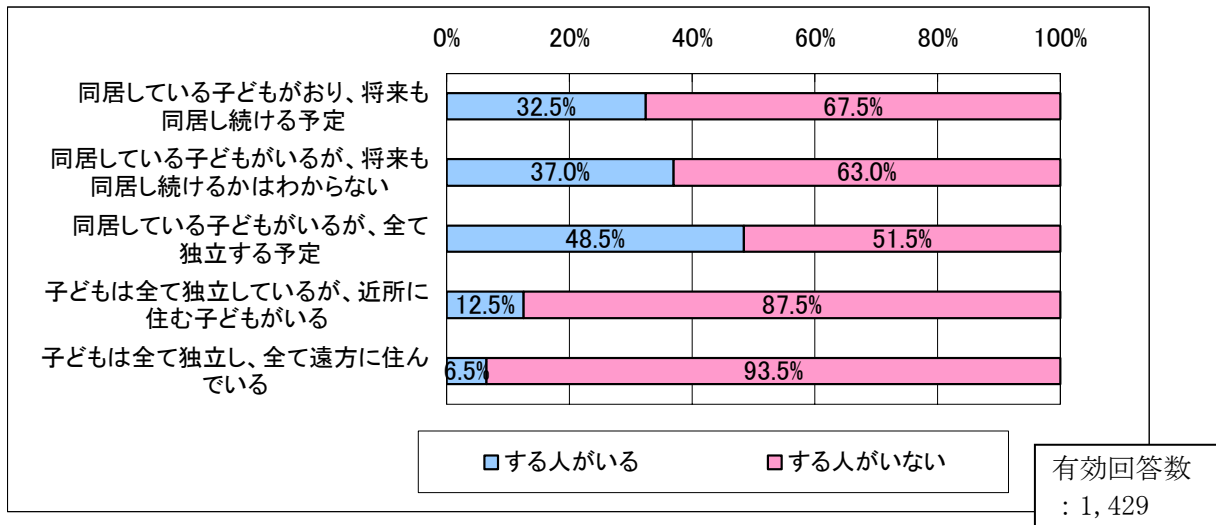
<表-16 インターネット利用者のいる世帯>

	回答数	割合
する人がいる	278	16.1%
する人がいない	1,447	83.9%
有効回答	1,725	
無回答	124	

<図-23 世帯主の年齢×インターネット利用者のいる世帯>

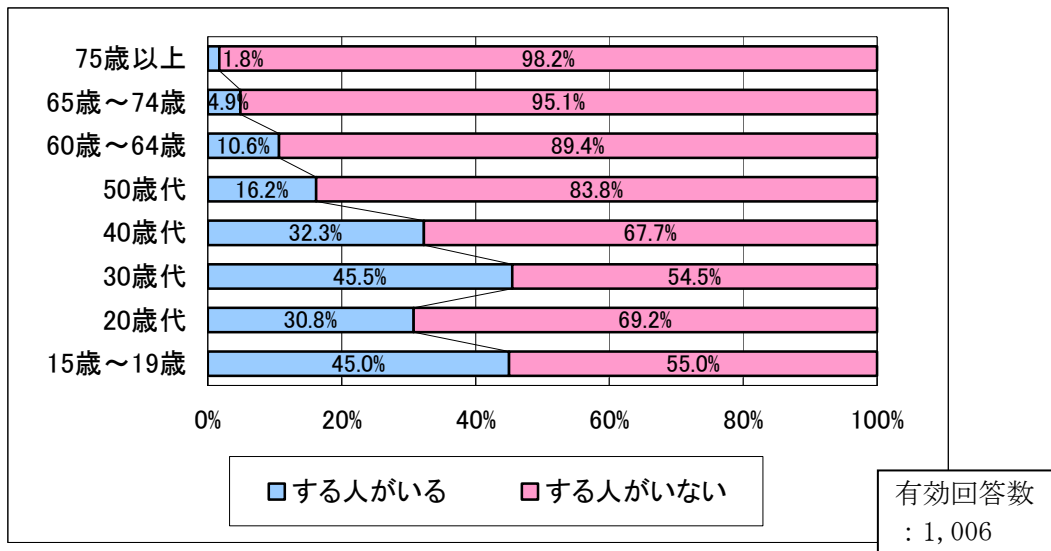


<図-24 子どもとの同居状況×インターネット利用者のいる世帯>



- ・住民の年齢別にみても、30 歳代以上では世帯主の年齢が若いほど、「日常的にインターネットを利用する人がいる」世帯の割合が高い傾向がある。

<図-24 個人の年齢×インターネット利用者のいる世帯>



問 1 1 あなたが、それぞれの場所まで a. 出かける頻度、b. 通常利用する交通手段、c. 通常利用する交通手段によって片道にかかる時間はどれですか。あてはまるものに○をつけてください。

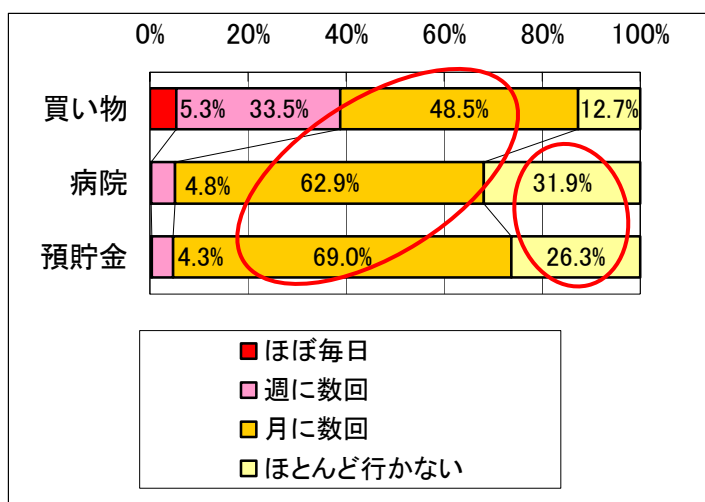
a. 出かける頻度

・「食料、日用品などの買い物先」（以下〈買い物〉）、「病院や診療所などの医療機関」（以下〈病院〉）、「郵便局や農協での預貯金等」（以下〈預貯金〉）のいずれも目的においても、出かける頻度は「月に数回」が最も多い。〈病院〉、〈預貯金〉については「ほとんど行かない」が約 3 割を占めている。

<表-17 各目的地へ出かける頻度>

	買い物		病院		預貯金	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ほぼ毎日	82	5.3%	5	0.3%	6	0.4%
週に数回	513	33.5%	74	4.8%	66	4.3%
月に数回	744	48.5%	969	62.9%	1,055	69.0%
ほとんど行かない	194	12.7%	492	31.9%	403	26.3%
有効回答	1,533		1,540		1,530	
無回答	316		309		319	

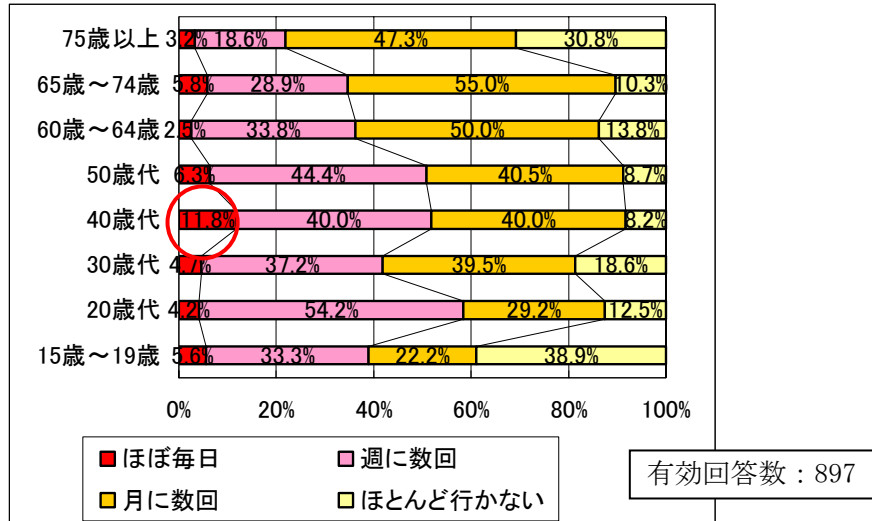
<図-25 各目的地へ出かける頻度>



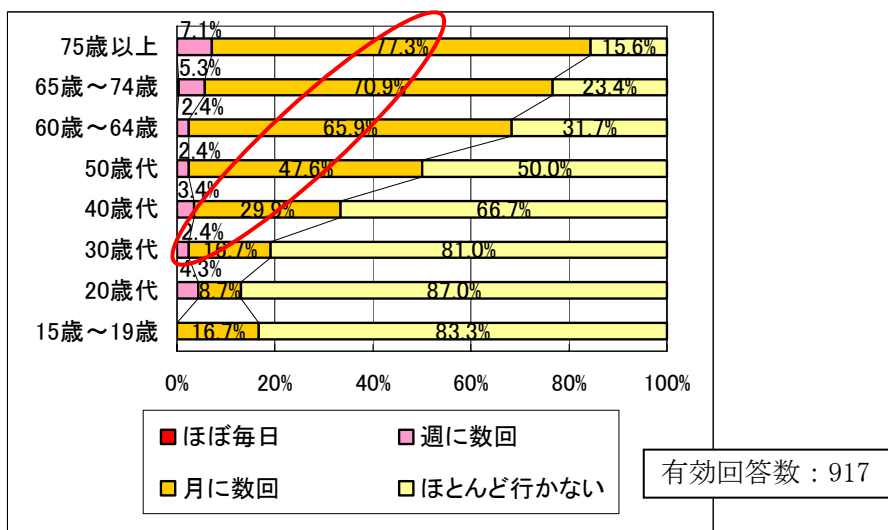
・住民の年齢別にみると、〈買い物〉については 40 歳代で「ほぼ毎日」の割合が他の年代より高い。〈病院〉については高齢になるにつれて「週に数回」および「月に数回」の割合が高くなる傾向があり、〈預貯金〉については 30 歳代で「ほぼ毎日」および「週に数回」の割合が他の年代より高い。

<図-26 住民の年齢×各目的地へ出かける頻度>

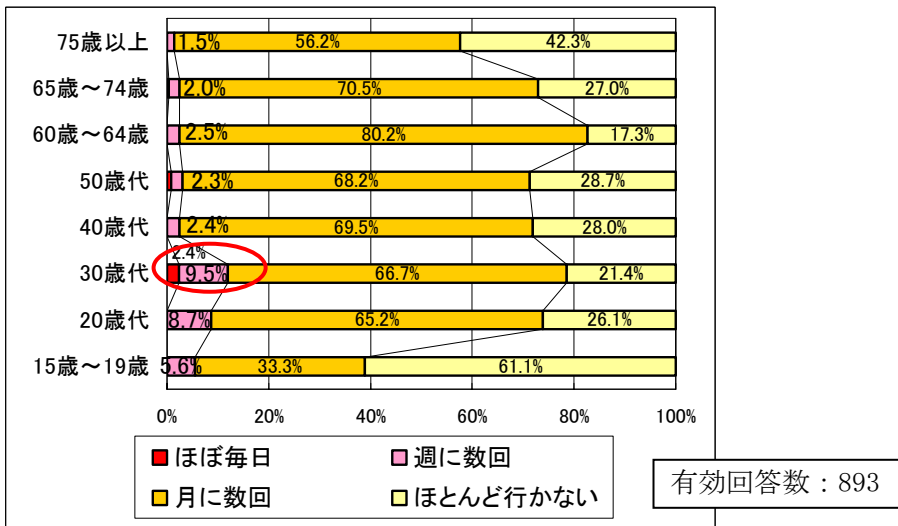
買い物



病院



預貯金



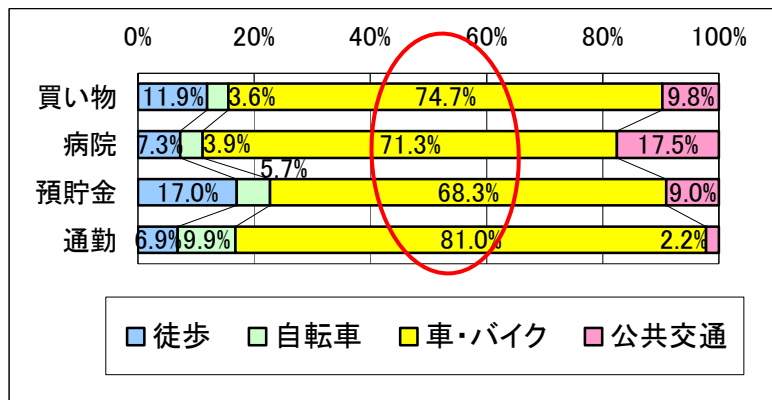
b. 通常利用する交通手段

- ・〈買い物〉、〈病院〉、〈預貯金〉、〈通勤〉のいずれの目的においても、交通手段は「車・バイク」が大半を占める。二番目に多い交通手段は、〈買い物〉と〈預貯金〉が「徒歩」、〈病院〉が「公共交通」となっている。
- ・車を運転する者がいない世帯においては、「公共交通」の利用度が高くなり、〈病院〉では「公共交通」の利用世帯が48.5%となっている。

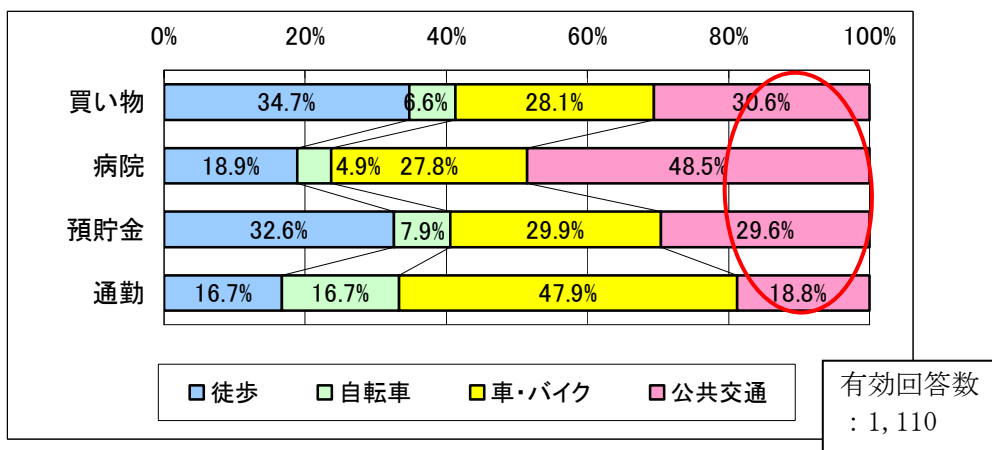
<表-18 外出先別の移動手段>

	買い物		病院		預貯金		通勤	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
徒歩	173	11.9%	99	7.3%	228	17.0%	40	6.9%
自転車	53	3.6%	53	3.9%	77	5.7%	58	9.9%
車・バイク	1,088	74.7%	972	71.3%	917	68.3%	472	81.0%
公共交通	142	9.8%	239	17.5%	121	9.0%	13	2.2%
有効回答	1,456		1,363		1,343		583	
無回答	393		486		506		1,266	

<図-28 外出先別の移動手段>

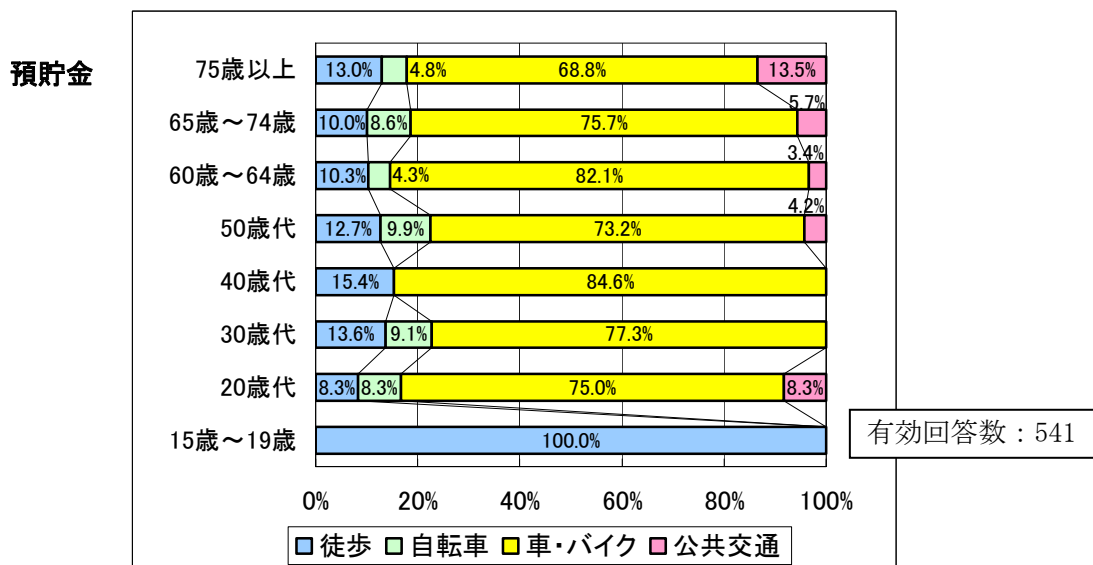
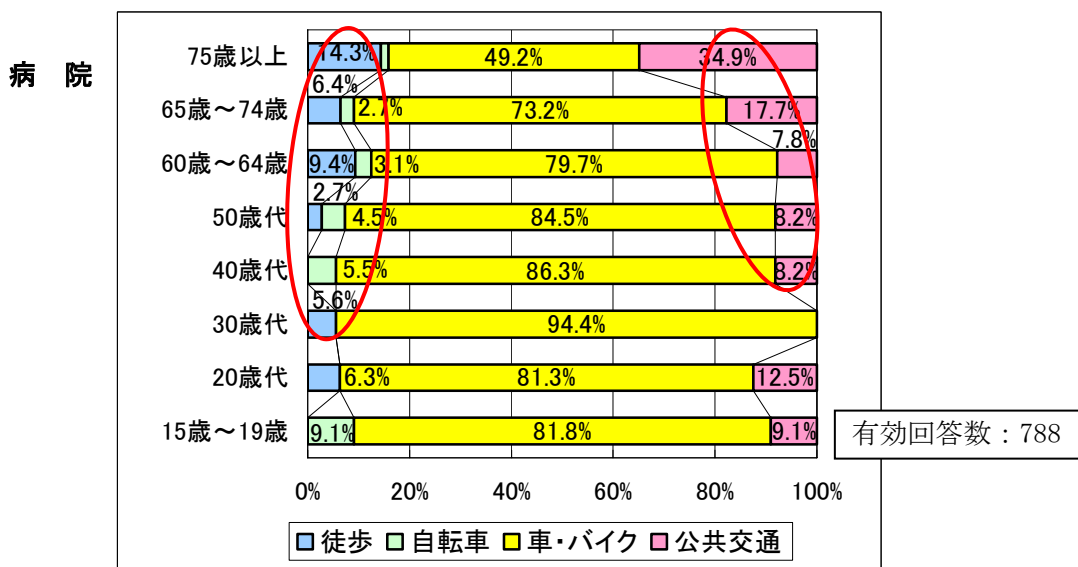
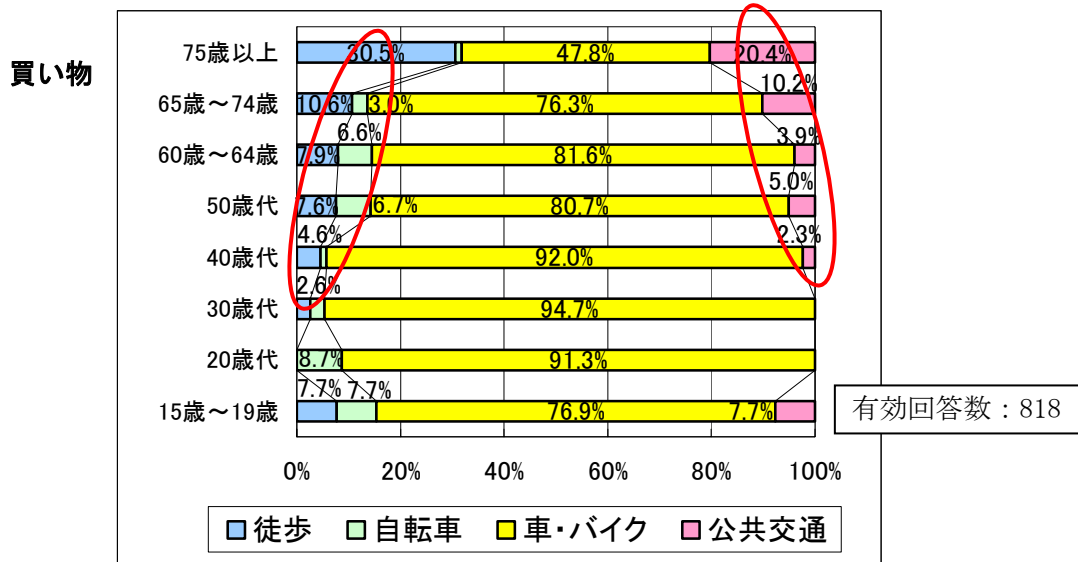


<図-29 車を運転する人のいない世帯の外出先別の移動手段>

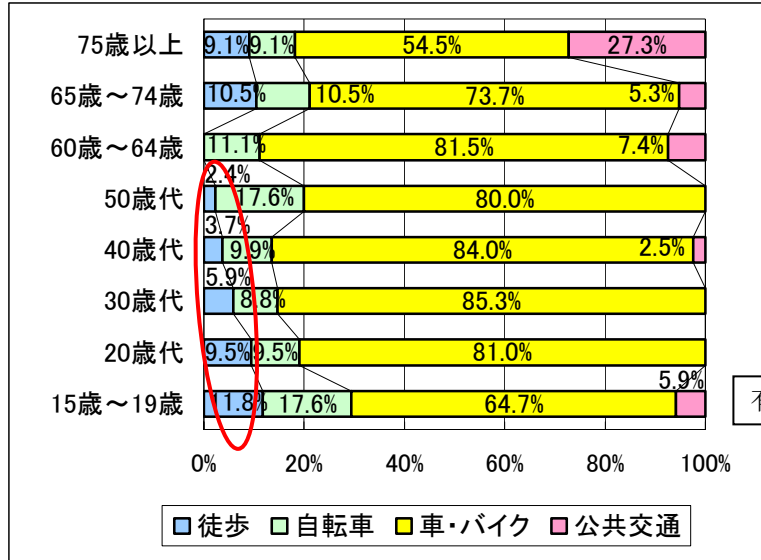


・住民の年齢別にみると、〈買い物〉と〈病院〉については高齢になるほど「徒歩」の割合および「公共機関」の割合が高い傾向にある。〈通勤〉については、64 歳以下の世代では、若い世代ほど「徒歩」の割合が高い。

<図-30 住民の年齢×外出先別の移動手段>



通 勤



有効回答数 : 314

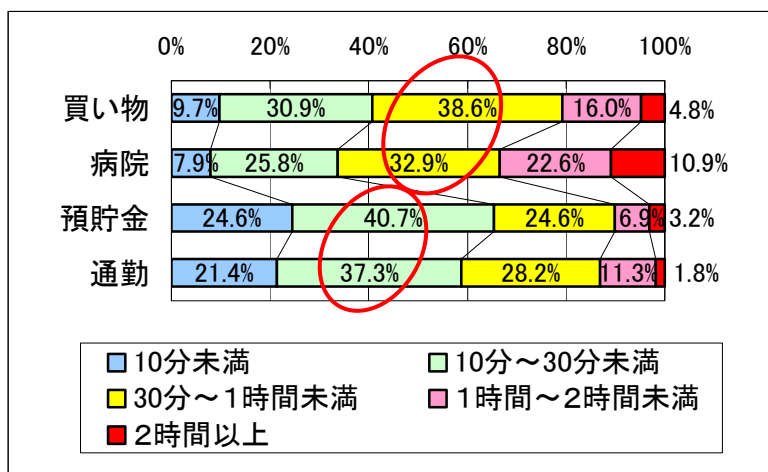
c. 片道にかかる時間

・片道にかかる時間は回答数にばらつきがみられるが、〈買い物〉と〈病院〉では「30分～1時間未満」が最も多く、〈預貯金〉と〈通勤〉では「10分～30分未満」がもっとも多い。

<表-19 外出先別の移動時間（片道）>

	買い物		病院		預貯金		通勤	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10分未満	141	9.7%	106	7.9%	325	24.6%	120	21.4%
10分～30分未満	448	30.9%	347	25.8%	539	40.7%	209	37.3%
30分～1時間未満	559	38.6%	442	32.9%	326	24.6%	158	28.2%
1時間～2時間未満	231	16.0%	304	22.6%	91	6.9%	63	11.3%
2時間以上	69	4.8%	146	10.9%	42	3.2%	10	1.8%
有効回答	1,448		1,345		1,323		560	
無回答	401		504		526		1,289	

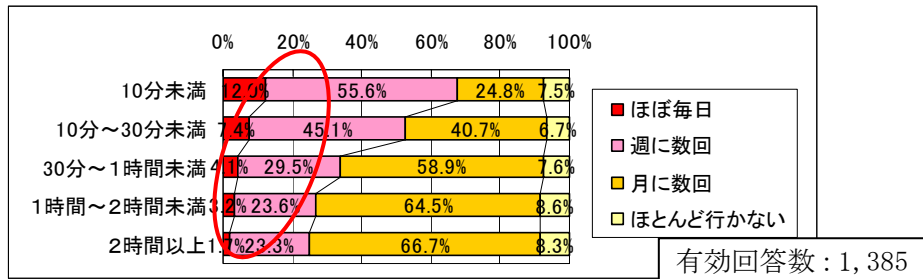
<図-31 外出先別の移動時間（片道）>



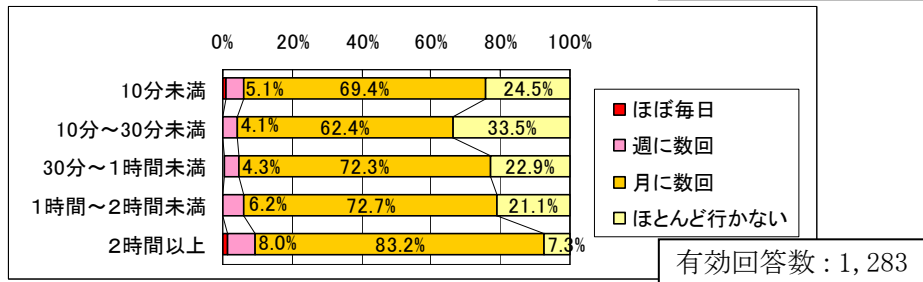
- ・片道にかかる時間ごとに通う頻度をみると、〈買い物〉では時間が短いほど通う頻度が高い。
- ・同様に移動手段をみると、いずれの目的にも、片道にかかる時間が短いほど徒歩に頼り、時間が長いほど公共交通を利用する傾向がある。

＜図-32 外出先別の移動時間（片道）×通う頻度＞

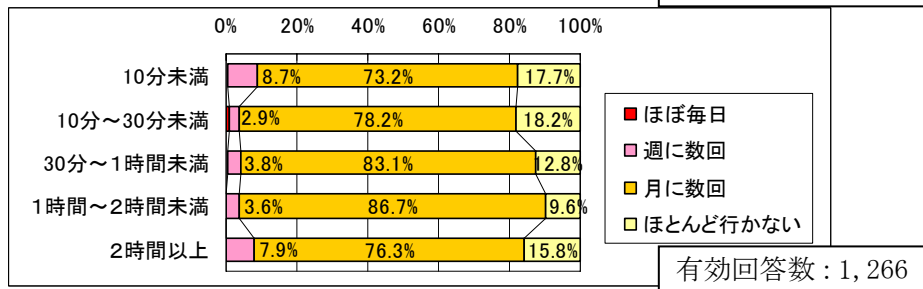
買い物



病院

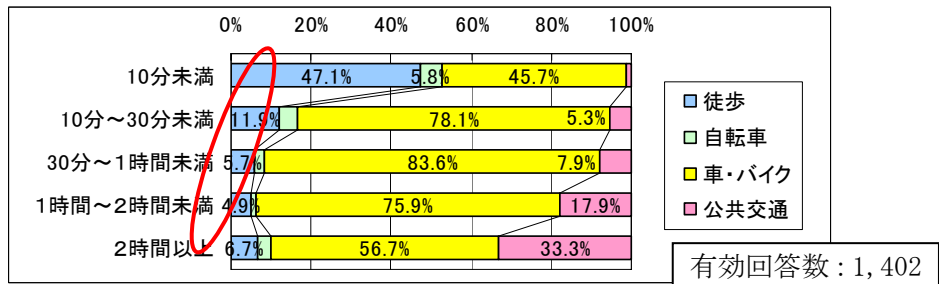


預貯金

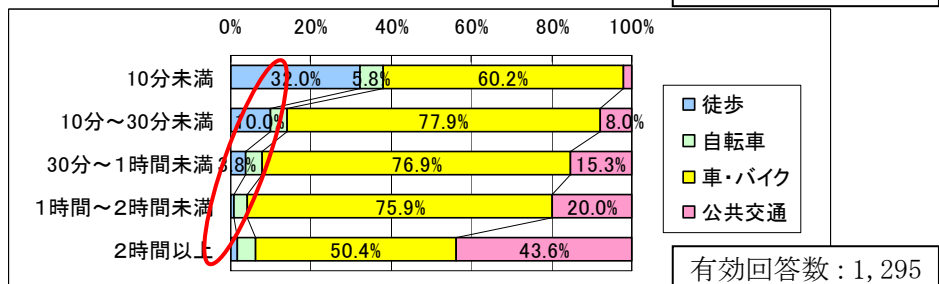


＜図-33 外出先別の移動時間（片道）×交通手段＞

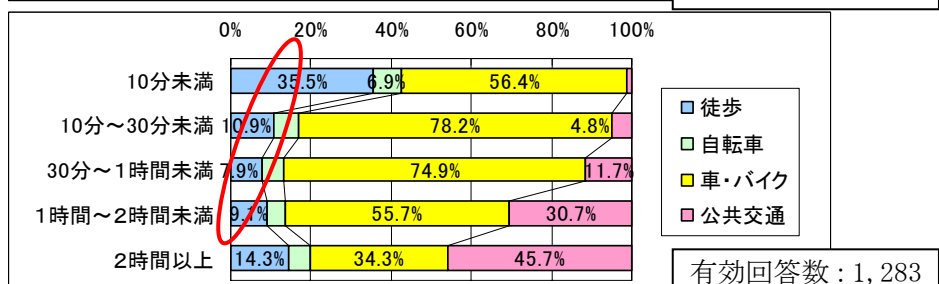
買い物



病院



預貯金



5. 生活の上でお困りのこと

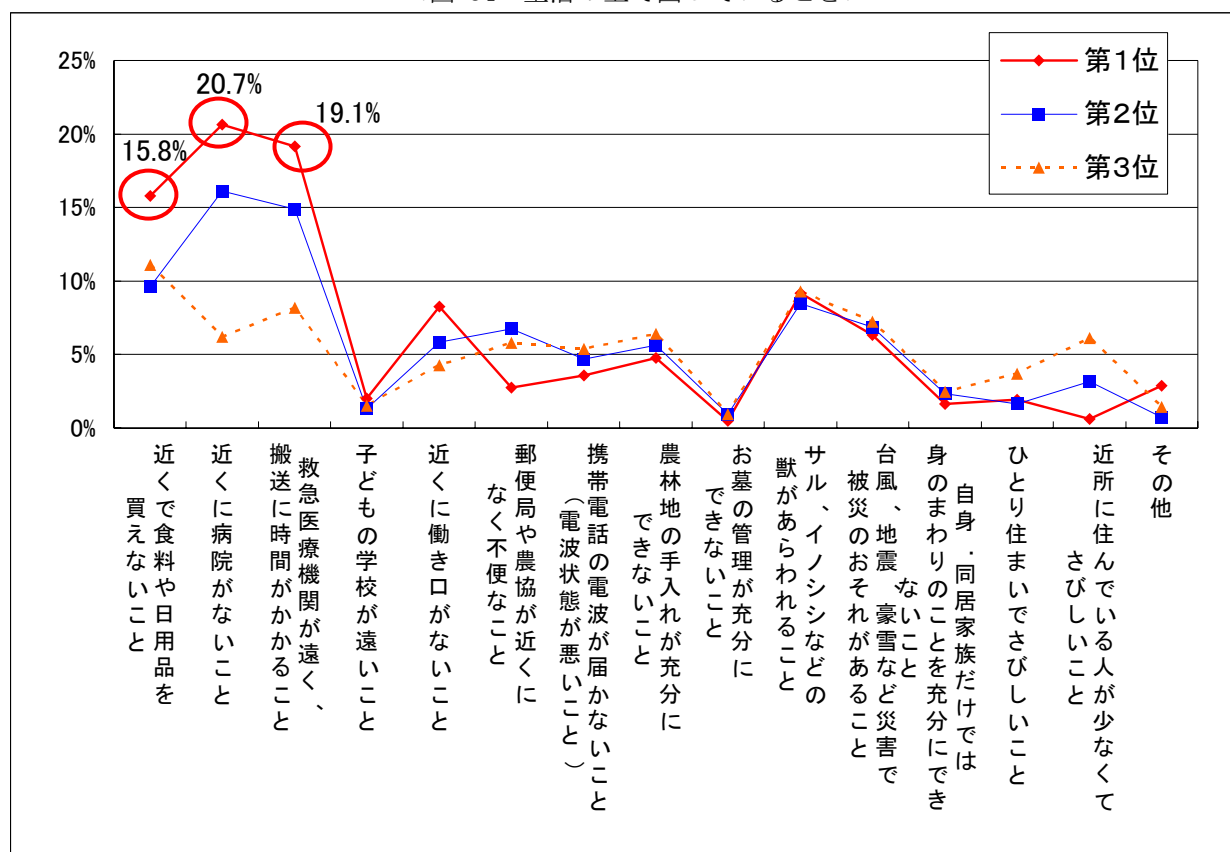
問12 生活する上で、お困りのこと・不安なことはありますか。ある場合は、一番困っていることに”1”、二番目に困っていることに”2”、三番目に困っていることに”3”を付けてください。

- ・生活上、一番困っていることとして、最も回答が多かったのが「近くに病院がないこと」(20.7%)であり、次いで「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかること」(19.1%)、「近くで食料や日用品を買えないこと」(15.8%)となっている。
- ・それ以外については回答数にばらつきがある。
- ・項目ごとに第3位までに挙げられた割合をみると、前述の3項目に次いで「サル・イノシシなどの獣があらわれること」(合計で26.9%)が挙げられている。

<表-20 生活の上で困っていること>

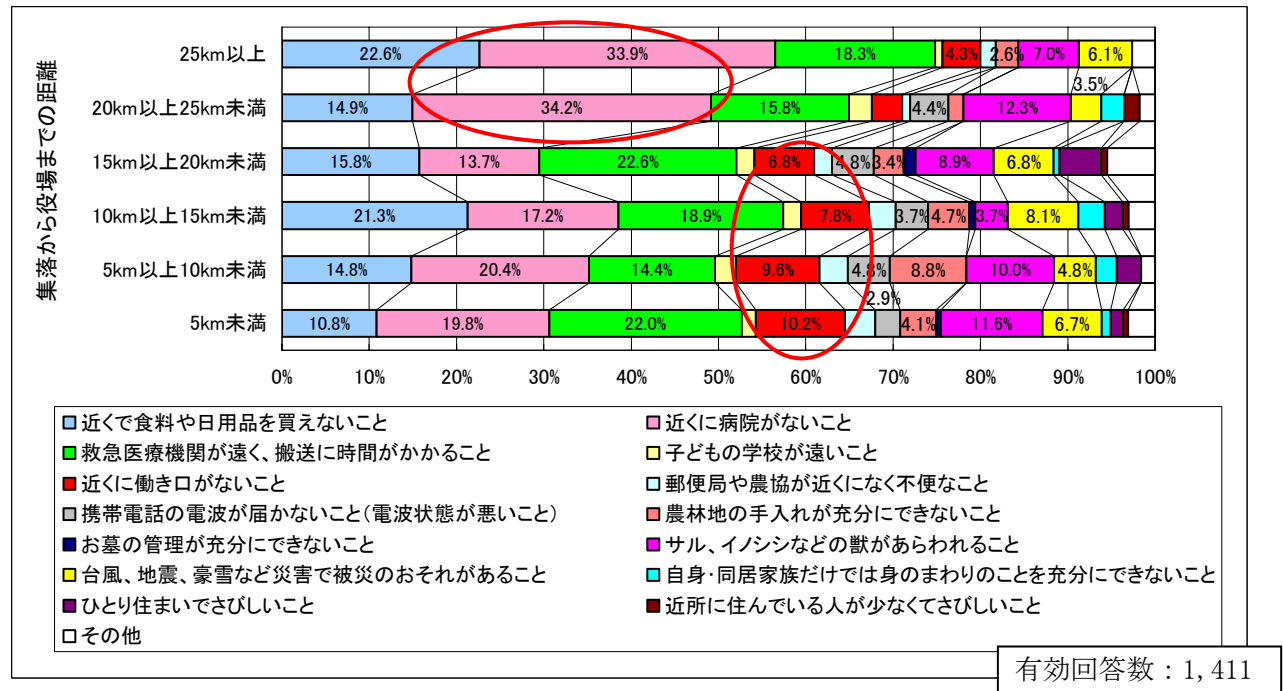
	回答数			割合			第3位までの合計
	第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位	
近くで食料や日用品を買えないこと	229	140	161	15.8%	9.6%	11.1%	36.5%
近くに病院がないこと	300	234	90	20.7%	16.1%	6.2%	43.0%
救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかること	278	216	119	19.1%	14.9%	8.2%	42.2%
子どもの学校が遠いこと	29	19	22	2.0%	1.3%	1.5%	4.8%
近くに働き口がないこと	120	85	62	8.3%	5.9%	4.3%	18.4%
郵便局や農協が近くに不便なこと	40	98	84	2.8%	6.7%	5.8%	15.3%
携帯電話の電波が届かないこと(電波状態が悪いこと)	52	68	78	3.6%	4.7%	5.4%	13.6%
農林地の手入れが充分にできないこと	69	82	93	4.8%	5.6%	6.4%	16.8%
お墓の管理が充分にできないこと	7	14	14	0.5%	1.0%	1.0%	2.4%
サル、イノシシなどの獣があらわれること	133	123	135	9.2%	8.5%	9.3%	26.9%
台風、地震、豪雪など災害で被災のおそれがあること	92	100	105	6.3%	6.9%	7.2%	20.5%
自身・同居家族だけでは身のまわりのことを充分にできないこと	24	34	36	1.7%	2.3%	2.5%	6.5%
ひとり住まいでさびしいこと	28	24	54	1.9%	1.7%	3.7%	7.3%
近所に住んでいる人が少なくてさびしいこと	9	46	89	0.6%	3.2%	6.1%	9.9%
その他	42	11	21	2.9%	0.8%	1.4%	5.1%
有効回答	1,452						
無回答	397						

<図-34 生活の上で困っていること>



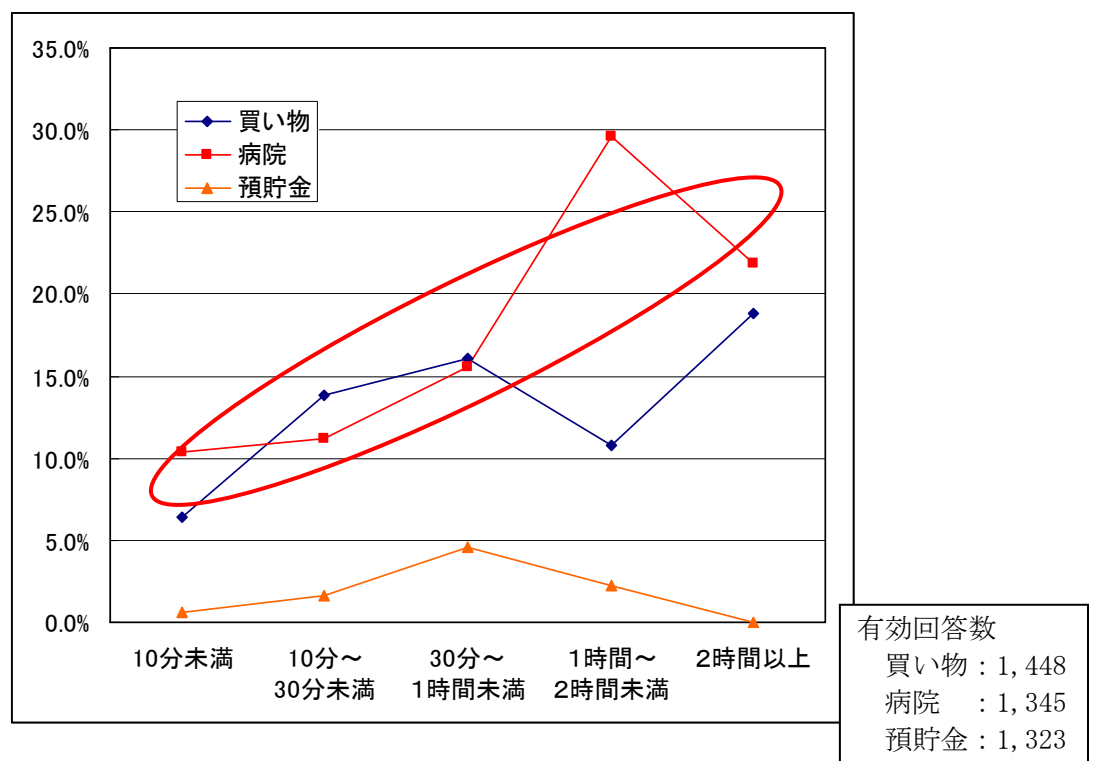
- ・役場から集落までの距離別にみると、20km以上離れた集落では「近くに病院がないこと」を最も困っていることとして挙げる者が多い。
- ・また、役場からの距離が近い集落ほど、「近くに働き口がないこと」を挙げる者が多い。

<図-35 集落から役場までの距離×生活の上で最も困っていること・不安なこと>



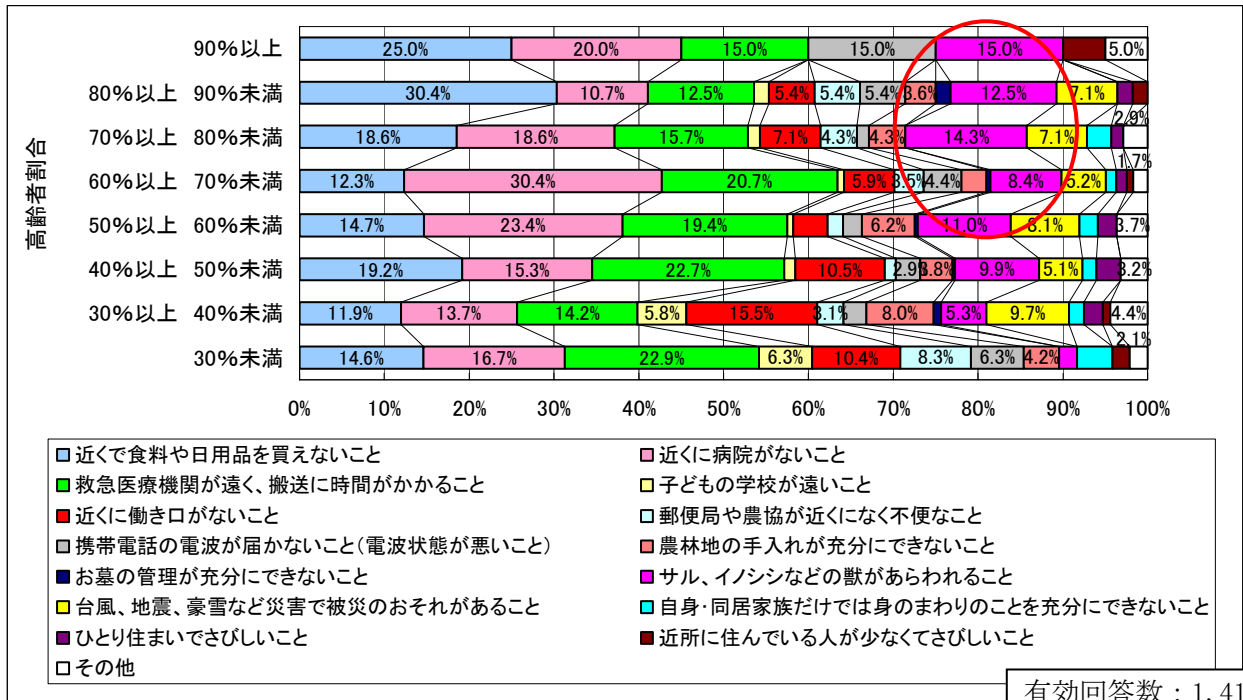
- ・〈買い物〉と〈病院〉については、片道にかかる移動時間が長いほど、それぞれ「近くで食料や日用品を買えないこと」、「近くに病院がないこと」を最も困っていることとして挙げる者の割合が多い傾向がある。

<図-36 移動時間×各外出先ついて最も困っていると挙げる者の割合>



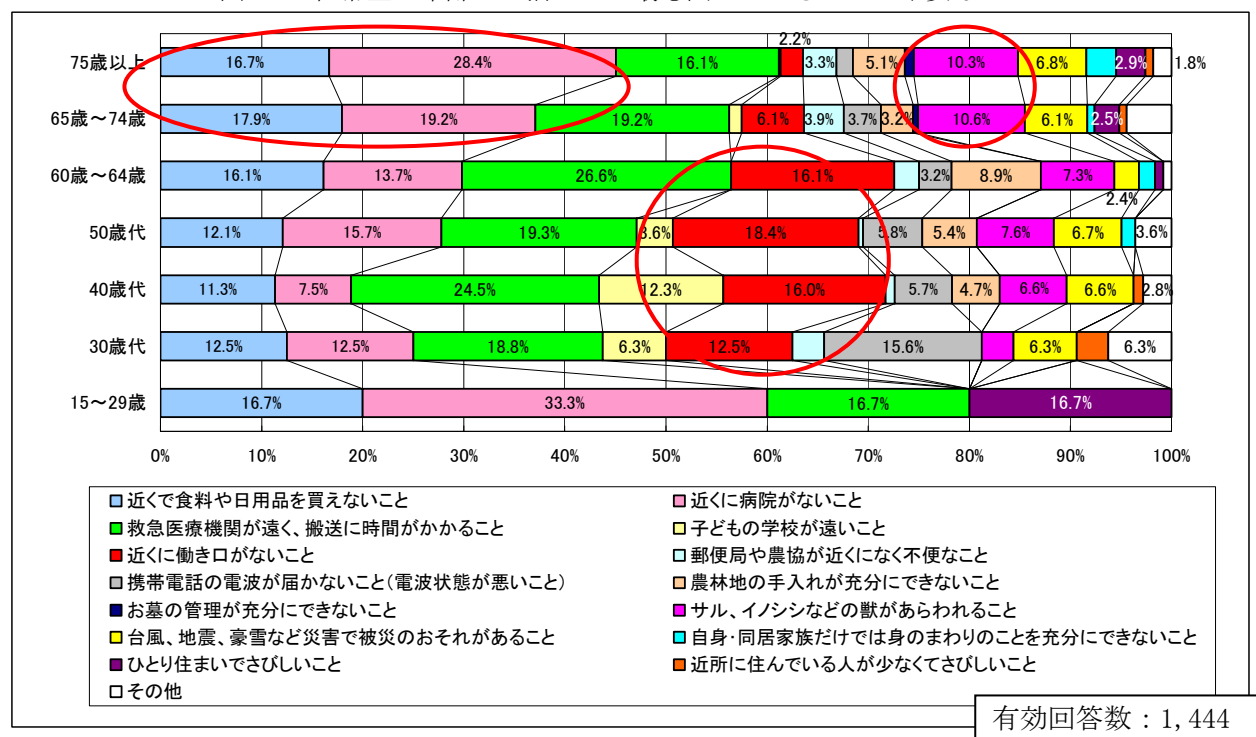
・生活の上で最も困っていることをみると、集落が高齢化するほど「サル、イノシシなどの獣があらわれること」が多くなる傾向がある。

<図-37 集落の高齢者割合×生活の上で最も困っていること・不安なこと>



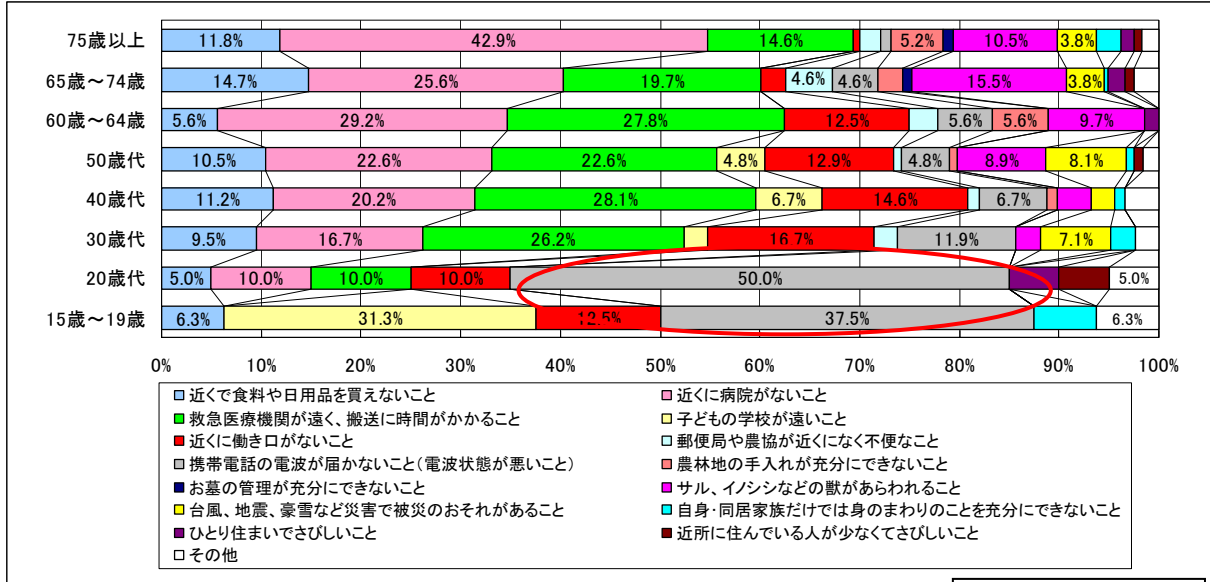
・世帯主が高齢になるほど、「近くで食料や日用品を買えないこと」、「近くに病院がないこと」、「サル、イノシシなどの獣があらわれること」を最も困っていることとして多く挙げている。
 ・世帯主が 30～64 歳の世帯では、他の世帯に比べて「近くに働き口がないこと」を挙げる者が多い。

<図-38 世帯主の年齢×生活の上で最も困っていること・不安なこと>



- ・住民の年齢別にみても世帯主集計と同様の傾向がみられる。
- ・15～19 歳、20 歳代の者で、「携帯電話の電波が届かないこと」を挙げる者が多い。

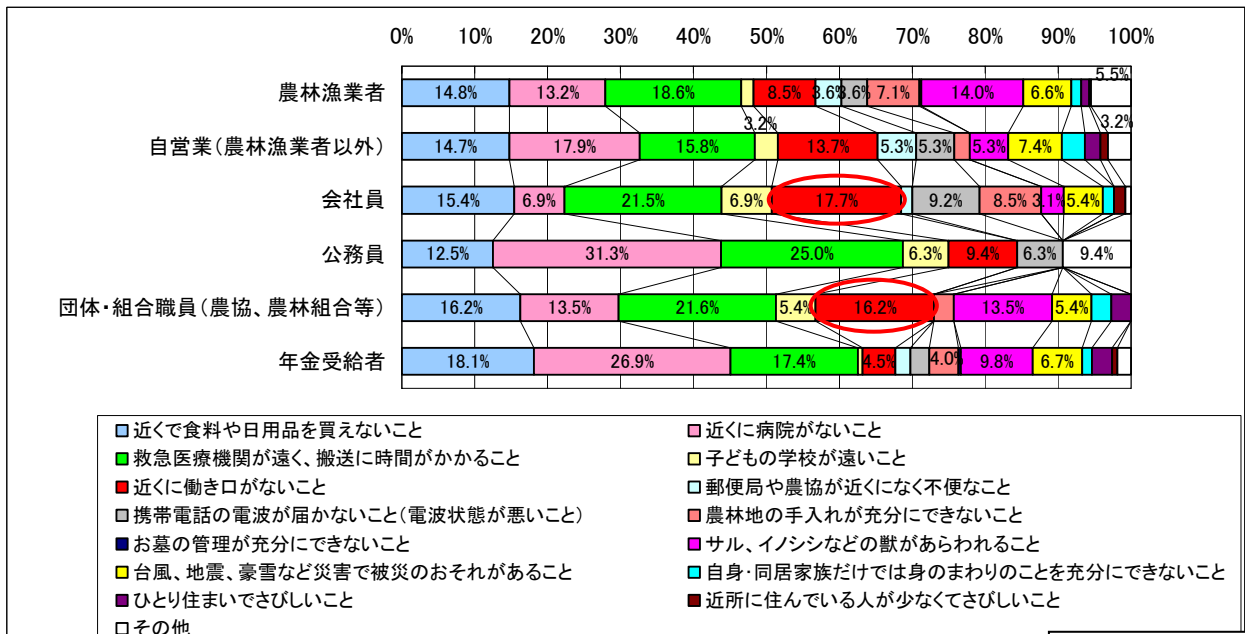
<図-39 住民の年齢×生活上困っていること・不安なこと>



有効回答数：888

- ・最も困っていることとして「近くに働き口がないこと」を挙げる者は、会社員や団体・組合職員で多く、それぞれ約 2 割を占める。

<図-40 世帯主の職業×生活上困っていること・不安なこと>



有効回答数
：1,238

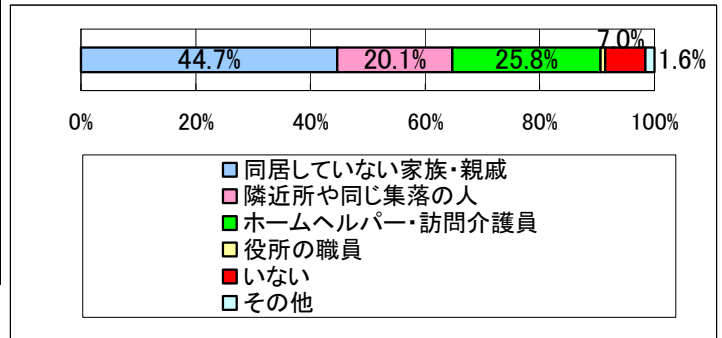
問13 あなたや同居している家族が病気や高齢になるなどして、日常生活が不自由になったとき、同居の家族以外には、主に誰を頼りますか。一つ○を付けてください。

・生活上の頼り先として、「同居していない家族・親戚」を挙げる世帯主が最も多い（44.7%）。次いで、「ホームヘルパー・訪問介護員」（25.8%）、「隣近所や同じ集落の人」（20.1%）となっている。

<表-21 生活上の頼り先>

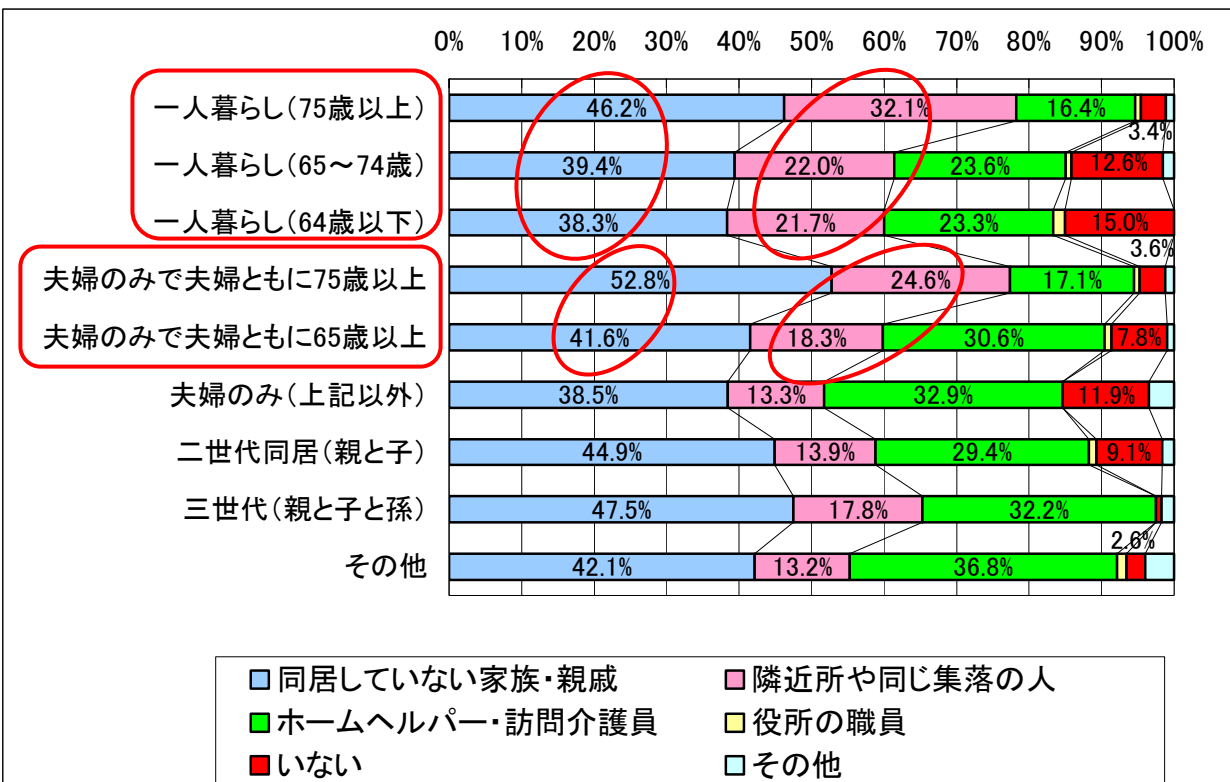
	回答数	割合
同居していない家族・親戚	739	44.7%
隣近所や同じ集落の人	332	20.1%
ホームヘルパー・訪問介護員	427	25.8%
役所の職員	13	0.8%
いない	116	7.0%
その他	27	1.6%
有効回答	1,654	
無回答	195	

<図-41 生活上の頼り先>



・「一人暮らし」や「夫婦のみ」の世帯では、それぞれ世帯主が高齢になるほど「同居していない家族・親戚」、「隣近所や同じ集落の人」に頼る傾向がある。

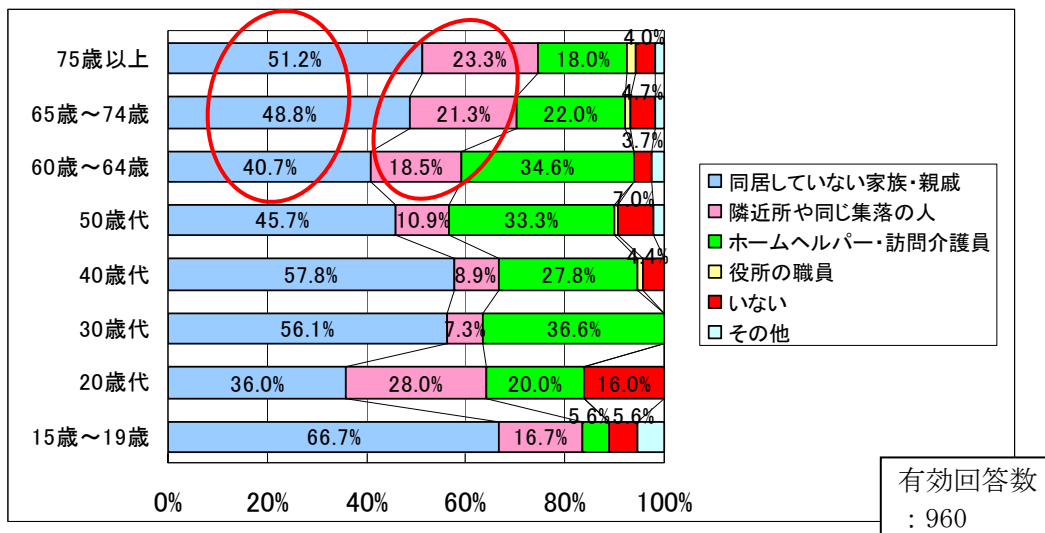
<図-42 世帯構成×生活上の頼り先>



有効回答数
: 1,631

・住民の年齢別にみても、60 歳以上の者は高齢になるほど、頼り先として「同居していない家族・親戚」、「隣近所や同じ集落の人」を多く挙げている。

<図-43 住民の年齢×生活上の頼り先>



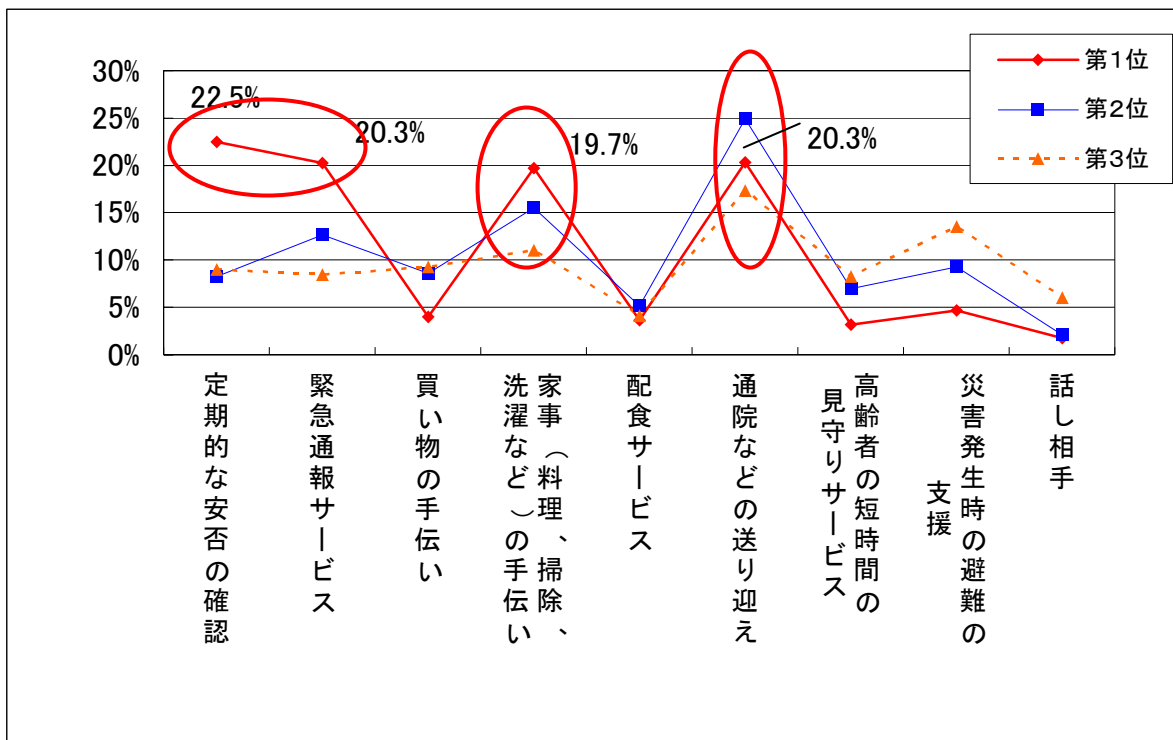
問14 あなたや同居している家族が病気や高齢になるなどして、日常生活が不自由になったとき、どのようなサービスが必要ですか。必要な場合は、一番必要なものに”1”、二番目に必要なものに”2”、三番目に必要なものに”3”を付けてください。

・生活上、一番必要と思うサービスについては「定期的な安否の確認」が最も多く（22.5%）、次いで「緊急通報サービス」と「通院などの送り迎え」（ともに20.3%）、「家事の手伝い」（19.7%）となっている。

<表-22 日常生活が不自由になったときに最も必要なサービス>

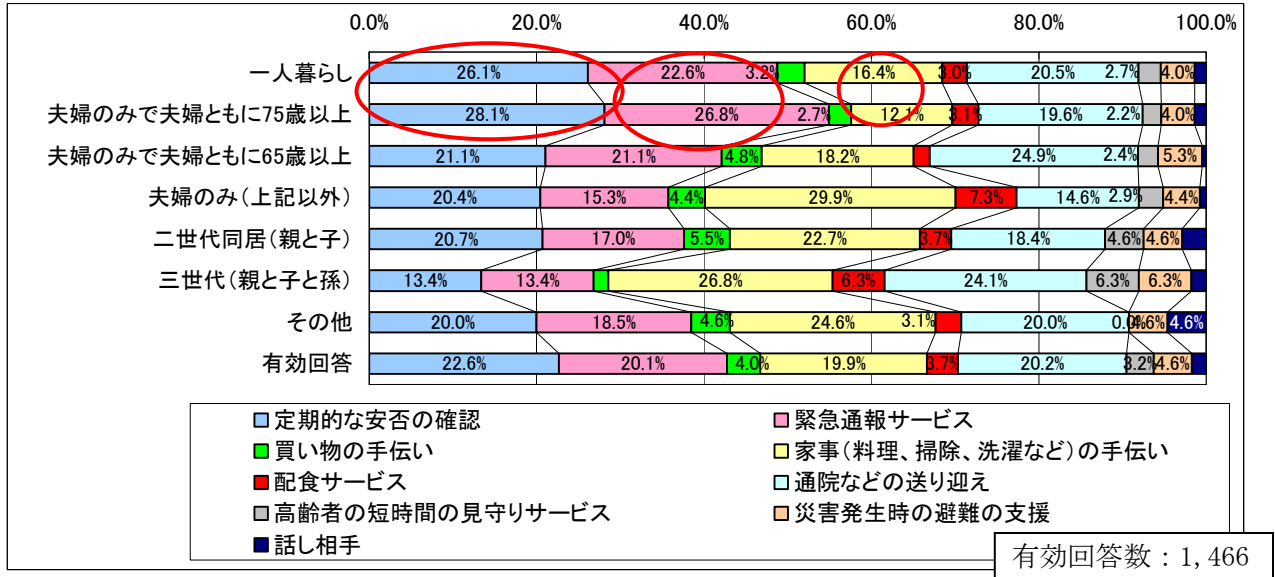
	回答数			割合			第3位までの合計
	第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位	
定期的な安否の確認	334	123	134	22.5%	8.3%	9.0%	39.8%
緊急通報サービス	301	188	126	20.3%	12.7%	8.5%	41.4%
買い物の手伝い	59	128	138	4.0%	8.6%	9.3%	21.9%
家事(料理、掃除、洗濯など)の手伝い	293	230	164	19.7%	15.5%	11.0%	46.3%
配食サービス	54	76	61	3.6%	5.1%	4.1%	12.9%
通院などの送り迎え	302	370	257	20.3%	24.9%	17.3%	62.6%
高齢者の短時間の見守りサービス	47	104	123	3.2%	7.0%	8.3%	18.5%
災害発生時の避難の支援	69	138	201	4.6%	9.3%	13.5%	27.5%
話し相手	26	31	89	1.8%	2.1%	6.0%	9.8%
有効回答	1,485						
無回答	364						

<図-44 日常生活が不自由になったときに最も必要なサービス>



- ・生活上、一番必要と思うサービスについて、「一人暮らし」や「夫婦のみで夫婦ともに75歳以上」の世帯は、「定期的な安否の確認」や「緊急通報サービス」を挙げる者が比較的多く、「家事（料理、掃除、洗濯など）の手伝い」は他に比べ少ない。

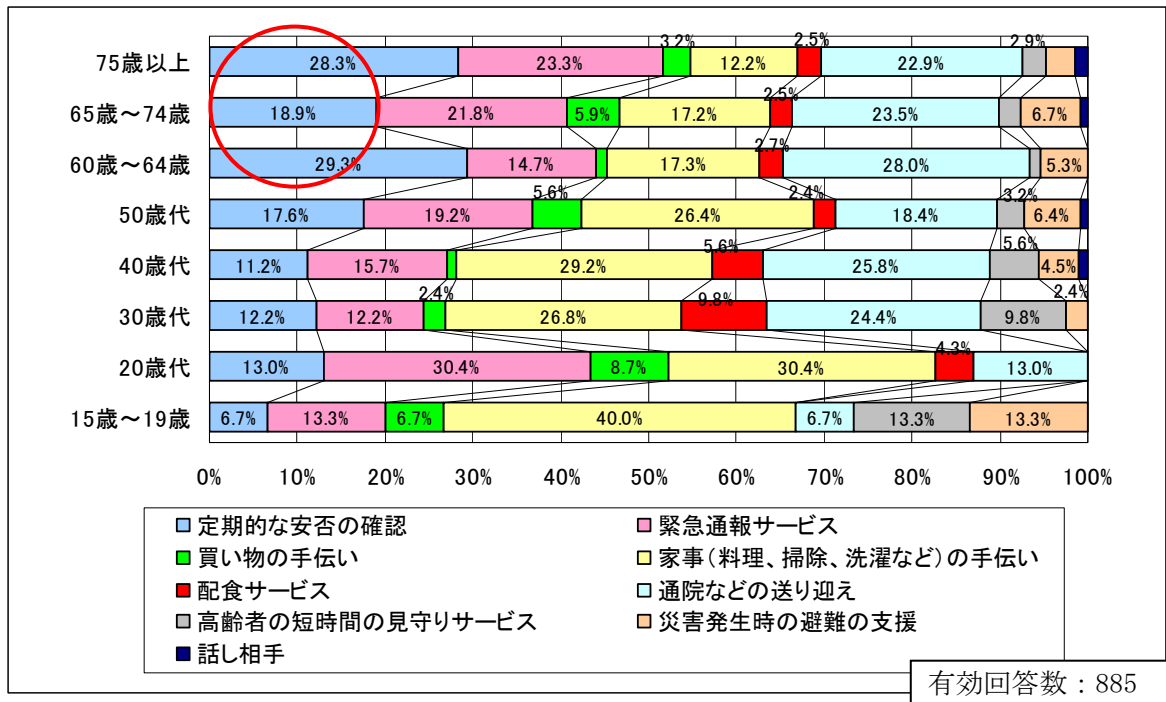
<図-45 世帯構成×日常生活が不自由になったときに最も必要なサービス>



8 地区における 15 歳以上の住民アンケート調査結果

- ・住民の年齢別にみると、比較的高齢になるほど「定期的な安否の確認」を挙げる者が多い傾向がある。

<図-46 住民の年齢×日常生活が不自由になったときに最も必要なサービス>



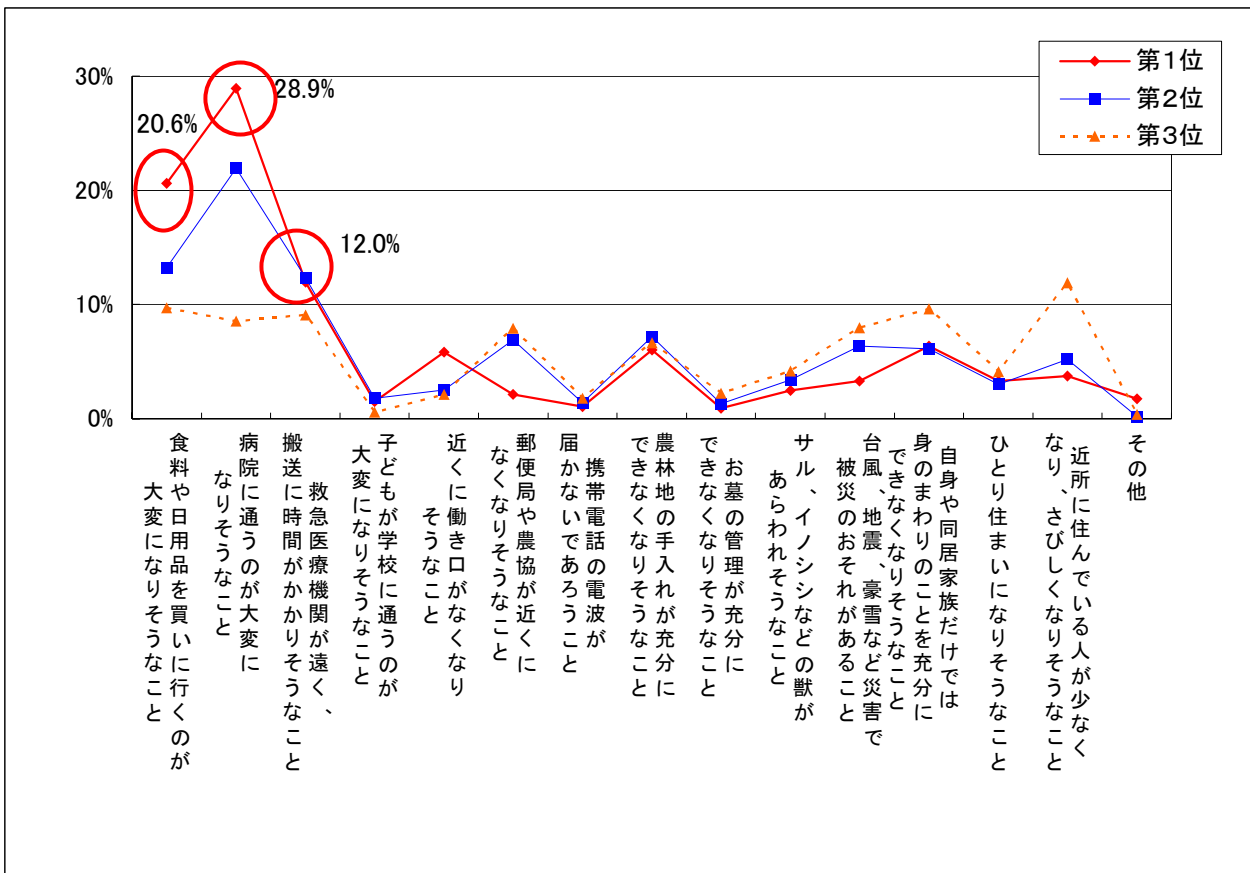
問15 10年後の生活を考えた時、不安なことはありますか。ある場合は、一番不安に思うことに”1”、二番目に不安に思うことに”2”、三番目に不安に思うことに”3”を付けてください。

・10年後の生活で一番不安に思うこととして、「病院に通うのが大変になりそうなこと」が最も多く（28.9%）、次いで「食料や日用品を買いに行くのが大変になりそう」（20.6%）、「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかりそう」（12.0%）となっている。

<表-23 10年後の生活で不安に思うこと>

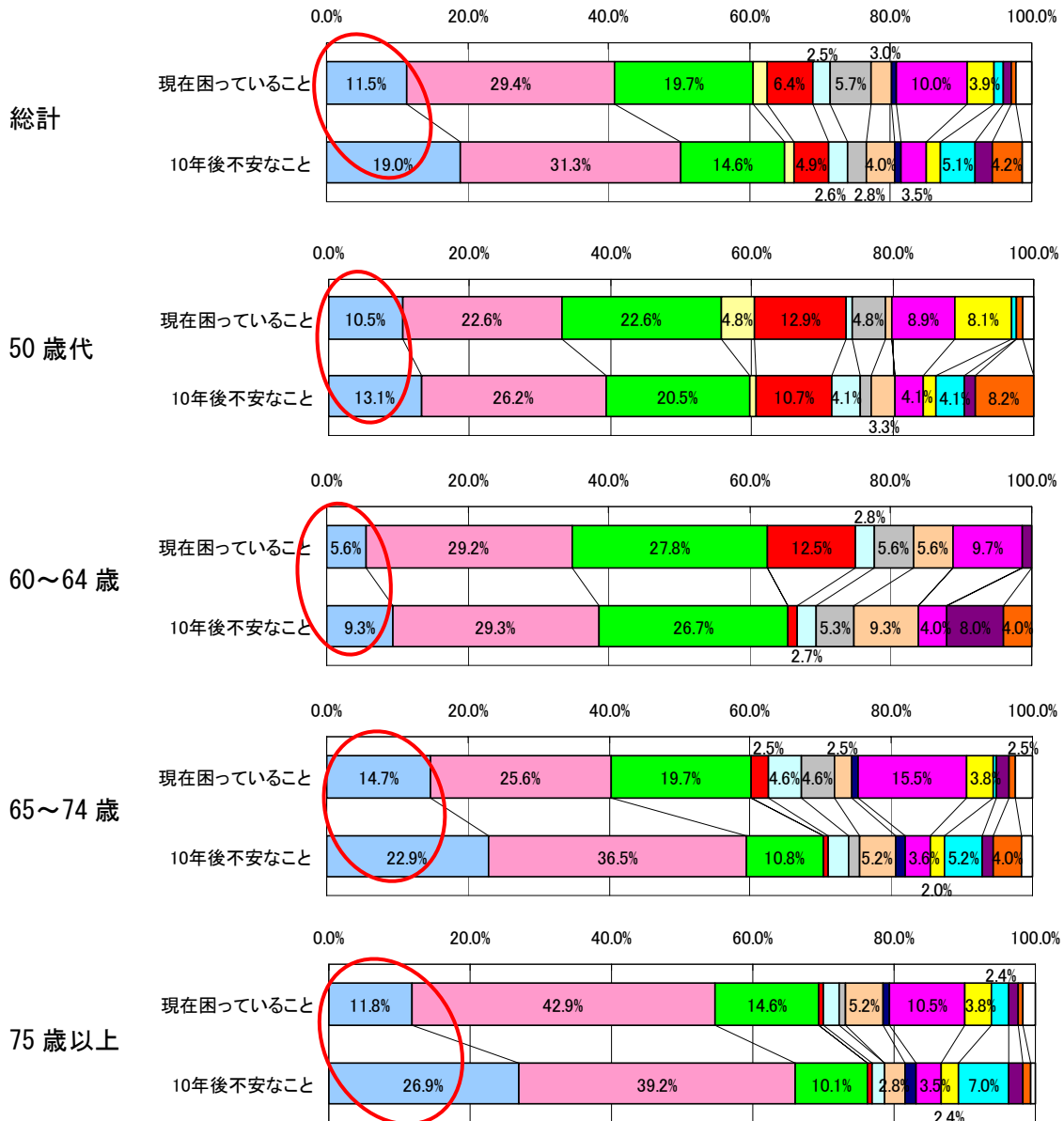
	回答数			割合			第3位までの合計
	第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位	
食料や日用品を買いに行くのが大変になりそうなこと	310	199	146	20.6%	13.2%	9.7%	43.6%
病院に通うのが大変になりそうなこと	435	330	129	28.9%	21.9%	8.6%	59.4%
救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかりそうなこと	180	186	137	12.0%	12.4%	9.1%	33.4%
子どもが学校に通うのが大変になりそうなこと	23	27	9	1.5%	1.8%	0.6%	3.9%
近くに働き口がなくなりそうなこと	88	38	32	5.9%	2.5%	2.1%	10.5%
郵便局や農協が近くなりそうなこと	32	104	119	2.1%	6.9%	7.9%	17.0%
携帯電話の電波が届かないであろうこと	16	21	27	1.1%	1.4%	1.8%	4.3%
農林地の手入れが充分にできなくなりそうなこと	91	108	100	6.1%	7.2%	6.6%	19.9%
お墓の管理が充分にできなくなりそうなこと	14	20	34	0.9%	1.3%	2.3%	4.5%
サル、イノシシなどの獣があらわれそうなこと	37	51	63	2.5%	3.4%	4.2%	10.0%
台風、地震、豪雪など災害で被災のおそれがあること	50	96	120	3.3%	6.4%	8.0%	17.7%
自身や同居家族だけでは身のまわりのことを充分にできなくなりそうなこと	96	145	145	6.4%	6.1%	9.6%	22.1%
ひとり住まいになりそうなこと	50	45	62	3.3%	3.0%	4.1%	10.4%
近所に住んでいる人が少なくなり、さびしくなりそうなこと	56	78	179	3.7%	5.2%	11.9%	20.8%
その他	26	3	6	1.7%	0.2%	0.4%	2.3%
有効回答	1,504						
無回答	345						

<図-47 10年後の生活で不安に思うこと>



・現在、生活上困っていること・不安に思うことと、10年後のそれとを比較すると、現在よりも将来を不安視する要素としては、「近くで食料品や日用品を買えないこと」が最も増加率が高い。

<図-48 世帯主の年齢(50歳以上)×生活上最も困っていること・10年後の生活で最も不安に思うこと>

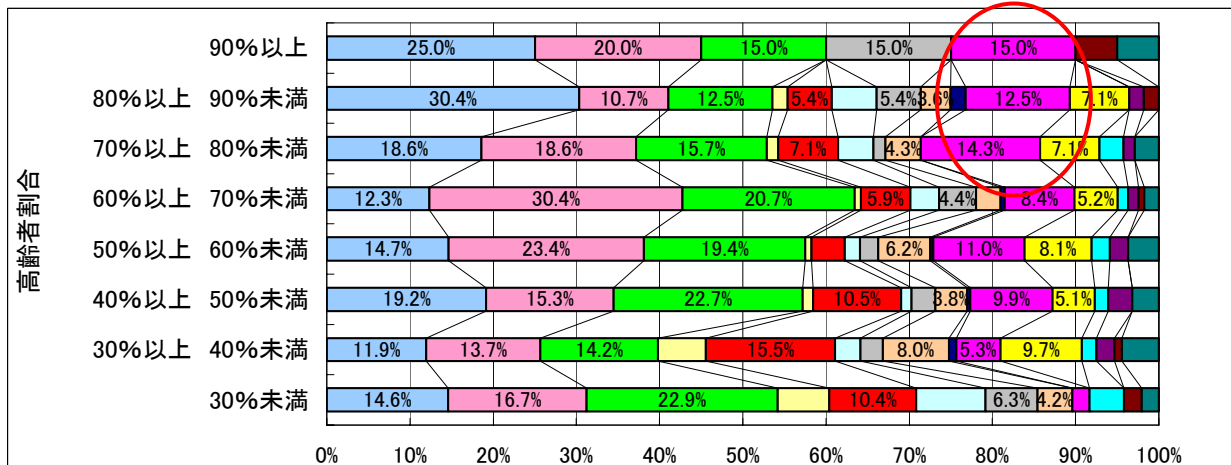


- 近くで食料や日用品を買えないこと
 - 近くに病院がないこと
 - 救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかること
 - 子どもの学校が遠いこと
 - 近くに働き口がないこと
 - 郵便局や農協が近くになく不便なこと
 - 携帯電話の電波が届かないこと(電波状態が悪いこと)
 - 農林地の手入れが充分にできないこと
 - お墓の管理が充分にできないこと
 - サル、イノシシなどの獣があらわれること
 - 台風、地震、豪雪など災害で被災のおそれがあること
 - 自身・同居家族だけでは身のまわりのことを充分にできないこと
 - ひとり住まいでさびしいこと
 - 近所に住んでいる人が少なくてさびしいこと
 - その他
- ※ この凡例は「生活上困っていること」に対するものであり、「10年後の生活で不安に思うこと」については、語尾を「～なりそうなこと」に置き換えて読むこと。
- 有効回答数

 - ・ 現在困っていること : 888
 - ・ 10年後の不安 : 887

- ・高齢者割合が高い集落においては、最も大きな不安として「サル、イノシシ、などの獣があらわれそうなこと」を挙げる世帯の割合が高い。

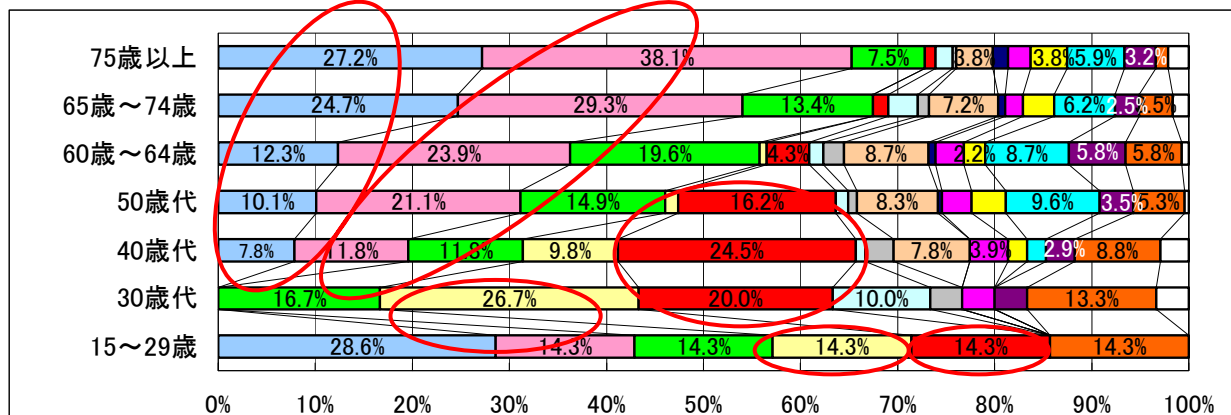
<図-49 集落の高齢者割合×10年後の生活で最も不安に思うこと>



有効回答数：1,411

- ・世帯主が高齢になるほど、「食料・日用品を買いに行くのが大変になりそうなこと」と、「病院へ通うのが大変になりそうなこと」を10年後の生活で最も不安に思うこととして挙げる者が多い。
- ・15～50歳代の世帯主は、「働き口がなくなる」ことを他の年齢層よりも多く挙げている。さらに、15～29歳、30歳代の世帯主は「子供が学校に通うのが大変になりそうなこと」を多く挙げている。

<図-50 世帯主の年齢×10年後の生活で最も不安に思うこと>

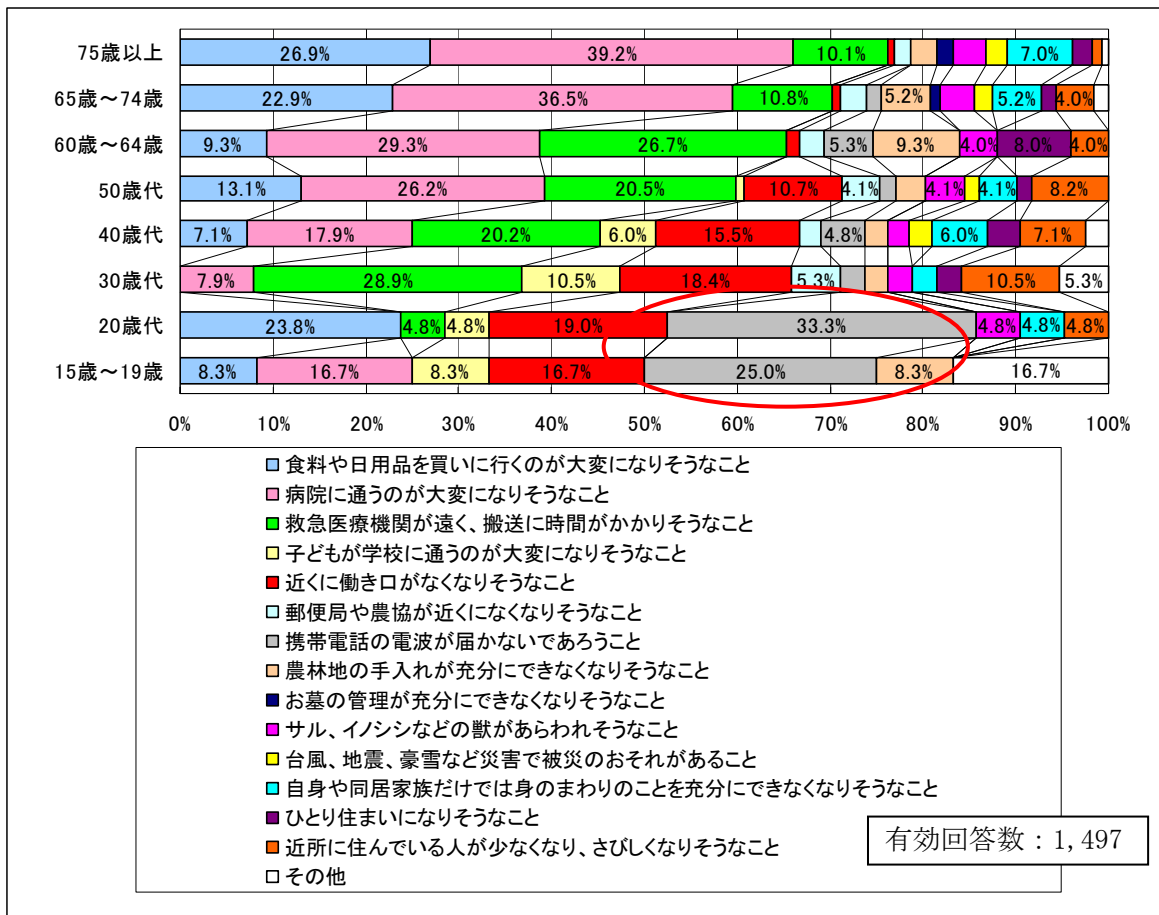


- 食料や日用品を買いに行くのが大変になりそうなこと
- 病院に通うのが大変になりそうなこと
- 救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかりそうなこと
- 子どもが学校に通うのが大変になりそうなこと
- 近くに働き口がなくなりそうなこと
- 郵便局や農協が近くになくなりそうなこと
- 携帯電話の電波が届かないであろうこと
- 農林地の手入れが充分にできなくなりそうなこと
- お墓の管理が充分にできなくなりそうなこと
- サル、イノシシなどの獣があらわれそうなこと
- 台風、地震、豪雪など災害で被災のおそれがあること
- 自身や同居家族だけでは身のまわりのことを充分にできなくなりそうなこと
- ひとり住まいになりそうなこと
- 近所に住んでいる人が少なくなり、さびしくなりそうなこと
- その他

有効回答数：1,497

・住民の年齢別にみても世帯主の年齢別の場合と同様の傾向がみられる。また、15～19 歳と 20 歳代では、10 年後の生活で最も不安なこととして「携帯電話の電波が届かないであろうこと」を挙げる者の割合が多い。

<図-51 住民の年齢×10 年後の生活で不安に思うこと>



6. 今後の居住意向

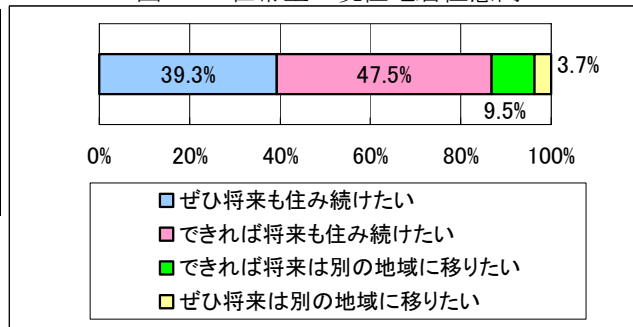
問16 現在お住まいのところに将来も住み続けたいですか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

- ・居住意向として、「ぜひ将来も住み続けたい」(39.3%)、「できれば将来も住み続けたい」(47.5%)となっており、併せて86.8%の者が現在の住まいに住み続けたいという意向をもつ。

<表-24 世帯主の現住地居住意向>

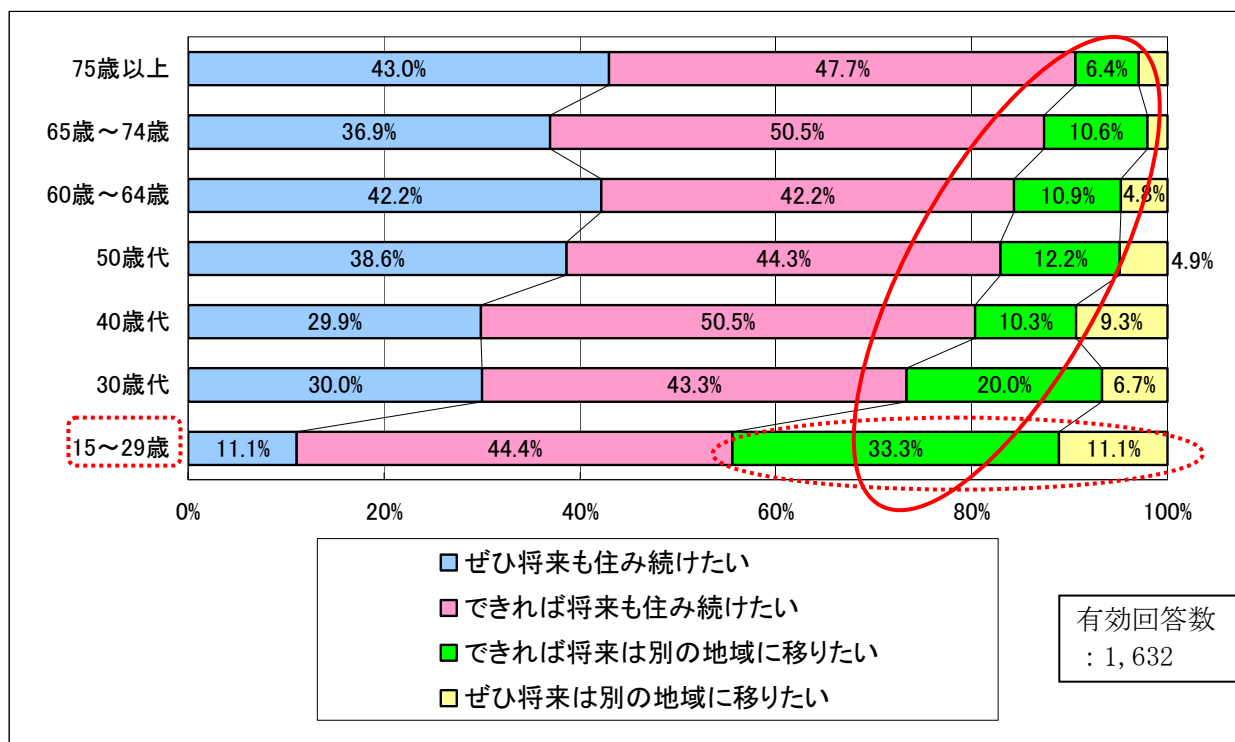
	回答数	割合
ぜひ将来も住み続けたい	641	39.3%
できれば将来も住み続けたい	775	47.5%
できれば将来は別の地域に移りたい	155	9.5%
ぜひ将来は別の地域に移りたい	61	3.7%
有効回答	1,632	
無回答	217	

<図-52 世帯主の現住地居住意向>



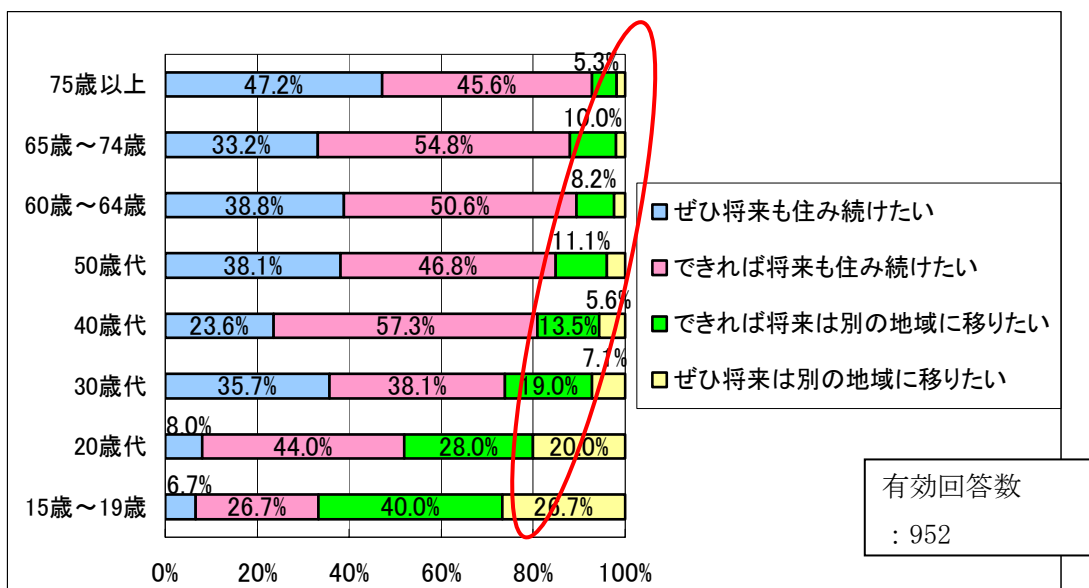
- ・世帯主が若いほど、移転意向が強い。15～29歳では約4割が移転を望んでいる。

<図-53 世帯主の年齢×現住地居住意向>



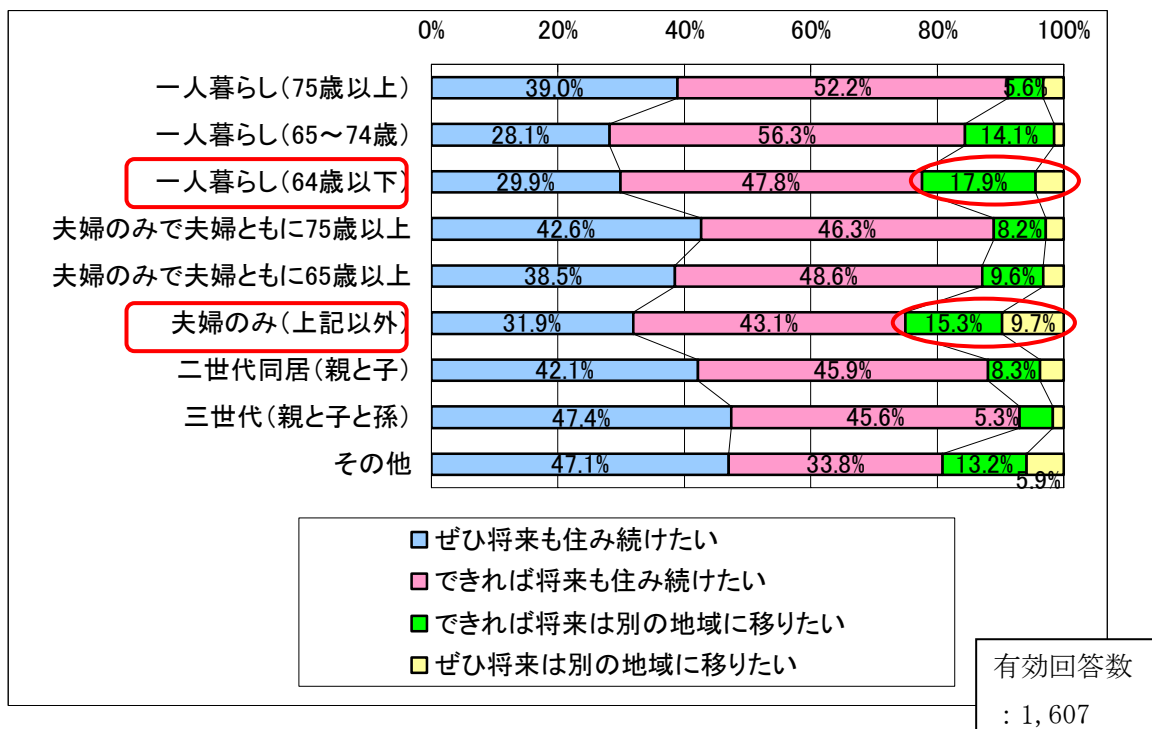
・住民の年齢別でも、若いほど移転意向が強い傾向にある。

<図-54 住民の年齢×現住地居留意向>



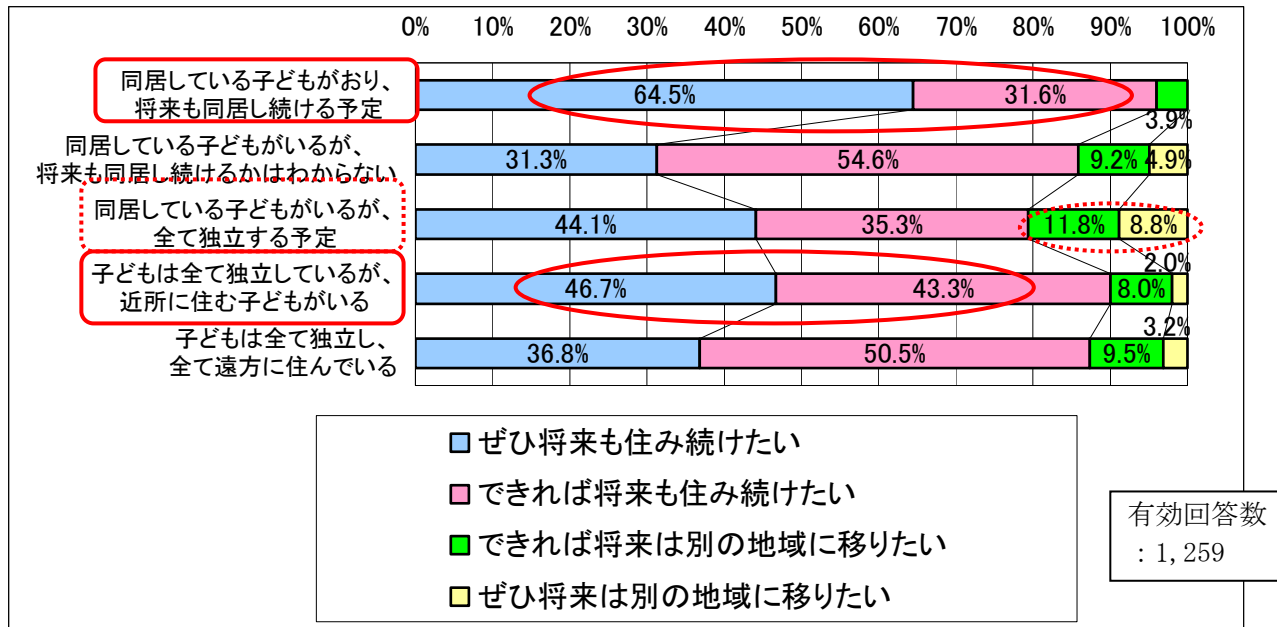
・64歳以下の一人暮らし世帯や、夫婦の一方又は双方が64歳以下の夫婦のみの世帯において、移転意向を持つ者の割合が他の世帯に比べて高い。

<図-55 世帯構成×現住地居留意向>



- ・「同居している子どもがおり、将来も同居し続ける予定」の世帯、及び「子どもは全て独立しているが、近所に住む子どもがいる」世帯においては、他の世帯に比べて定住希望が強い。
- ・「同居している子どもがいるが、全て独立する予定」の世帯は、他の世帯に比べて移転意向のある世帯の割合が大きい。

〈図-56 子どもとの同居状況×現住地居住意向〉



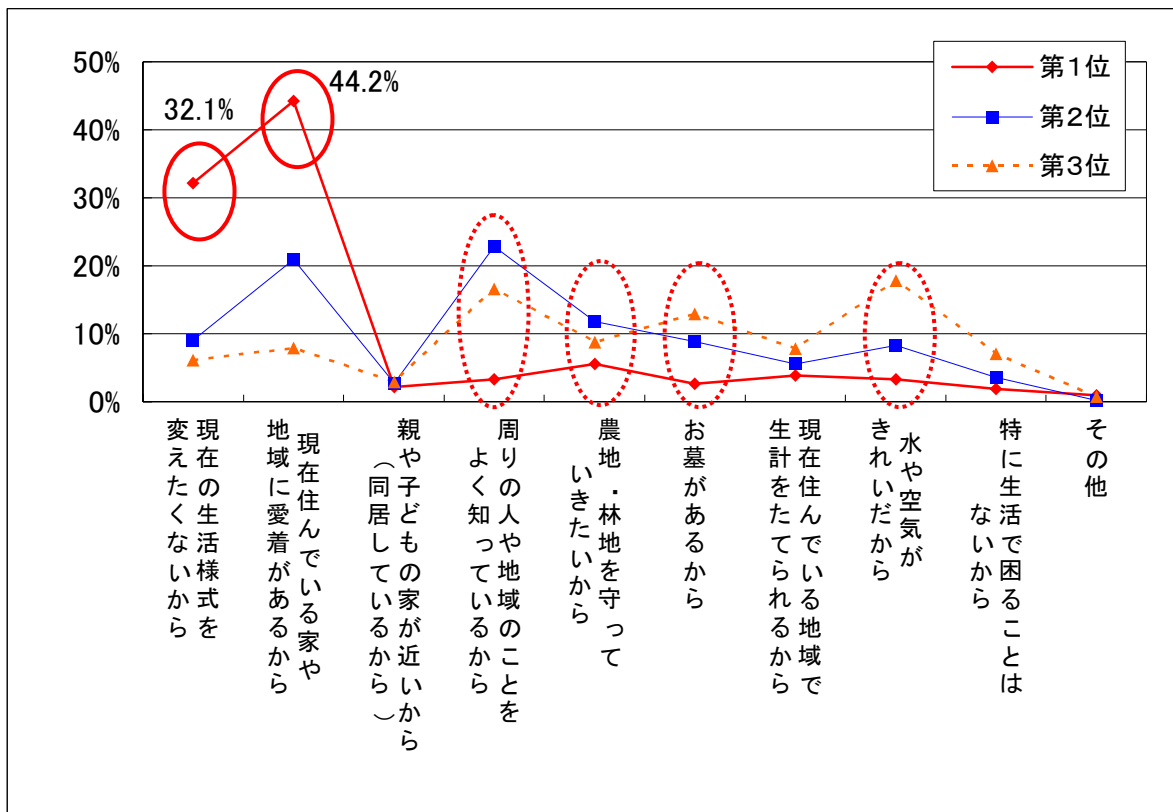
問16で1（「ぜひ将来も住み続けたい」）または2（「できれば将来も住み続けたい」）とお答えの方
 問17 現在お住まいのところに住み続けたい理由は何ですか。一番重要な理由に”1”、二番目に重要な理由に”2”、三番目に重要な理由に”3”を付けてください。

- ・住み続けたい一番の理由として、「現在住んでいる家や地域に愛着があるから」が最も多く（44.2%）、次いで「現在の生活様式を変えたくないから」（32.1%）が多い。
- ・項目ごとに第3位までに挙げられた割合をみると、前述の2項目に次いで、「周りの人や地域のことをよく知っているから」、「水や空気がきれいだから」、「農地・林地を守っていききたいから」、「お墓があるから」が多く挙げられている。

<表-25 住み続けたい一番の理由>

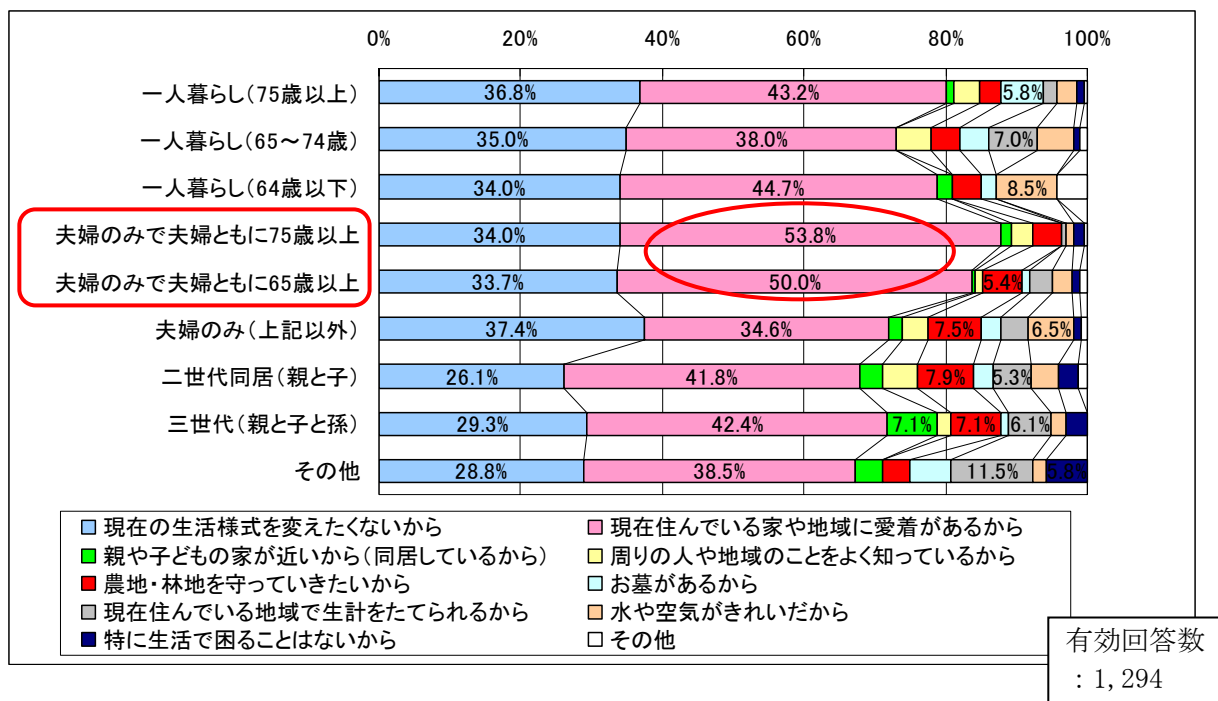
	回答数			割合			第3位までの合計
	第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位	
現在の生活様式を変えたくないから	421	119	80	32.1%	9.1%	6.1%	47.3%
現在住んでいる家や地域に愛着があるから	579	274	104	44.2%	20.9%	7.9%	73.1%
親や子どもの家が近いから(同居しているから)	28	36	38	2.1%	2.7%	2.9%	7.8%
周りの人や地域のことをよく知っているから	43	299	217	3.3%	22.8%	16.6%	42.7%
農地・林地を守っていききたいから	73	154	115	5.6%	11.8%	8.8%	26.1%
お墓があるから	35	116	169	2.7%	8.9%	12.9%	24.4%
現在住んでいる地域で生計をたてられるから	51	73	102	3.9%	5.6%	7.8%	17.3%
水や空気がきれいだから	43	109	234	3.3%	8.3%	17.9%	29.5%
特に生活で困ることはないから	25	47	93	1.9%	3.6%	7.1%	12.6%
その他	12	2	10	0.9%	0.2%	0.8%	1.8%
有効回答	1,310						
無回答	106						

<図-57 住み続けたい一番の理由>

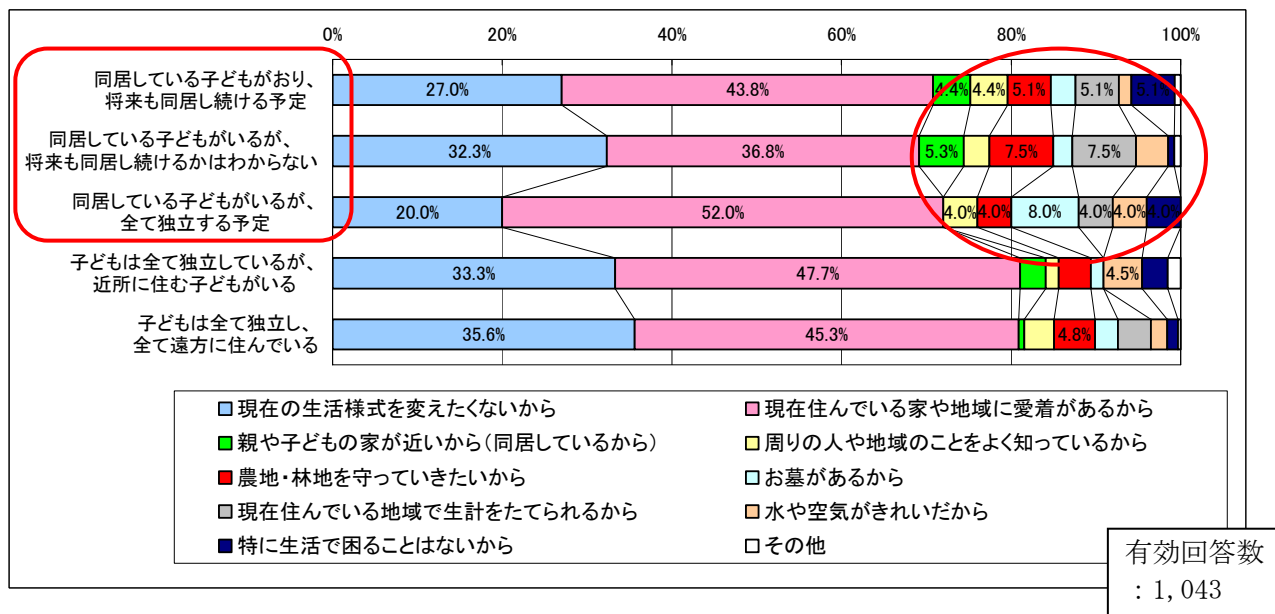


- ・夫婦ともに 65 歳以上の「夫婦のみ」世帯では、「現在住んでいる家や地域に愛着があるから」を、住み続けたい一番の理由として挙げる世帯が、他の世帯構成よりも多い。
- ・「同居している子どもがいる」世帯では、「現在住んでいる家や地域に愛着があるから」と「現在の生活様式を変えたくないから」に加えて、様々な理由を住み続けたい一番の理由として挙げる傾向がある。

<図-58 世帯構成×住み続けたい一番の理由>

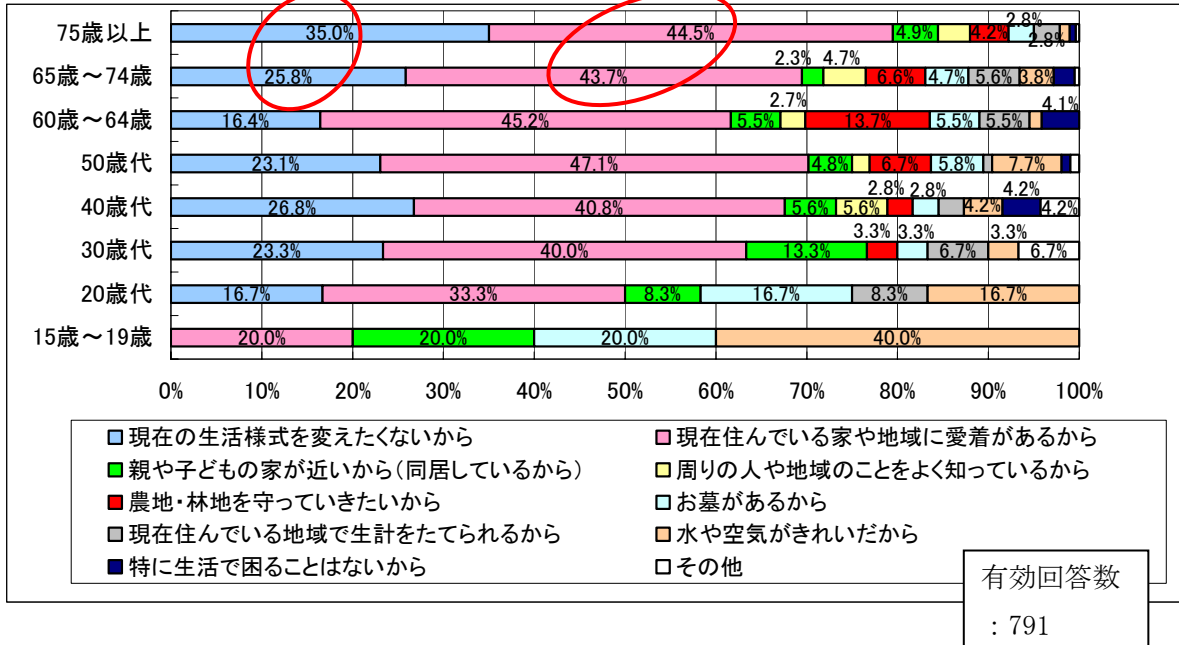


<図-59 子どもとの同居状況×住み続けたい一番の理由>

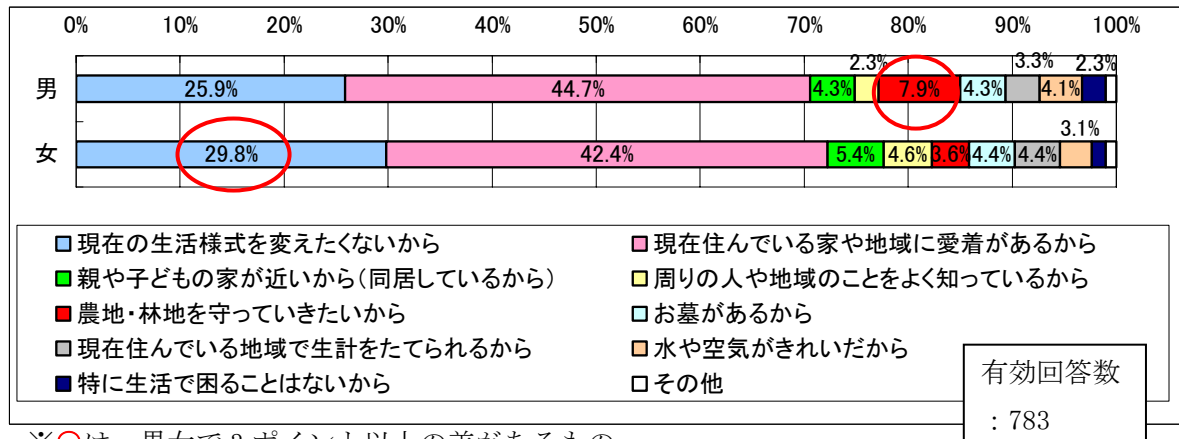


- ・住民の年齢別にみても、年齢が高くなるほど、「現在住んでいる家や地域に愛着があるから」と「現在の生活様式を変えたくないから」を、住み続けたい一番の理由として挙げる者が多くなる傾向がある。
- ・性別にみると、男性は土地に関する理由を、女性は生活様式に関する理由を、それぞれ挙げる傾向がみられる。

<図-60 住民の年齢×住み続けたい一番の理由>



<図-61 住民の性別×住み続けたい一番の理由>



※○は、男女で3ポイント以上の差があるもの。

問16で3（「できれば将来は別の地域に移りたい」）または4（「ぜひ将来は別の地域に移りたい」）とお答えの方

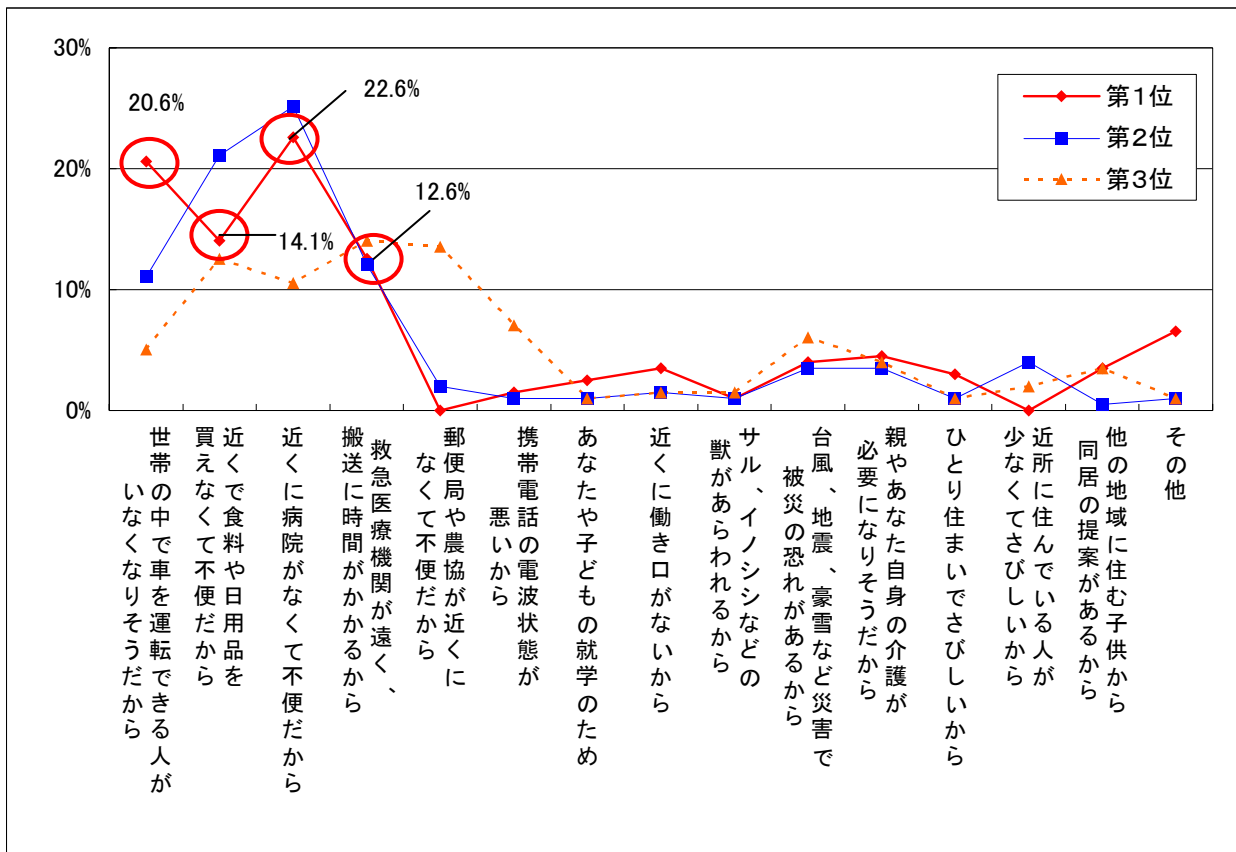
問18 別の地域へ移りたい理由は何ですか。重要度の高いものから、一番重要な理由に”1”、二番目に重要な理由に”2”、三番目に重要な理由に”3”を付けてください。

・別の地域へ移りたい一番の理由として、「近くに病院がなくて不便だから」が最も多く(22.6%)、次いで、「世帯の中で車を運転できる人がいなくなりそうだから」(20.6%)、「近くで食料や日用品を買えなくて不便だから」(14.1%)、「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかるから」(12.6%)となっている。現在の生活上の不安(設問12、P29)および10年後の不安(設問15、P37)と、傾向がおおむね一致する。

<表-26 別の地域へ移りたい一番の理由>

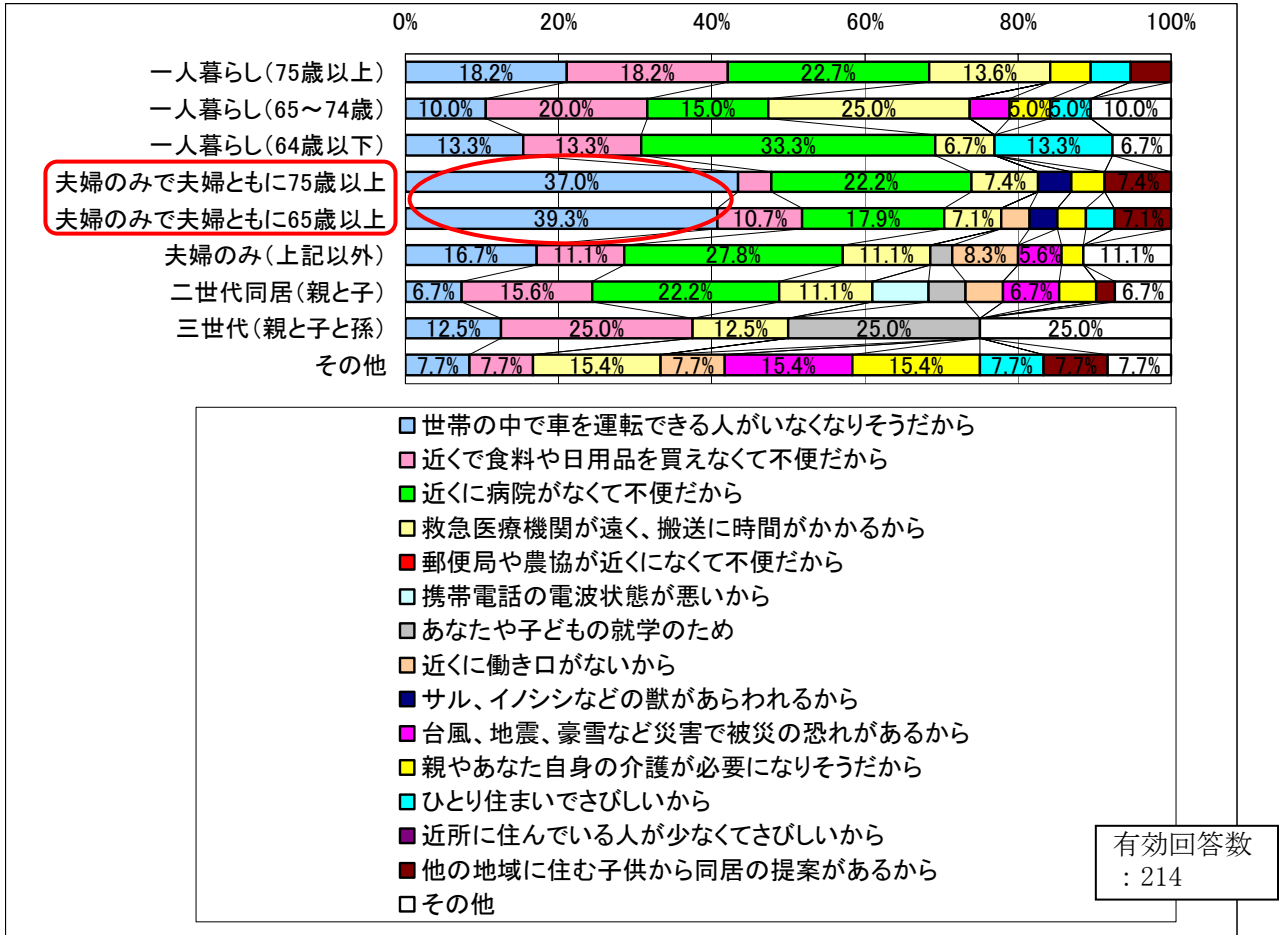
	回答数			割合			第3位までの合計
	第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位	
世帯の中で車を運転できる人がいなくなりそうだから	41	22	10	20.6%	11.1%	5.0%	36.7%
近くで食料や日用品を買えなくて不便だから	28	42	25	14.1%	21.1%	12.6%	47.7%
近くに病院がなくて不便だから	45	50	21	22.6%	25.1%	10.6%	58.3%
救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかるから	25	24	28	12.6%	12.1%	14.1%	38.7%
郵便局や農協が近くになくて不便だから	0	4	27	0.0%	2.0%	13.6%	15.6%
携帯電話の電波状態が悪いから	3	2	14	1.5%	1.0%	7.0%	9.5%
あなたや子どもの就学のため	5	2	2	2.5%	1.0%	1.0%	4.5%
近くに働き口がないから	7	3	3	3.5%	1.5%	1.5%	6.5%
サル、イノシシなどの獣があらわれるから	2	2	3	1.0%	1.0%	1.5%	3.5%
台風、地震、豪雪など災害で被災の恐れがあるから	8	7	12	4.0%	3.5%	6.0%	13.6%
親やあなた自身の介護が必要になりそうだから	9	7	8	4.5%	3.5%	4.0%	12.1%
ひとり住まいでさびしいから	6	2	2	3.0%	1.0%	1.0%	5.0%
近所に住んでいる人が少なくてさびしいから	0	8	4	0.0%	4.0%	2.0%	6.0%
他の地域に住む子供から同居の提案があるから	7	1	7	3.5%	0.5%	3.5%	7.5%
その他	13	2	2	6.5%	1.0%	1.0%	8.5%
有効回答	199						
無回答	17						

<図-62 別の地域へ移りたい一番の理由>

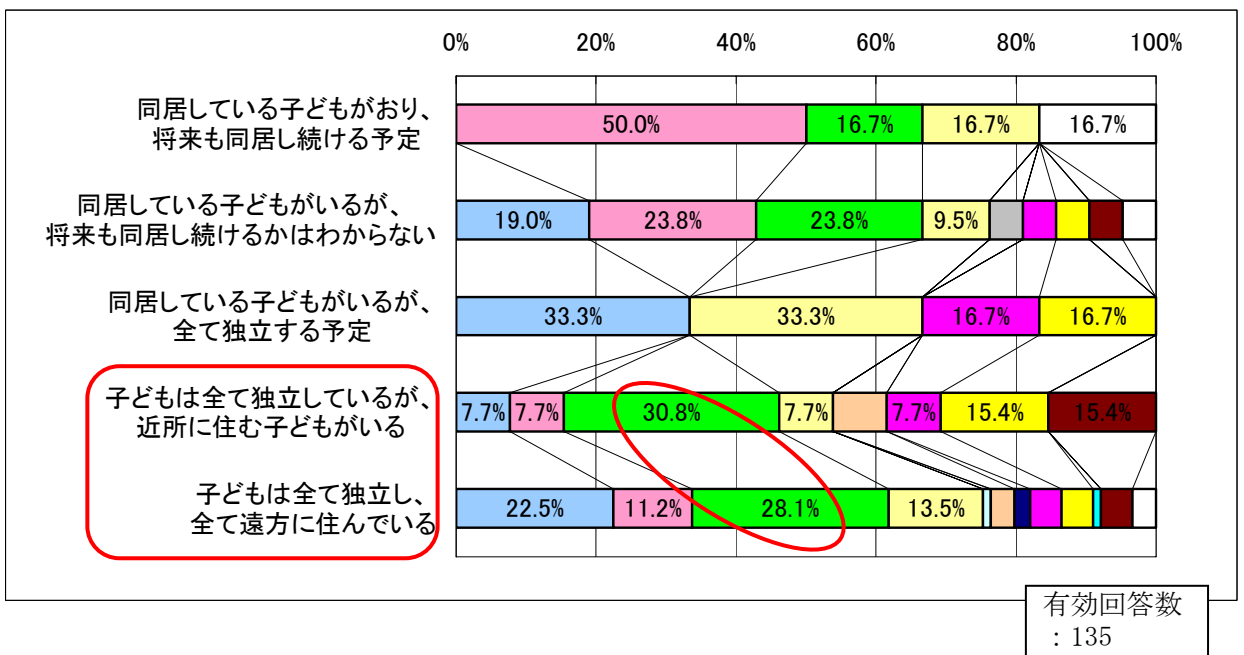


- ・夫婦ともに65歳以上である「夫婦のみ」の世帯では、「世帯の中で車を運転できる人がいなくなりそうだから」を、別の地域へ移りたい一番の理由として挙げる者が多い。
- ・子どもが独立した世帯では、他に比べて「近くに病院がなくて不便だから」を挙げる世帯の割合が大きい。

<図-63 世帯構成×別の地域へ移りたい一番の理由>



<図-64 子どもとの同居状況×別の地域へ移りたい一番の理由>



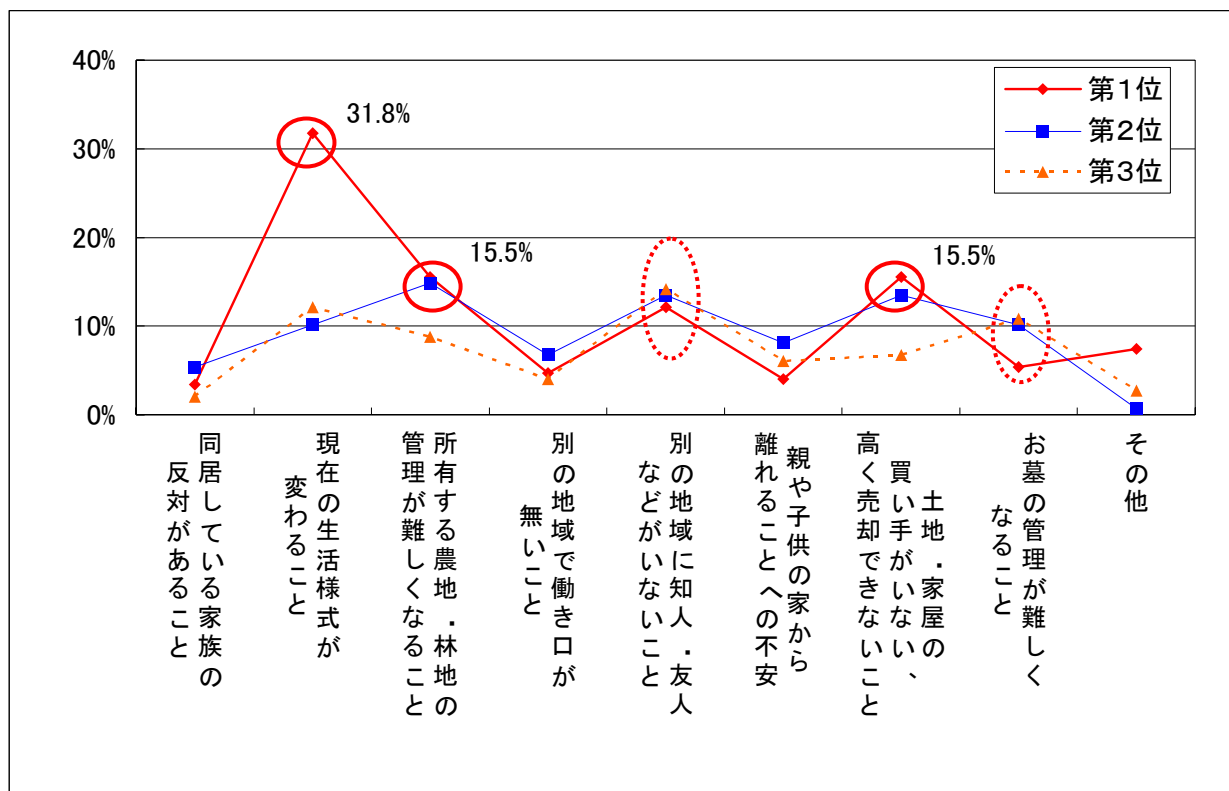
問18-2 別の地域に移るにあたり、障害に思うことは何ですか。重要度の高いものから、一番重要なものに”1”、二番目に重要なものに”2”、三番目に重要なものに”3”を付けてください。

- ・別の地域に移るにあたっての一番の障害として、「現在の生活様式が変わること」が突出して多く（31.8%）、次いで「所有する農地・林地の管理が難しくなること」（15.5%）と「土地・家屋の買い手がない、高く売却できないこと」（同）となっている。
- ・項目ごとに第3位までに挙げられた割合をみると、上記3項目に加えて、「別の地域に友人・知人がいないこと」や「お墓の管理が難しくなること」を挙げる世帯が多い。

<表-27 移転にあたっての障害>

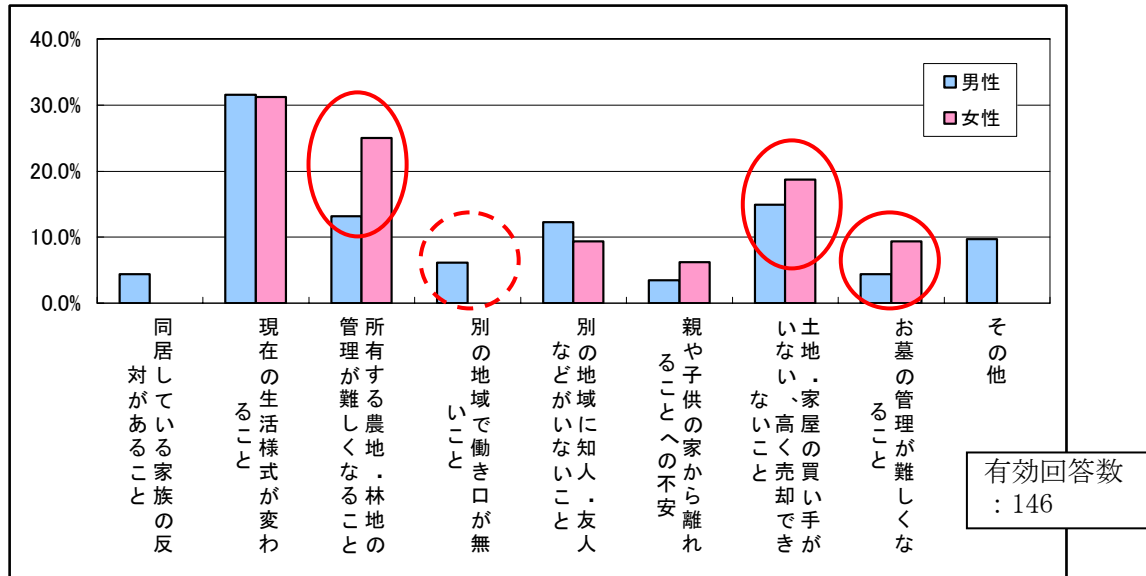
	回答数			割合			第3位までの合計
	第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位	
同居している家族の反対があること	5	8	3	3.4%	5.4%	2.0%	10.8%
現在の生活様式が変わること	47	15	18	31.8%	10.1%	12.2%	54.1%
所有する農地・林地の管理が難しくなること	23	22	13	15.5%	14.9%	8.8%	39.2%
別の地域で働き口が無いこと	7	10	6	4.7%	6.8%	4.1%	15.5%
別の地域に知人・友人などがいないこと	18	20	21	12.2%	13.5%	14.2%	39.9%
親や子供の家から離れることへの不安	6	12	9	4.1%	8.1%	6.1%	18.2%
土地・家屋の買い手がない、高く売却できないこと	23	20	10	15.5%	13.5%	6.8%	35.8%
お墓の管理が難しくなること	8	15	16	5.4%	10.1%	10.8%	26.4%
その他	11	1	4	7.4%	0.7%	2.7%	10.8%
有効回答	148						
無回答	68						

<図-65 移転にあたっての障害>

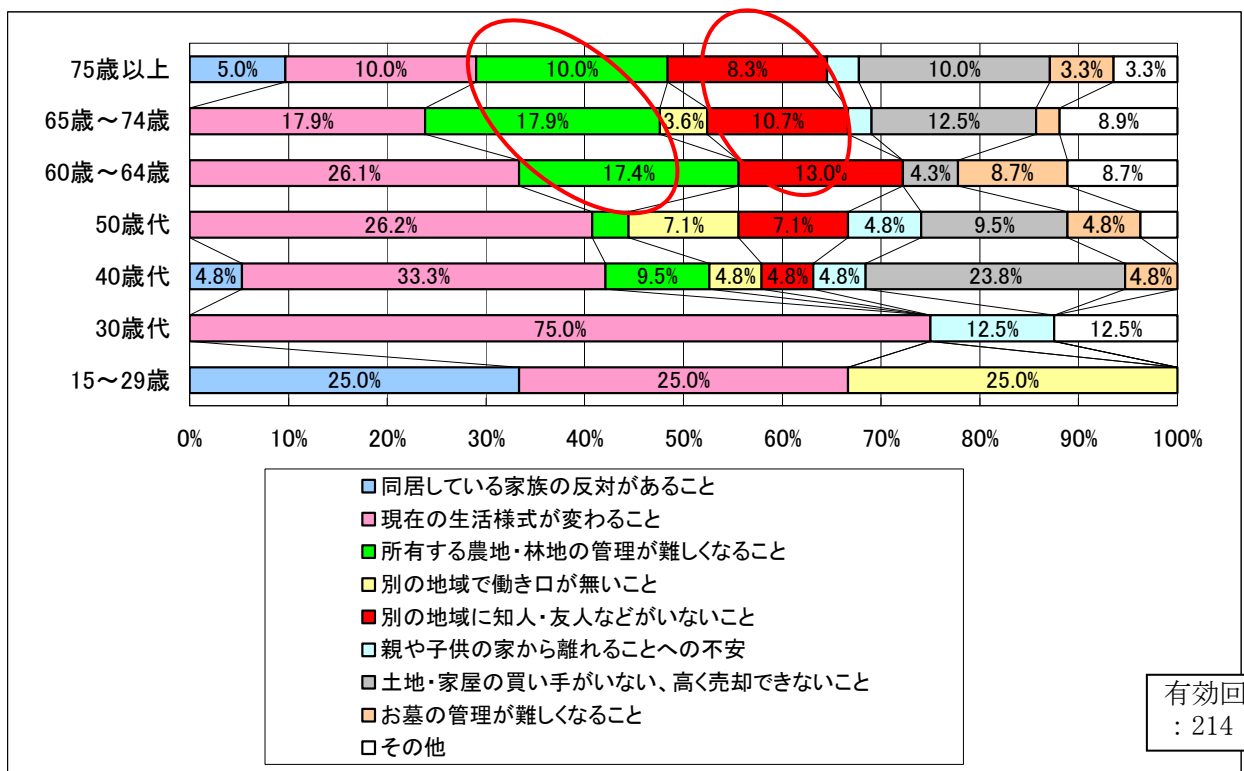


- ・男性と女性とを比較すると、男性の方が「別の地域で働き口がないこと」を、女性の方が「所有する農地・林地の管理が難しくなること」や「土地・家屋の買い手がいない、高値で売却できないこと」、「お墓の管理が難しくなること」を移転にあたっての障害として考える傾向がある。
- ・60歳以上の世帯主は、それより若い世帯主に比べて「所有する農地・林地の管理が難しくなること」や「別の地域に友人・知人がいないこと」を移転の障害に挙げる者が多くなる。

<図-66 性別ごとにみた移転にあたっての一番の障害>

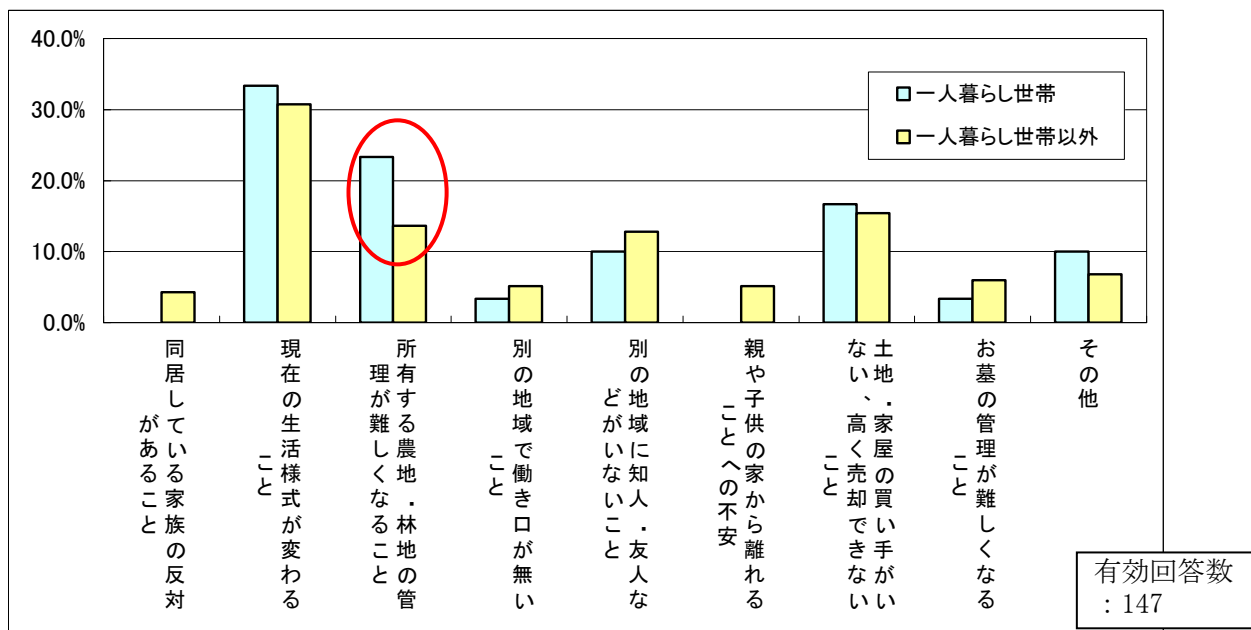


<図-67 世帯主の年齢×移転にあたっての一番の障害>



・一人暮らし世帯とそれ以外の世帯とを比較すると、一人暮らし世帯の方が「所有する農地・林地の管理が難しくなること」を移転にあたっての障害として考える傾向がある。

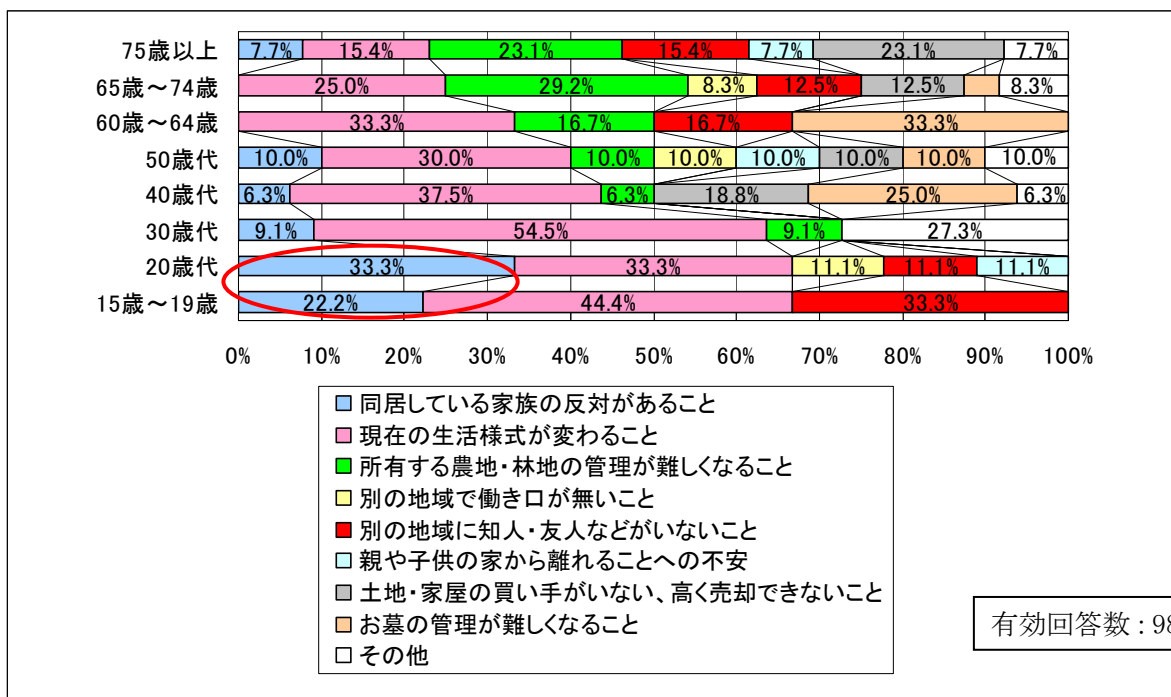
<図-68 一人暮らし世帯とそれ以外の世帯における移転にあたっての一番の障害>



8 地区における 15 歳以上の住民アンケート調査結果

・住民の年齢別にみると、15～19 歳と 20 歳代で「同居している家族の反対があること」を、移転にあたっての障害として挙げる者が多い。

<図-69 住民の年齢×移転にあたっての一番の障害>



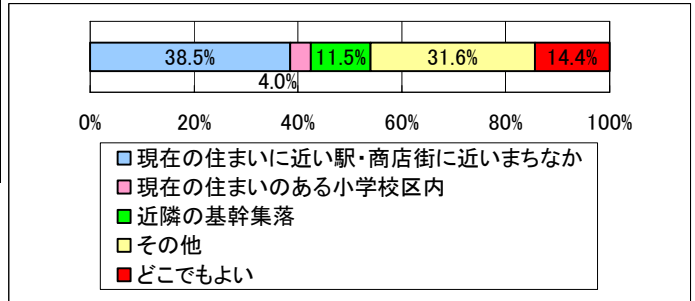
問18-3 どのような地域に移りたいですか。一つに○を付けてください。

・移りたい地域として、「現在の住まいに近い駅・商店街に近いまちなか」を挙げる者が最も多い(38.5%)。

<表-28 希望する移転先>

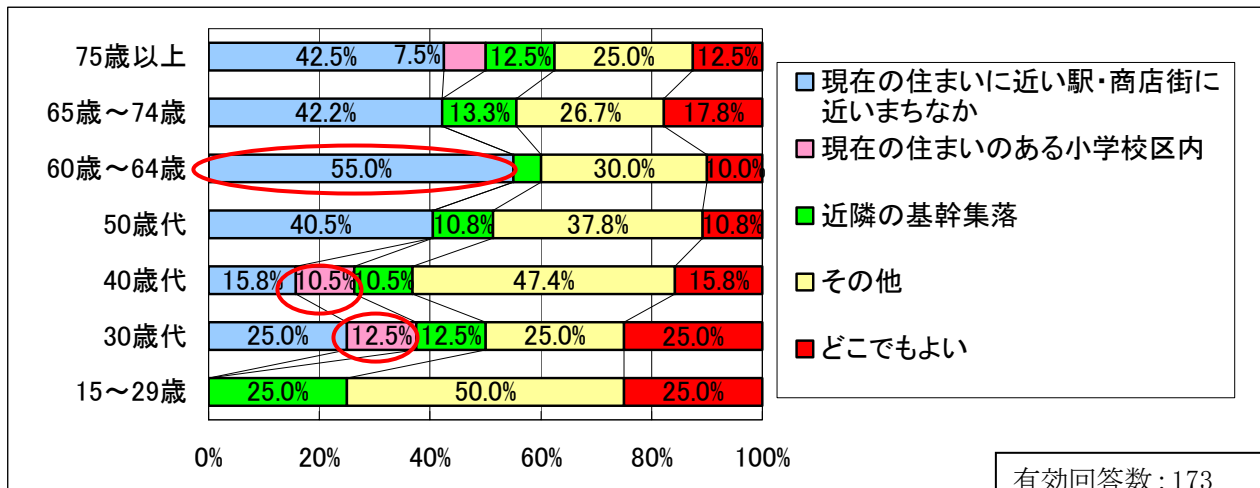
	回答数	割合
現在の住まいに近い駅・商店街に近いまちなか	67	38.5%
現在の住まいのある小学校区内	7	4.0%
近隣の基幹集落	20	11.5%
その他	55	31.6%
どこでもよい	25	14.4%
有効回答	174	
無回答	42	

<図-70 希望する移転先>



・世帯主の年齢別にみると、希望する移転先として「現在の住まいに近い駅・商店街に近いまちなか」が最も多いのは60歳～64歳である(55.0%)。また30、40歳代では「現在の住まいのある小学校区内」の割合が他の年代に比べて高い。

<図-71 世帯主の年齢×希望する移転先>



有効回答数: 173

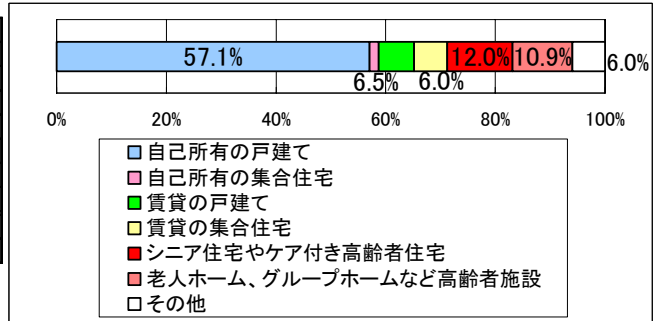
問18-4 どのような住まいに移りたいですか。一つに○を付けてください。

・移りたい住まいとして、「自己所有の戸建て」と答えた者が突出して多く(57.1%)、次いで「シニア住宅やケア付き高齢者住宅」(12.0%)、「老人ホーム、グループホームなど高齢者施設」(10.9%)である。

<表-29 希望する移転先での住まい方>

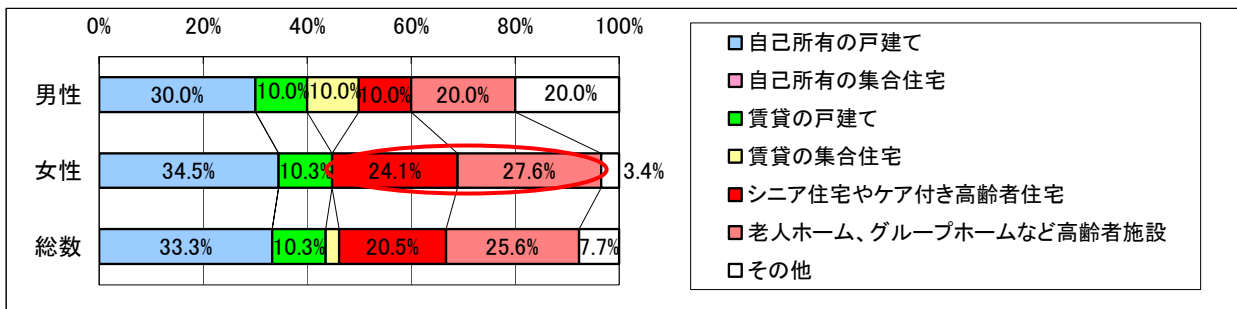
	回答数	割合
自己所有の戸建て	105	57.1%
自己所有の集合住宅	3	1.6%
賃貸の戸建て	12	6.5%
賃貸の集合住宅	11	6.0%
シニア住宅やケア付き高齢者住宅	22	12.0%
老人ホーム、グループホームなど高齢者施設	20	10.9%
その他	11	6.0%
有効回答	184	
無回答	32	

<図-72 希望する移転先での住まい方>



・一人暮らし世帯では、「自己所有の戸建て」以外では、「シニア住宅やケア付き高齢者住宅」や「老人ホーム、グループホームなど高齢者施設」への移転を希望する傾向が比較的強い。その傾向は特に女性にみられる。

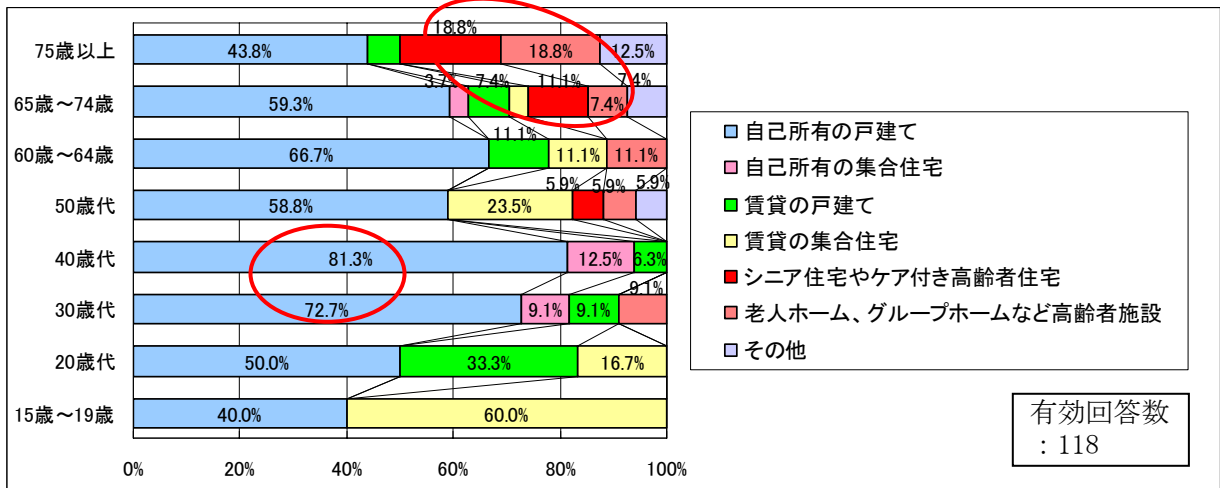
<図-73 一人暮らし世帯の世帯主の性別×希望する移転先での住まい方>



8 地区における 15 歳以上の住民アンケート調査結果

・住民の年齢別にみると、高齢になるほど「シニア住宅やケア付き高齢者住宅」や「老人ホーム、グループホームなど高齢者施設」を挙げる者の割合が高くなる傾向にある。また、30~40 歳代では「自己所有の戸建て」を挙げる者の割合が特に高い。

<図-74 住民の年齢×希望する移転先での住まい方>



有効回答数
: 118

日常生活に関するアンケート調査 調査票

はじめに、あなたと世帯の暮らしについてうかがいます。

問1 あなたはどちらの集落にお住まいですか。

(※地区ごとに、対象集落名を記載)

問2 あなたはおいくつですか。あてはまるものに1つ○を付けてください。

- | | | |
|------------|-----------|------------|
| 1. 15歳～19歳 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 |
| 4. 40歳代 | 5. 50歳代 | 6. 60歳～64歳 |
| 7. 65歳～74歳 | 8. 75歳以上～ | |

問3 あなたの性別はどちらですか。あてはまるものに1つ○を付けてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 あなたの職業はどれですか。複数の職業をもつ方は、あてはまるもの全てに○を付けてください。

- | | | |
|----------|----------------------|-----------|
| 1. 農林漁業者 | 2. 自営業者(農林漁業者以外) | 3. 会社員 |
| 4. 公務員 | 5. 団体・組合職員(農協、農林組合等) | |
| 6. 年金受給者 | 7. 学生 | 8. その他() |

問5 あなたの家族構成はどれですか。あてはまるものに1つ○を付けてください。

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみで夫婦ともに75歳以上 |
| 3. 夫婦のみで夫婦ともに65歳以上(2.を除く) | |
| 4. 夫婦のみ(2.と3.を除く) | 5. 二世帯同居(親と子) |
| 6. 三世帯同居(親と子と孫) | 7. その他() |

問6 あなたには、15歳以上のお子さんがいらっしゃいますか。いらっしゃる場合には、現在と今後のお住まいについて、あてはまるものに○を付けてください。

1. 同居している子どもがおり、将来も同居し続ける予定
2. 同居している子どもがいるが、将来も同居し続けるかはわからない
3. 同居している子どもがいるが、全て独立する予定
4. 子どもは全て独立しているが、近所に住む子どもがいる
5. 子どもは全て独立し、全て遠方に住んでいる

問7 同居している家族の収入も合わせた世帯全体の収入のうち多いものはどれですか。一番多いものに"1"、二番目に多いものに"2"、三番目に多いものに"3"を付けてください。

農林漁業収入	公的年金以外の社会保障給付
農林漁業収入以外の事業収入	公的な交付金、助成金
勤め先収入	仕送り金
公的年金給付	その他()

問7-2 同居している家族の支出も合わせた世帯全体の支出のうち多いものはどれですか。一番多いものに"1"、二番目に多いものに"2"、三番目に多いものに"3"を付けてください。

食料支出	教養・娯楽費(新聞、本、ゲーム等)
住居関連支出	通信費(電話代、インターネット等)
衣服・履物支出	交際費(町会費、冠婚葬祭費等)
光熱水費	仕送り金
交通費(鉄道、バス運賃、タクシー代等)	事業用費用(借入金返済分を除く)
自動車関連費	借入金返済
保険・医療サービス費	その他()

問8 あなたは夏の平日の一日をどのように過ごしていますか。それぞれの活動について、一日の平均的な時間を書いてください。

1. 睡眠	時間
2. 食事	時間
3. 仕事	時間
4. 通勤	時間
5. 炊事、洗濯、買い物、介護などの家事	時間
6. ボランティア、地域活動など社会活動	時間
7. 家族・近所の人・友達との会話	時間
8. 趣味、遊び、散歩、スポーツ	時間
9. テレビ・ビデオをみる、ラジオをきく、新聞・雑誌・本を読む	時間
10. 休息	時間
11. 病院に行く、療養	時間
12. その他	時間
	一日のうち、自宅にいる総時間 時間

あなたの外出などについてうかがいます。

問9 世帯の中に車の運転をする方はいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問10 世帯の中に日常的にインターネットを利用する方はいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問11 あなたが、それぞれの場所まで a.出かける頻度、b.通常利用する交通手段、c.通常利用する交通手段によって片道にかかる時間はどれですか。あてはまるものに○をつけてください。

	a. 出かける頻度	b.通常利用する交通手段	c.片道にかかる時間
1. 食品・日用品の買い物先まで	① ほぼ毎日 ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほとんど行かない	① 徒歩 ② 自転車 ③ 車・バイク ④ バス、列車、フェリーなど公共交通	① 10分未満 ② 10分～30分未満 ③ 30分～1時間未満 ④ 1時間～2時間未満 ⑤ 2時間以上
2. 最寄りの病院まで	① ほぼ毎日 ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほとんど行かない	① 徒歩 ② 自転車 ③ 車・バイク ④ バス、列車、フェリーなど公共交通	① 10分未満 ② 10分～30分未満 ③ 30分～1時間未満 ④ 1時間～2時間未満 ⑤ 2時間以上
3. 最寄りの郵便局又はJAなど預貯金の出し入れ先まで	① ほぼ毎日 ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほとんど行かない	① 徒歩 ② 自転車 ③ 車・バイク ④ バス、列車、フェリーなど公共交通	① 10分未満 ② 10分～30分未満 ③ 30分～1時間未満 ④ 1時間～2時間未満 ⑤ 2時間以上
4. 通勤		① 徒歩 ② 自転車 ③ 車・バイク ④ バス、列車、フェリーなど公共交通	① 10分未満 ② 10分～30分未満 ③ 30分～1時間未満 ④ 1時間～2時間未満 ⑤ 2時間以上

あなたや同居している家族が生活のうえでお困りのことなどについてうかがいます。

問12 生活する上で、お困りのこと・不安なことはありますか。ある場合は、一番困っていることに”1”、二番目に困っていることに”2”、三番目に困っていることに”3”を付けてください。

	近くで食料や日用品を買えないこと
	近くに病院がないこと
	救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかること
	子どもの学校が遠いこと
	近くに働き口がないこと
	郵便局や農協が近くになく、預貯金の出し入れが不便なこと
	携帯電話の通話・通信のための電波が届かないこと(電波状態が悪いこと)
	農林地の手入れが十分にできないこと
	お墓の管理が十分にできないこと
	サル、イノシシなどの獣があらわれること
	台風、地震、豪雪など災害で被災のおそれがあること
	ご自身や同居している家族だけでは、身のまわりのことを十分にできないこと
	ひとり住まいでさびしいこと
	近所に住んでいる人が少なくてさびしいこと
	その他()

問13 あなたや同居している家族が病気や高齢になるなどして、日常生活が不自由になったとき、同居の家族以外には、主に誰を頼りますか。一つ○を付けてください。

1. 同居していない家族・親戚	2. 隣近所や同じ集落の人
3. ホームヘルパー・訪問介護員	4. 役所の職員
5. いない	6. その他()

問14 あなたや同居している家族が病気や高齢になるなどして、日常生活が不自由になったとき、どのようなサービスが必要ですか。必要な場合は、一番必要なものに”1”、二番目に必要なものに”2”、三番目に必要なものに”3”を付けてください。

	定期的な安否の確認
	緊急通報サービス(危険なときに自ら緊急を知らせるサービス)
	買い物の手伝い
	家事(料理、掃除、洗濯など)の手伝い
	配食サービス
	通院などの送り迎え
	高齢者の短時間の見守りサービス
	災害発生時の避難の支援
	話し相手

問15 10年後の生活を考えた時、不安なことはありますか。ある場合は、一番不安に思うことに”1”、二番目に不安に思うことに”2”、三番目に不安に思うことに”3”を付けてください。

	食料や日用品を買いに行くのが大変になりそうなこと
	病院に通うのが大変になりそうなこと
	救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかりそうなこと
	子どもが学校に通うのが大変になりそうなこと
	近くに働き口がなくなりそうなこと
	郵便局や農協が近くになくなり、預貯金の出し入れが不便になりそうなこと
	携帯電話の通話・通信のための電波が届かないであろうこと(電波状態が悪いであろうこと)
	農林地の手入れが充分にできなくなりそうなこと
	お墓の管理が充分にできなくなりそうなこと
	サル、イノシシなどの獣があらわれそうなこと
	台風、地震、豪雪など災害で被災のおそれがあること
	ご自身や同居している家族だけでは、身のまわりのことを充分にできなくなりそうなこと
	ひとり住まいになりそうなこと
	近所に住んでいる人が少なくなり、さびしくなりそうなこと
	その他()

あなたの今後の居住の意向についてうかがいます。

問16 現在お住まいのところに将来も住み続けたいですか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1. ぜひ将来も住み続けたい
2. できれば将来も住み続けたい
3. できれば将来は別の地域に移りたい
4. ぜひ将来は別の地域に移りたい

問17へ

問18へ

1または2とお答えの方

問17 現在お住まいのところに住み続けたい理由は何ですか。一番重要な理由に"1"、二番目に重要な理由に"2"、三番目に重要な理由に"3"を付けてください。

	現在の生活様式を変えたくないから
	現在住んでいる家や地域に愛着があるから
	親や子どもの家が近いから(親や子どもと同居しているから)
	周りの人や地域のことをよく知っているから
	農地・林地を守っていききたいから
	お墓があるから
	現在住んでいる地域で生計をたてられるから
	水や空気がきれいだから
	特に生活で困ることはないから
	その他()

3または4とお答えの方

問18 別の地域へ移りたい理由は何ですか。重要度の高いものから、一番重要な理由に"1"、二番目に重要な理由に"2"、三番目に重要な理由に"3"を付けてください。

	世帯の中で車を運転できる人がいなくなりそうだから
	近くで食料や日用品を買えなくて不便だから
	近くに病院がなくて不便だから
	救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかり不安だから
	郵便局や農協が近くになくて、預貯金の出し入れが不便だから
	携帯電話の通話・通信のための電波が届かないから(電波状態が悪いから)

(次ページに続きます。)

あなたや子どもの就学のため
近くに働き口がないから
サル、イノシシなどの獣があらわれるから
台風、地震、豪雪など災害で被災の恐れがあるから
親やあなた自身の介護が必要になりそうだから
ひとり住まいでさびしいから
近所に住んでいる人が少なくてさびしいから
他の地域に住む子供から同居の提案があるから
その他()

問18-2 別の地域に移るにあたり、障害に思うことは何ですか。重要度の高いものから、一番重要なものに"1"、二番目に重要なものに"2"、三番目に重要なものに"3"を付けてください。

同居している家族の反対があること	別の地域に知人・友人などがいないこと
現在の生活様式が変わること	親や子供の家から離れることへの不安
所有する農地・林地の管理が難しくなること	土地・家屋の買い手がつかないこと、期待する価格で売却できないこと
別の地域で働き口が無いこと	お墓の管理が難しくなること
その他()	

問18-3 どのような地域に移りたいですか。一つに○を付けてください。

1. 現在の住まいに近い駅・商店街に近いまちなか
2. 現在の住まいのある小学校区内
3. 近隣の基幹集落
4. その他()
5. どこでもよい

問18-4 どのような住まいに移りたいですか。一つに○を付けてください。

1. 自己所有の戸建て	2. 自己所有の集合住宅
3. 賃貸の戸建て	4. 賃貸の集合住宅
5. シニア住宅やケア付き高齢者住宅	
6. 老人ホーム、グループホームなど高齢者施設	
7. その他()	

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

日常生活に関するアンケート調査 調査票

はじめに、あなたの暮らしについてうかがいます。

問1 あなたはどちらの集落にお住まいですか。

(※地区ごとに、対象集落名を記載)

問2 あなたはおいくつですか。あてはまるものに1つ○を付けてください。

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1. 15 歳～19 歳 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 |
| 4. 40 歳代 | 5. 50 歳代 | 6. 60 歳～64 歳 |
| 7. 65 歳～74 歳 | 8. 75 歳以上～ | |

問3 あなたの性別はどちらですか。あてはまるものに1つ○を付けてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 あなたの職業はどれですか。複数の職業をもつ方は、あてはまるもの全てに○を付けてください。

- | | | |
|----------|----------------------|-----------|
| 1. 農林漁業者 | 2. 自営業者(農林漁業者以外) | 3. 会社員 |
| 4. 公務員 | 5. 団体・組合職員(農協、農林組合等) | |
| 6. 年金受給者 | 7. 学生 | 8. その他() |

問5 あなたの家族構成はどれですか。あてはまるものに1つ○を付けてください。

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみで夫婦ともに 75 歳以上 |
| 3. 夫婦のみで夫婦ともに 65 歳以上(2. を除く) | |
| 4. 夫婦のみ(2. と3. を除く) | 5. 二世帯同居(親と子) |
| 6. 三世帯同居(親と子と孫) | 7. その他() |

問6 あなたは夏の平日の一日をどのように過ごしていますか。それぞれの活動について、一日の平均的な時間を書いてください。

1. 睡眠	時間	
2. 食事	時間	
3. 仕事・学業	時間	
4. 通勤・通学	時間	
5. 炊事、洗濯、買い物、介護などの家事	時間	
6. ボランティア、地域活動など社会活動	時間	
7. 家族、近所の人、友達との会話	時間	
8. 趣味、遊び、散歩、スポーツ	時間	
9. テレビ・ビデオをみる、ラジオをきく、新聞・雑誌・本を読む	時間	
10. 休息	時間	
11. 病院に行く、療養	時間	
12. その他	時間	
一日のうち、自宅にいる総時間		時間

あなたの外出などについてうかがいます。

問7 あなたは車の運転をしますか。(18歳以上の方のみ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. する | 2. しない |
|-------|--------|

問8 あなたは日常的にインターネットを利用しますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. する | 2. しない |
|-------|--------|

問9 あなたが、それぞれの場所まで a.出かける頻度、b.通常利用する交通手段、c.通常利用する交通手段によって片道にかかる時間はどれですか。あてはまるものに○をつけてください。

	a. 出かける頻度	b.通常利用する交通手段	c.片道にかかる時間
1. 食品・日用品の買い物先まで	① ほぼ毎日 ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほとんど行かない	① 徒歩 ② 自転車 ③ 車・バイク ④ バス、列車、フェリーなど公共交通	① 10分未満 ② 10分～30分未満 ③ 30分～1時間未満 ④ 1時間～2時間未満 ⑤ 2時間以上
2. 最寄りの病院まで	① ほぼ毎日 ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほとんど行かない	① 徒歩 ② 自転車 ③ 車・バイク ④ バス、列車、フェリーなど公共交通	① 10分未満 ② 10分～30分未満 ③ 30分～1時間未満 ④ 1時間～2時間未満 ⑤ 2時間以上
3. 最寄りの郵便局又はJAなど預貯金の出し入れ先まで	① ほぼ毎日 ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほとんど行かない	① 徒歩 ② 自転車 ③ 車・バイク ④ バス、列車、フェリーなど公共交通	① 10分未満 ② 10分～30分未満 ③ 30分～1時間未満 ④ 1時間～2時間未満 ⑤ 2時間以上
4. 通勤・通学		① 徒歩 ② 自転車 ③ 車・バイク ④ バス、列車、フェリーなど公共交通	① 10分未満 ② 10分～30分未満 ③ 30分～1時間未満 ④ 1時間～2時間未満 ⑤ 2時間以上

あなたが生活のうえでお困りのことなどについてうかがいます。

問10 生活する上で、お困りのこと・不安なことはありますか。ある場合は、一番困っていることに”1”、二番目に困っていることに”2”、三番目に困っていることに”3”を付けてください。

	近くで食料や日用品を買えないこと
	病院が遠いこと
	救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかること
	学校が遠いこと
	近くに働き口がないこと
	郵便局や農協が近くになく、預貯金の出し入れが不便なこと
	携帯電話の通話・通信のための電波が届かないこと(電波状態が悪いこと)
	農林地の手入れが十分にできないこと
	お墓の管理が十分にできないこと
	サル、イノシシなどの獣があらわれること
	台風、地震などの災害で被災のおそれがあること
	ご自身や同居している家族だけでは、身のまわりのことを十分にできないこと
	ひとり住まいでさびしいこと
	近所に住んでいる人が少なくてさびしいこと
	その他()

問11 あなたや同居している家族が病気や高齢になるなどして、日常生活が不自由になったとき、同居の家族以外には、主に誰を頼りますか。一つ○を付けてください。

1. 同居していない家族・親戚	2. 隣近所や同じ集落の人
3. ホームヘルパー・訪問介護員	4. 役所の職員
5. いない	6. その他()

問12 あなたや同居している家族が病気や高齢になるなどして、日常生活が不自由になったとき、どのようなサービスが必要ですか。必要な場合は、一番必要なものに”1”、二番目に必要なものに”2”、三番目に必要なものに”3”を付けてください。

	定期的な安否の確認
	緊急通報サービス(危険なときに自ら緊急を知らせるサービス)
	買い物の手伝い
	家事(料理、掃除、洗濯など)の手伝い
	配食サービス
	通院などの送り迎え
	高齢者の短時間の見守りサービス
	災害発生時の避難の支援
	話し相手

問13 10年後の生活を考えた時、不安なことはありますか。ある場合は、一番不安に思うことに”1”、二番目に不安に思うことに”2”、三番目に不安に思うことに”3”を付けてください。

	食料や日用品を買いに行くのが大変になりそうなこと
	病院に通うのが大変になりそうなこと
	救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかりそうなこと
	学校に通うのが大変になりそうなこと
	近くに働き口がなくなりそうなこと
	郵便局や農協が近くになくなり、預貯金の出し入れが不便になりそうなこと
	携帯電話の通話・通信のための電波が届かないであろうこと(電波状態が悪いであろうこと)
	農林地の手入れが充分にできなくなりそうなこと
	お墓の管理が充分にできなくなりそうなこと
	サル、イノシシなどの獣があらわれそうなこと
	台風、地震などの災害で被災のおそれがあること
	ご自身や同居している家族だけでは、身のまわりのことを充分にできなくなりそうなこと
	ひとり住まいになりそうなこと
	近所に住んでいる人が少なくなり、さびしくなりそうなこと
	その他()

あなたの今後の居住の意向についてうかがいます。

問14 現在お住まいのところに将来も住み続けたいですか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1. ぜひ将来も住み続けたい	}	→	問15へ
2. できれば将来も住み続けたい			
3. できれば将来は別の地域に移りたい	}	→	問16へ
4. ぜひ将来は別の地域に移りたい			

1または2とお答えの方

問15 現在お住まいのところに住み続けたい理由は何ですか。一番重要な理由に"1"、二番目に重要な理由に"2"、三番目に重要な理由に"3"を付けてください。

	現在の生活様式を変えたくないから
	現在住んでいる家や地域に愛着があるから
	親や子どもの家が近いから(親や子どもと同居しているから)
	周りの人や地域のことをよく知っているから
	農地・林地を守っていききたいから
	お墓があるから
	現在住んでいる土地で生計をたてられるから
	水や空気がきれいだから
	特に生活で困ることはないから
	その他()

3または4とお答えの方

問16 別の地域へ移りたい理由は何ですか。重要度の高いものから、一番重要な理由に"1"、二番目に重要な理由に"2"、三番目に重要な理由に"3"を付けてください。

	世帯の中で車を運転できる人がいなくなりそうだから
	近くで食料や日用品を買えなくて不便だから
	近くに病院がなくて不便だから
	救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかり不安だから
	郵便局や農協が近くになくて、預貯金の出し入れが不便だから
	携帯電話の通話・通信のための電波が届かないから(電波状態が悪いから)

(次ページに続きます。)

あなたや子どもの就学のため
近くに働き口がないから
サル、イノシシなどの獣があらわれるから
台風、地震などの災害で被災の恐れがあるから
親やあなた自身の介護が必要になりそうだから
ひとり住まいでさびしいから
近所に住んでいる人が少なくてさびしいから
他の地域に住む子供から同居の提案があるから
その他()

問16-2 別の地域に移るにあたり、障害に思うことは何ですか。重要度の高いものから、一番重要なものに"1"、二番目に重要なものに"2"、三番目に重要なものに"3"を付けてください。

同居している家族の反対があること	別の地域に知人・友人などがいないこと
現在の生活様式が変わること	親や子供の家から離れることへの不安
所有する農地・林地の管理が難しくなること	土地・家屋の買い手がつかないこと、期待する価格で売却できないこと
別の地域で働き口が無いこと	お墓の管理が難しくなること
その他()	

問16-3 どのような場所に移りたいですか。一つに○を付けてください。

1. 現在の住まいに近い駅・商店街に近いまちなか
2. 現在の住まいのある小学校区内
3. 近隣の基幹集落
4. その他()
5. どこでもよい

問16-4 どのような住まいに移りたいですか。一つに○を付けてください。

1. 自己所有の戸建て
2. 自己所有の集合住宅
3. 賃貸の戸建て
4. 賃貸の集合住宅
5. シニア住宅やケア付き高齢者住宅
6. 老人ホーム、グループホーム高齢者施設
7. その他()

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。